

# 新潟県小千谷市認知症実態調査報告書 (第四報)

平成 26 年 2 月

新 潟 県 小 千 谷 市  
新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター

# 目 次

目 的	1
実施主体	1
対 象	1
方 法	1
統計処理	1
結 果	2
1 基本属性等	2
1-1 性	2
1-2 年齢	2
1-3 住所	3
1-4 婚姻状況	3
1-5 家族構成	4
1-6 生まれ育った所	5
1-7 兄弟姉妹の有無	6
1-8 経済状況	10
2 健康状況	11
2-1 既往歴	11
2-2 現病歴	12
2-3 家族歴	13
2-4 運動器の機能	13
2-5 認知機能 (HDS-R 点数)	16
2-6 うつ状態	16
3 生活状況	17
3-1 日の過ごし方 (ここ 1 週間の暮らし方)	17
3-2 食生活	23
3-3 嗜好品	28
3-4 口腔機能	31
3-5 睡眠	33
3-6 心配な事、困っている事	38
3-7 職業	39
3-8 過去 3 年間のイベント	43
3-9 過去 3 年間の特異な体験	44
3-10 性格	46

3-1-1 高齢者の地域とのつながりや日常生活上の不安や不自由	47
4 中越地震	50
4-1 中越地震の体験	50
4-2 家屋被害（認定）	50
4-3 自宅以外の市内の避難生活	51
4-4 市外への避難生活	52
4-5 仮設住宅入居	53
4-6 家屋改修状況	54
4-7 中越地震後の現在の住まい	54
4-8 中越地震後の家族構成の変化	55
4-9 中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続しているかどうか	55
5 クロス集計：各要因と認知症傾向（HDS-R $\leq$ 25点）との関連を見る	57
5-1 基本属性等	57
5-2 健康状況	58
5-3 生活状況	67
5-4 中越地震	106
結果のまとめ	112
おわりに	113
資料 1～4	115

## 【目的】

中越地震による生活環境の激変やストレスは、認知症高齢者の増加に拍車をかけていると予想される。そこで、認知症の早期発見、予防対策の充実を目的として、平成 23 年度に平成町、24 年度に真人地区の住民を対象に認知機能障害等に関する実態調査を行った。この調査の具体的な目的は以下のようであった。(1)軽度認知機能障害を早期発見し、リハビリテーションの実施により認知症発症を遅らせる。(2)中越地震との関連性を探る。(3)健康や生活史との関連を探り保健予防活動につなげる。

平成 23、24 年度には、生活スタイルが異なる 2 地区で調査を行った。市街地住民のモデル地区である平成町では 150 人を対象とし、郊外農村地区のモデル地区である真人地区(一部)では 238 人を対象とした。市街地住民の対象者を追加するため、平成 25 年度は片貝地区(一部)中心地の住民を対象として平成 23、24 年度と同様の調査を行ったので、その調査結果を報告する。

## 【実施主体】

小千谷市および新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター

## 【対象】

小千谷市片貝地区(一部)(郊外の市街地モデル地区)の 65 歳以上で要支援、要介護認定を受けていない 177 人、対象選定基準日は平成 25 年 6 月 1 日とした。177 人中、156 人(88.1%)からの回答を得た。片貝地区の現況を資料 1 に示す。

## 【方法】

家庭訪問により面接調査を実施した。調査票は資料 2 のとおりである。調査内容は、基本属性、健康状況、生活状況、中越地震の被災状況等とした。認知機能については改定長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)を用いて評価した(資料 3)。うつ状態の評価は大うつ病エピソードの評価方法によった(資料 4)。訪問調査は平成 25 年 7 月～9 月に実施した。

## 【統計処理】

nは、回答者数(人数)を示し、%はその百分率である比算出の基礎となっている。複数回答の質問では百分率の合計は 100%にならないため、合計値は表示していない。クロス集計の解析人数は 151 人で、各要因と認知症傾向(HDS-R 得点 25 点以下と定義)の有無を表で示した。各要因のグループ間における認知症傾向(HDS-R 得点 25 点以下と定義)の有所見率の比率の差の検定では、ロジスティック回帰分析により年齢調整 P 値および非年齢調整 P 値を示し、P 値が 0.05 未満の場合に統計的な有意差ありとした。また、P 値が 0.05-0.1 の場合には有意ではないが差の傾向ありとした。P 値が 0.1 以上の場合は差があるとは言えないと判断した。

【結果】

1 基本属性等

1-1 性

図 1-1 性別

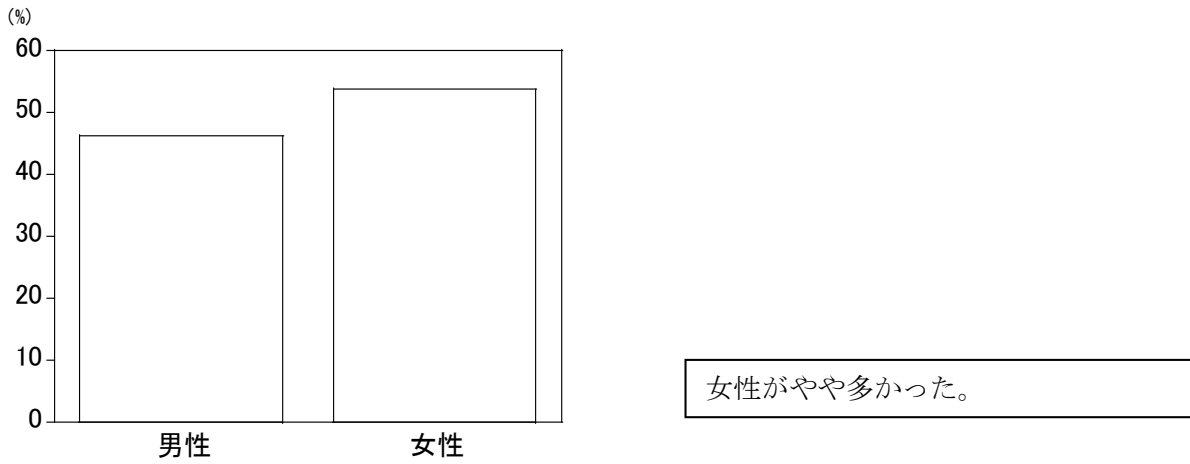


表 1-1 性別

性別	n	%
男性	72	46.2
女性	84	53.8
合計	156	100.0

欠損値 0

1-2 年齢

図 1-2 年齢

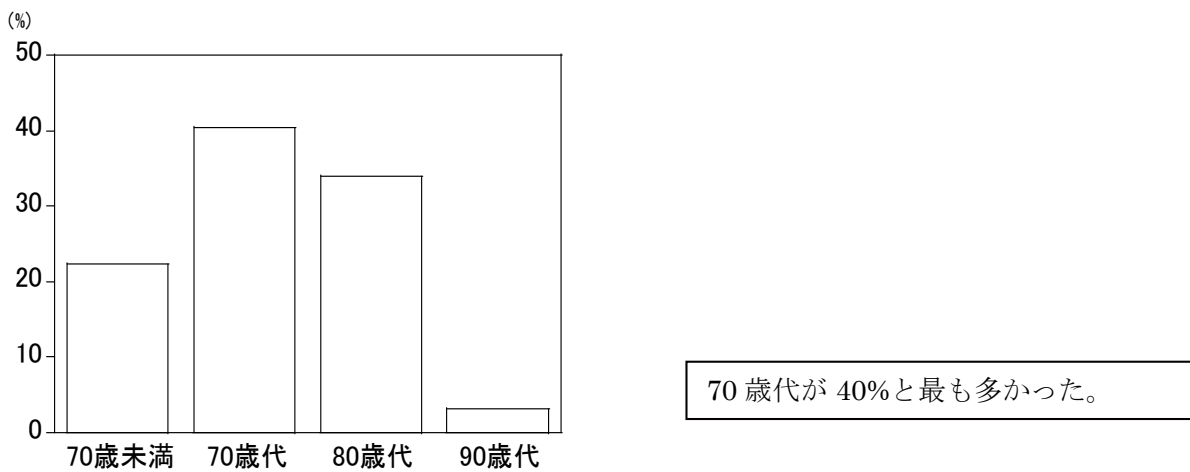


表 1-2 年齢

年齢群	n	%
70歳未満	35	22.4
70歳代	63	40.4
80歳代	53	34.0
90歳代	5	3.2
合計	156	100.0

欠損値 0

1-3 住所

小千谷市片貝地区(一部)の65歳以上で要支援、要介護認定を受けていない156人から回答を得た。

1-4 婚姻状況

図 1-4 婚姻状況

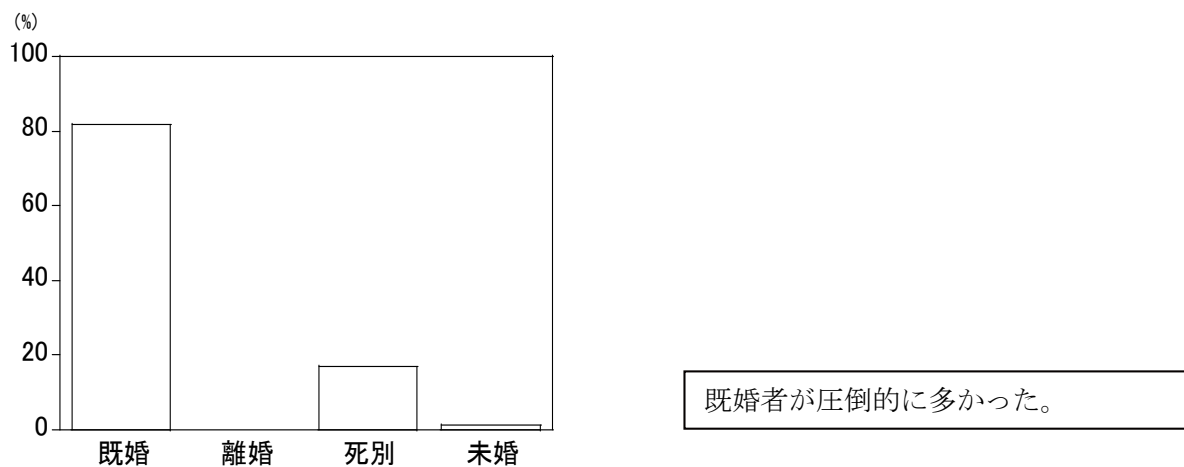
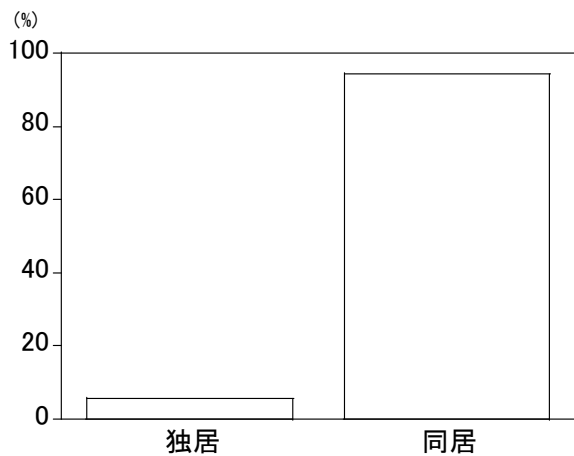


表 1-4 婚姻状況

婚姻状況	n	%
既婚	126	81.8
離婚	0	0.0
死別	26	16.9
未婚	2	1.3
合計	154	100.0

欠損値 2

1-5 家族構成  
 1-5-1 家族構成  
 図 1-5-1 家族構成



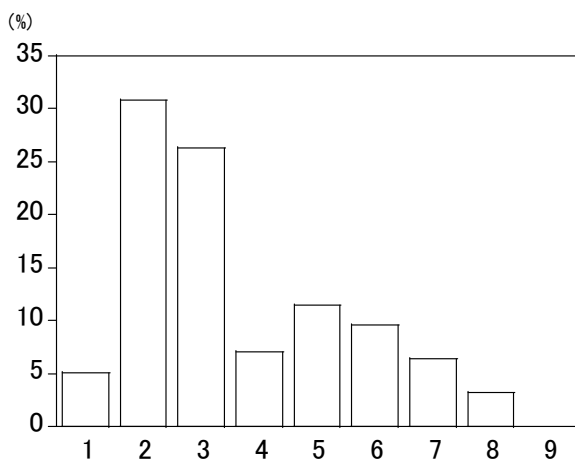
同居者が 94%と多かった。

表 1-5-1 家族構成

家族構成	n	%
独居	9	5.8
同居	147	94.2
合計	156	100.0

欠損値 0

1-5-2 同居人数  
 図 1-5-2 同居人数



同居人数は 2 人が 31%と最も多かった。

表 1-5-2 同居人数

同居人数	n	%
1	8	5.1
2	48	30.8
3	41	26.3
4	11	7.1
5	18	11.5
6	15	9.6
7	10	6.4
8	5	3.2
9	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

1-5-3 同居と回答した人の同居者の内訳

図 1-5-3 同居と回答した人の同居者の内訳(複数回答)

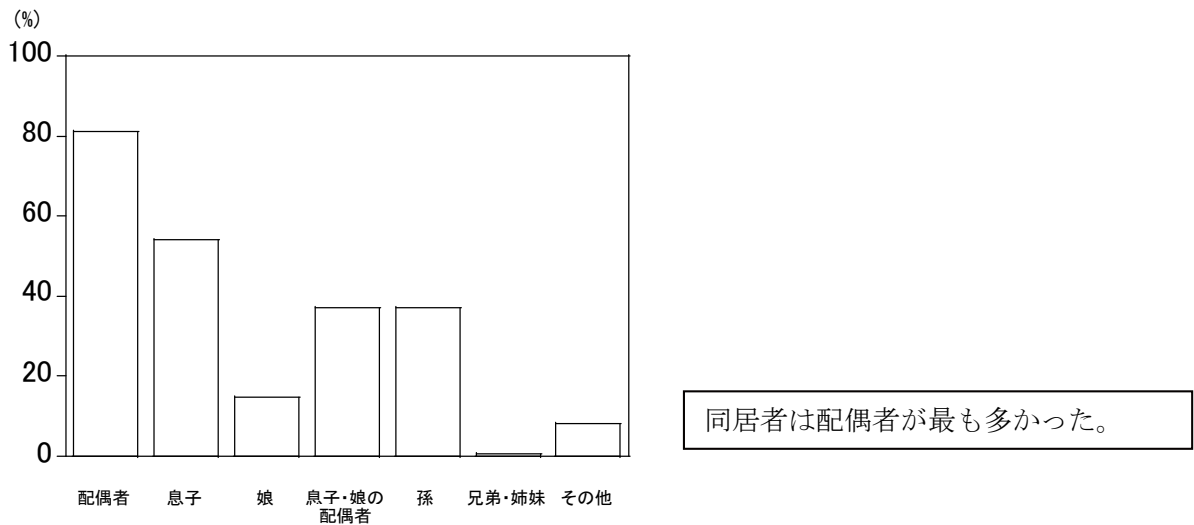


表 1-5-3 同居と回答した人の同居者の内訳(複数回答)

同居と回答した人の同居者の内訳	n	%
配偶者	120	81.1
息子	80	54.1
娘	22	14.9
息子・娘の配偶者	55	37.2
孫	55	37.2
兄弟・姉妹	1	0.7
その他	12	8.1

1-6 生まれ育った所

図 1-6 生まれ育った所

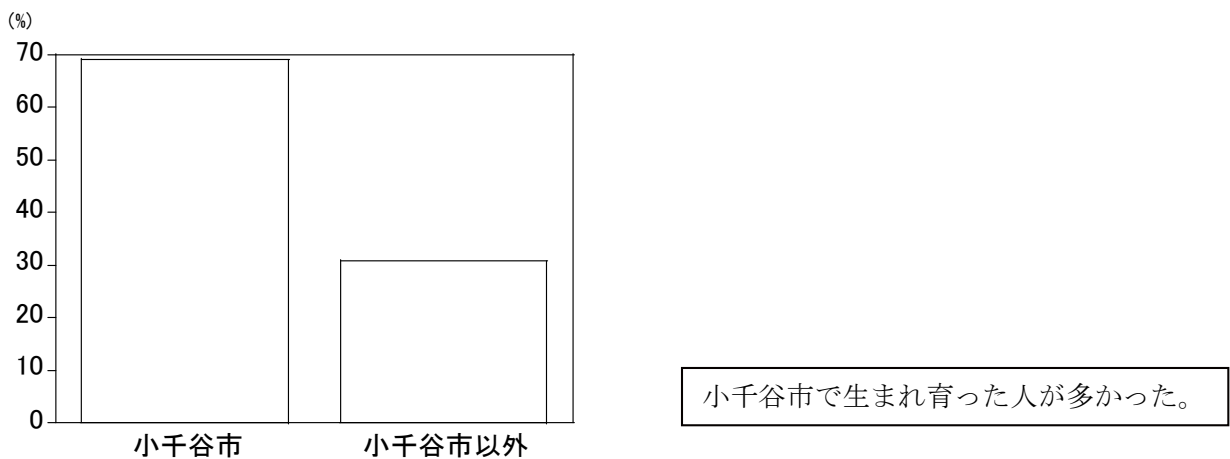


表 1-6 生まれ育った所

生まれ育った所	n	%
小千谷市	108	69.2
小千谷市以外	48	30.8
合計	156	100.0

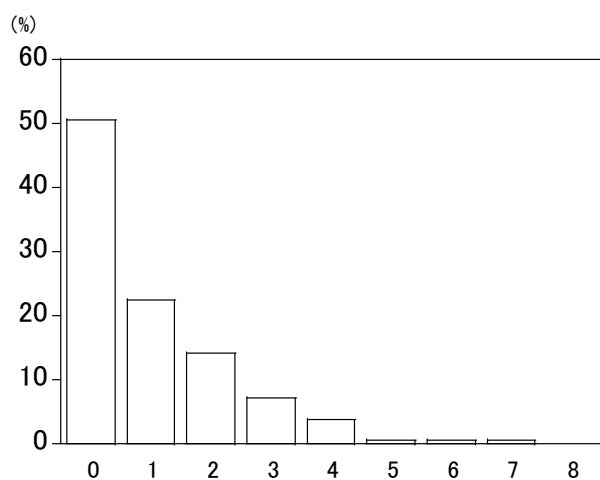
欠損値 0



1-7 兄弟姉妹がいるか

1-7-1 兄がいる人

図 1-7-1 兄がいる人



兄がいる人は 49%であった。

表 1-7-1 兄がいる人

兄	n	%
0	79	50.6
1	35	22.4
2	22	14.1
3	11	7.1
4	6	3.8
5	1	0.6
6	1	0.6
7	1	0.6
8	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

1-7-2 姉がいる人  
 図 1-7-2 姉がいる人

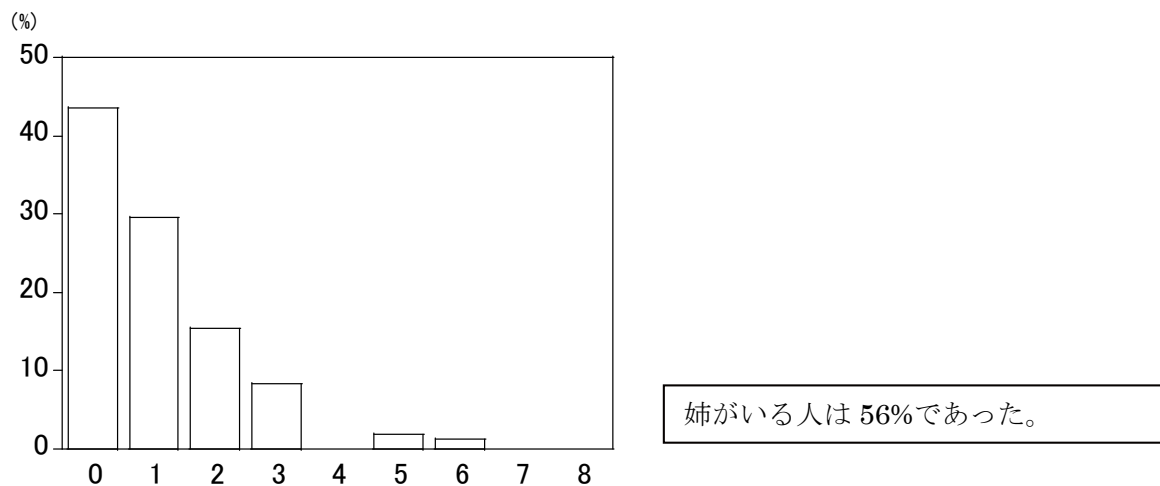


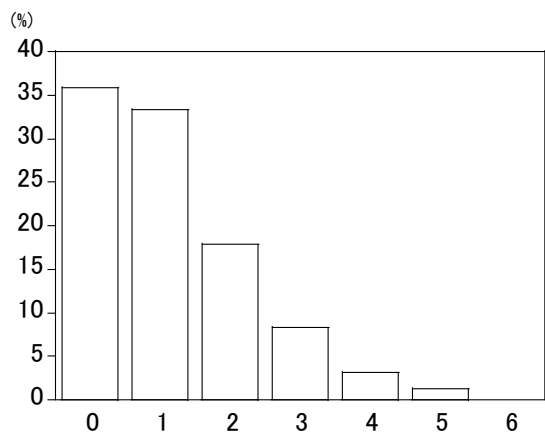
表 1-7-2 姉がいる人

姉	n	%
0	68	43.6
1	46	29.5
2	24	15.4
3	13	8.3
4	0	0.0
5	3	1.9
6	2	1.3
7	0	0.0
8	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

1-7-3 弟がいる人

図 1-7-3 弟がいる人



弟がいる人は 64%であった。

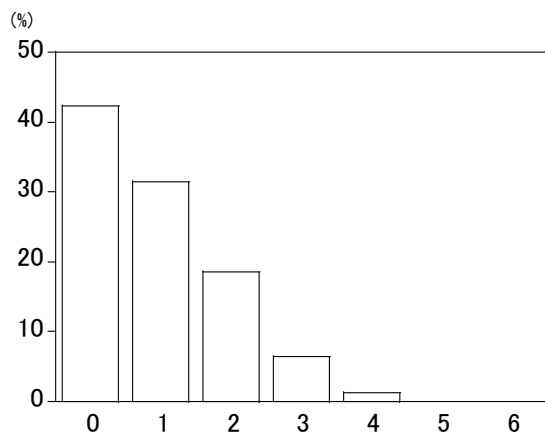
表 1-7-3 弟がいる人

弟	n	%
0	56	35.9
1	52	33.3
2	28	17.9
3	13	8.3
4	5	3.2
5	2	1.3
6	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

1-7-4 妹がいる人

図 1-7-4 妹がいる人



妹がいる人は 57%であった。

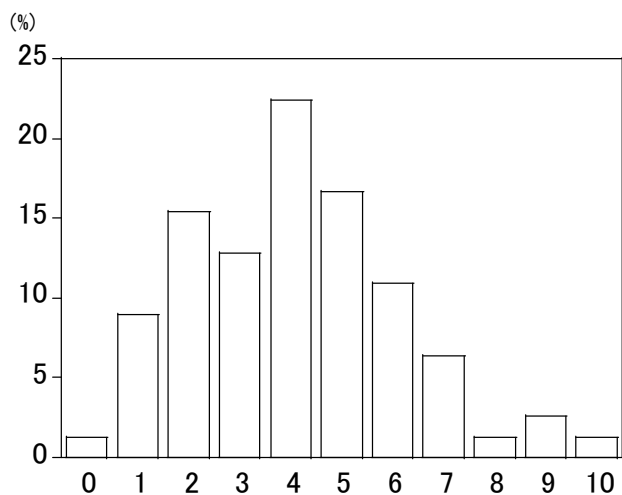
表 1-7-4 妹がいる人

妹	n	%
0	66	42.3
1	49	31.4
2	29	18.6
3	10	6.4
4	2	1.3
5	0	0.0
6	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

1-7-5 兄弟姉妹のいずれかがいる人

図 1-7-5 兄弟姉妹のいずれかがいる人



兄弟姉妹のいずれかがいる人は 99% であった。

表 1-7-5 兄弟姉妹のいずれかがいる人

兄弟姉妹の合計人数	n	%
0	2	1.3
1	14	9.0
2	24	15.4
3	20	12.8
4	35	22.4
5	26	16.7
6	17	10.9
7	10	6.4
8	2	1.3
9	4	2.6
10	2	1.3
11	0	0.0
12	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

1-8 経済状況

1-8-1 年金の種類

図 1-8-1 年金の種類(複数回答)

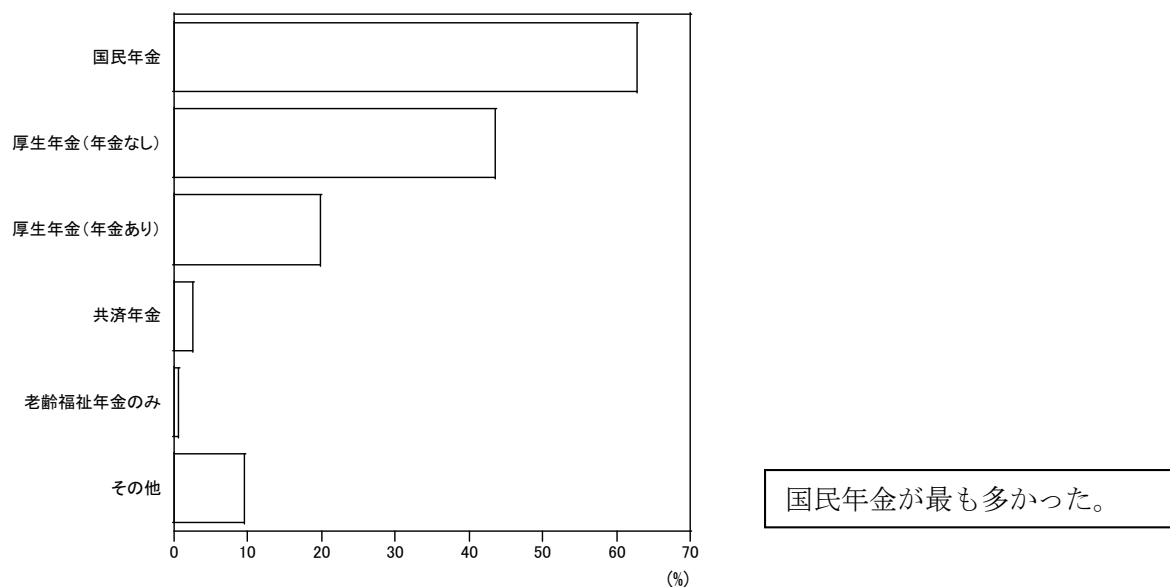


表 1-8-1 年金の種類(複数回答)

年金の種類	n	%
国民年金	98	62.8
厚生年金 (年金なし)	68	43.6
厚生年金 (年金あり)	31	19.9
共済年金	4	2.6
老齢福祉年金のみ	1	0.6
その他	15	9.6

1-8-2 家計の主な収入

図 1-8-2 家計の主な収入(複数回答)

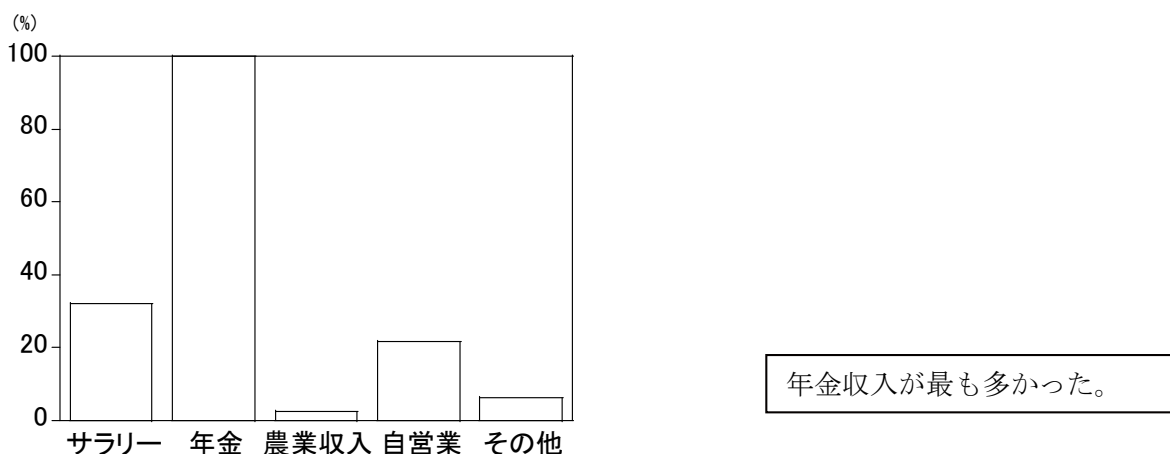


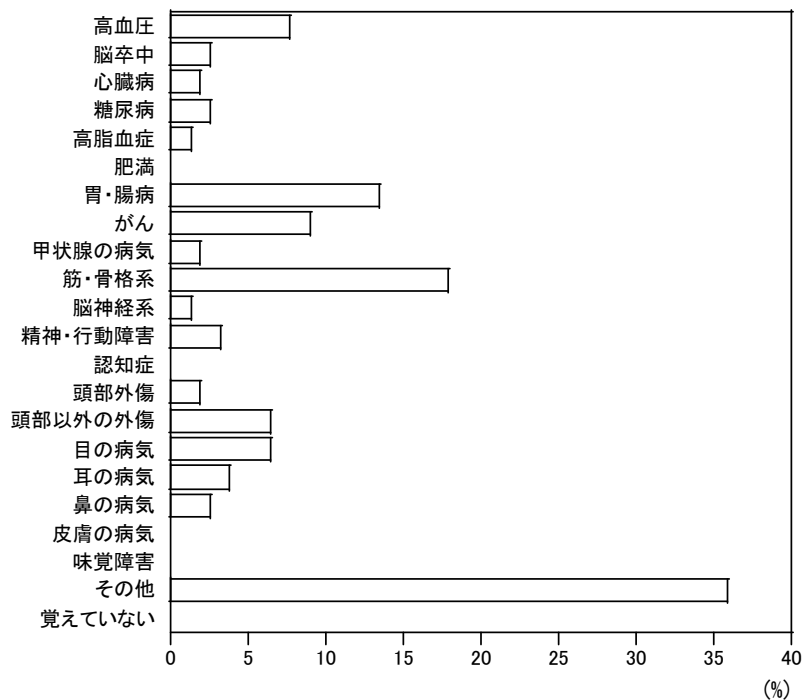
表 1-8-2 家計の主な収入(複数回答)

家計の主な収入	n	%
サラリー	50	32.1
年金	156	100.0
農業収入	4	2.6
自営業	34	21.8
その他	10	6.4

2 健康状況

2-1 既往歴

図 2-1 既往歴(複数回答)



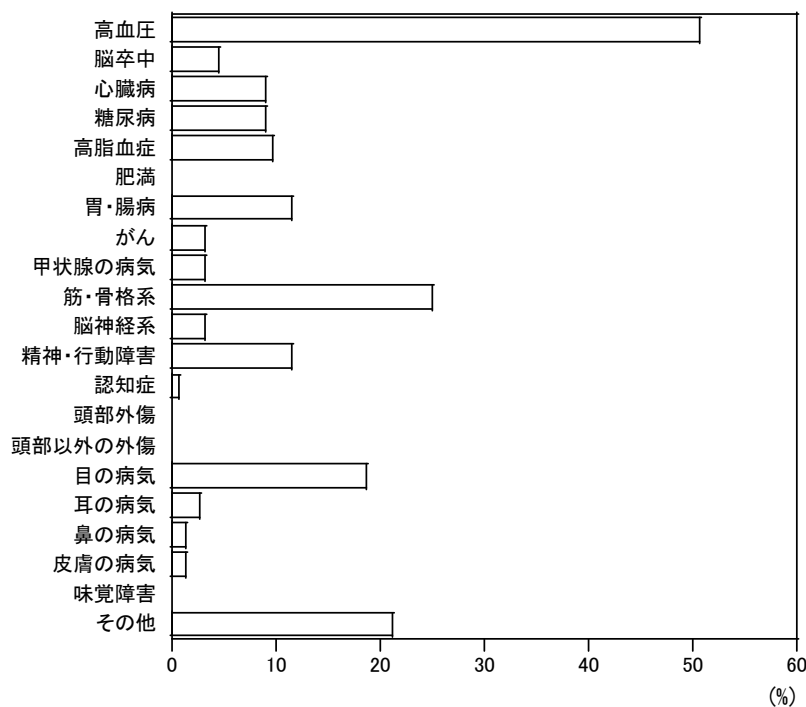
胃・腸病、筋・骨格系疾患が多かった。

表 2-1 既往歴(複数回答)

既往歴	n	%
高血圧	12	7.7
脳卒中	4	2.6
心臓病	3	1.9
糖尿病	4	2.6
高脂血症	2	1.3
肥満	0	0.0
胃・腸病	21	13.5
がん	14	9.0
甲状腺の病気	3	1.9
筋・骨格系	28	17.9
脳神経系	2	1.3
精神・行動障害	5	3.2
認知症	0	0.0
頭部外傷	3	1.9
頭部以外の外傷	10	6.4
目の病気	10	6.4
耳の病気	6	3.8
鼻の病気	4	2.6
皮膚の病気	0	0.0
味覚障害	0	0.0
その他	56	35.9
覚えていない	0	0.0

2-2 現病歴

図 2-2 現病歴(複数回答)



高血圧、筋・骨格系疾患、目の病気が多かった。

表 2-2 現病歴(複数回答)

現病歴	n	%
高血圧	79	50.6
脳卒中	7	4.5
心臓病	14	9.0
糖尿病	14	9.0
高脂血症	15	9.6
肥満	0	0.0
胃・腸病	18	11.5
がん	5	3.2
甲状腺の病気	5	3.2
筋・骨格系	39	25.0
脳神経系	5	3.2
精神・行動障害	18	11.5
認知症	1	0.6
頭部外傷	0	0.0
頭部以外の外傷	0	0.0
目の病気	29	18.6
耳の病気	4	2.6
鼻の病気	2	1.3
皮膚の病気	2	1.3
味覚障害	0	0.0
その他	33	21.2

2-3 家族歴

図 2-3 家族歴(複数回答)

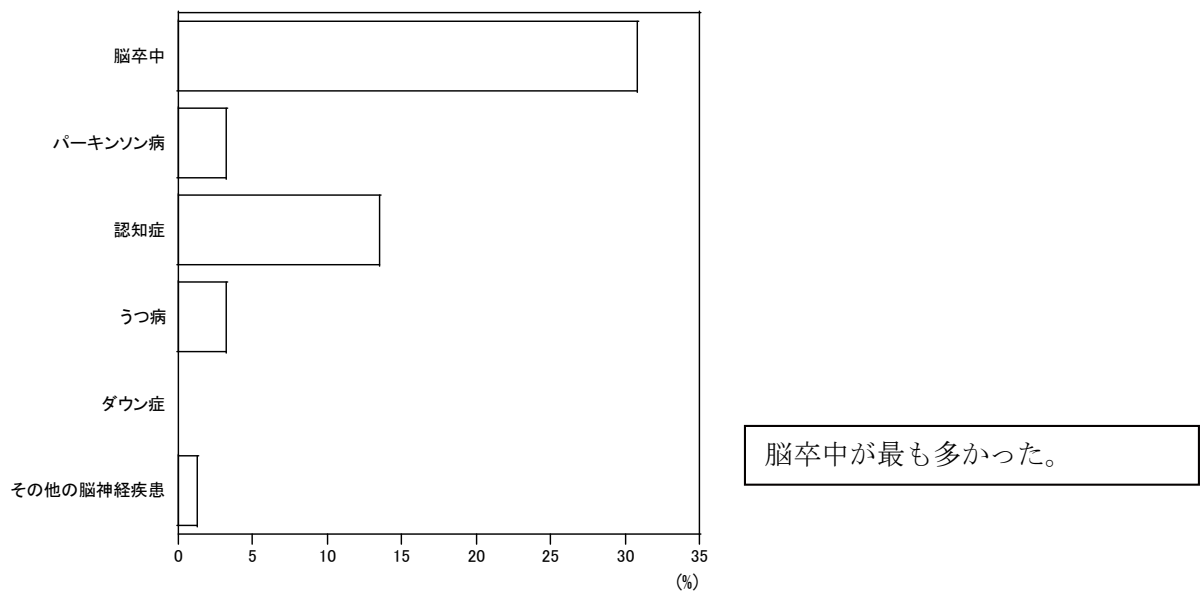


表 2-3 家族歴(複数回答)

家族歴	n	%
脳卒中	48	30.8
パーキンソン病	5	3.2
認知症	21	13.5
うつ病	5	3.2
ダウン症	0	0.0
その他の脳神経疾患	2	1.3

2-4 運動器の機能

2-4-1 階段を手すりや壁をつたわずに上る

図 2-4-1 階段を手すりや壁をつたわずに上る

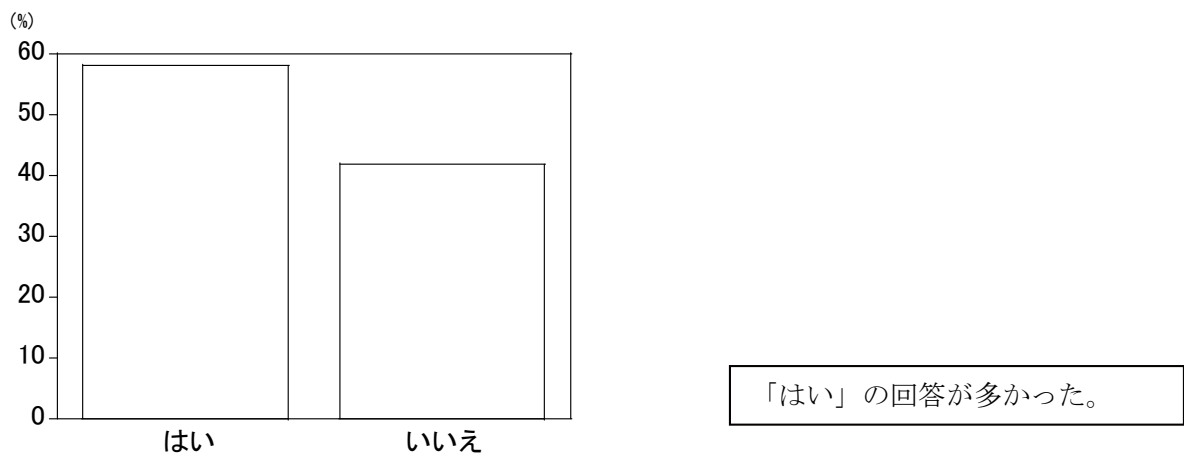


表 2-4-1 階段を手すりや壁をつたわずに上る

階段を手すりや壁をつたわずに上る	n	%
はい	90	58.1
いいえ	65	41.9
合計	155	100.0

欠損値 1



2-4-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる  
 図 2-4-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる

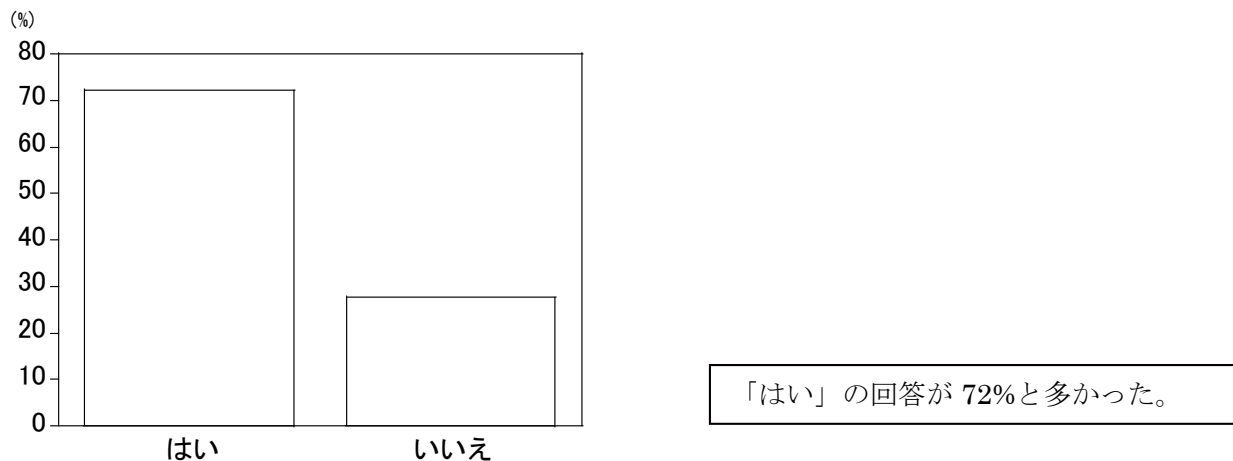


表 2-4-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる	n	%
はい	112	72.3
いいえ	43	27.7
合計	155	100.0

欠損値 1

2-4-3 15分くらい続けて歩いている  
 図 2-4-3 15分くらい続けて歩いている

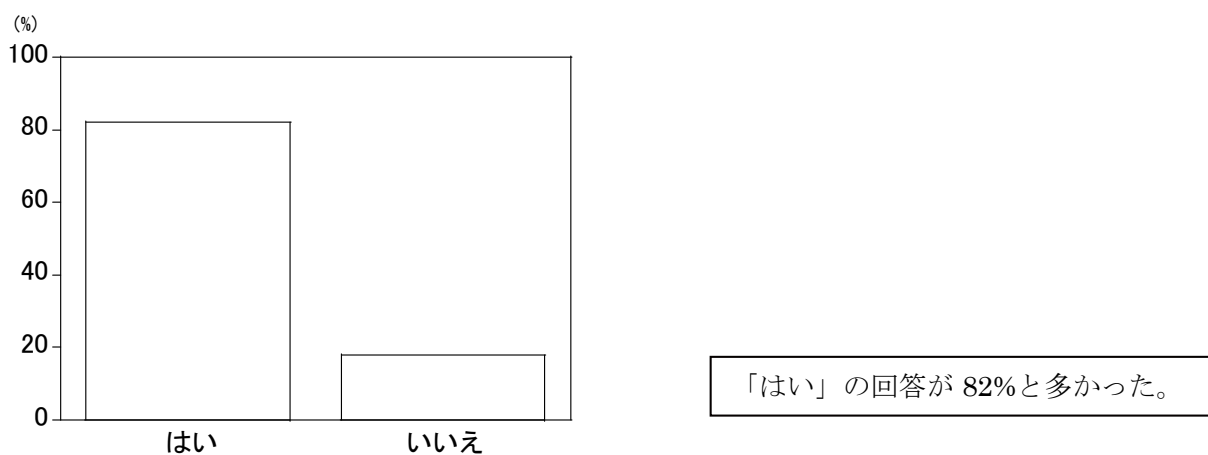


表 2-4-3 15分くらい続けて歩いている

15分くらい続けて歩いている	n	%
はい	128	82.1
いいえ	28	17.9
合計	156	100.0

欠損値 0

2-4-4 この1年間に転んだ事がある  
 図 2-4-4 この1年間に転んだ事がある

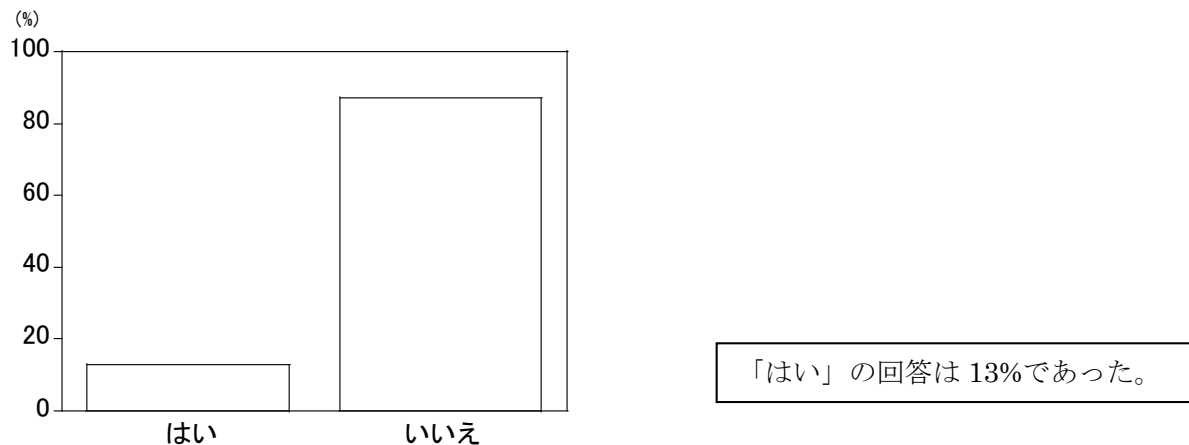


表 2-4-4 この1年間に転んだ事がある

この1年間に転んだ事がある	n	%
はい	20	12.8
いいえ	136	87.2
合計	156	100.0

欠損値 0

2-4-5 転倒に対する不安が大きい  
 図 2-4-5 転倒に対する不安が大きい

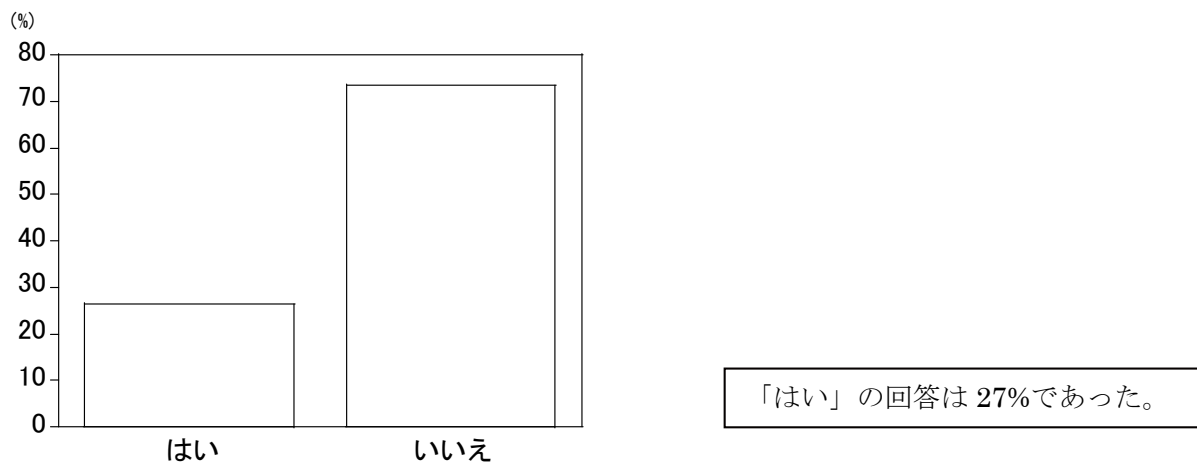


表 2-4-5 転倒に対する不安が大きい

転倒に対する不安が大きい	n	%
はい	41	26.5
いいえ	114	73.5
合計	155	100.0

欠損値 1

2-5 認知機能 (HDS-R点数)

図 2-5 認知機能(HDS-R点数)

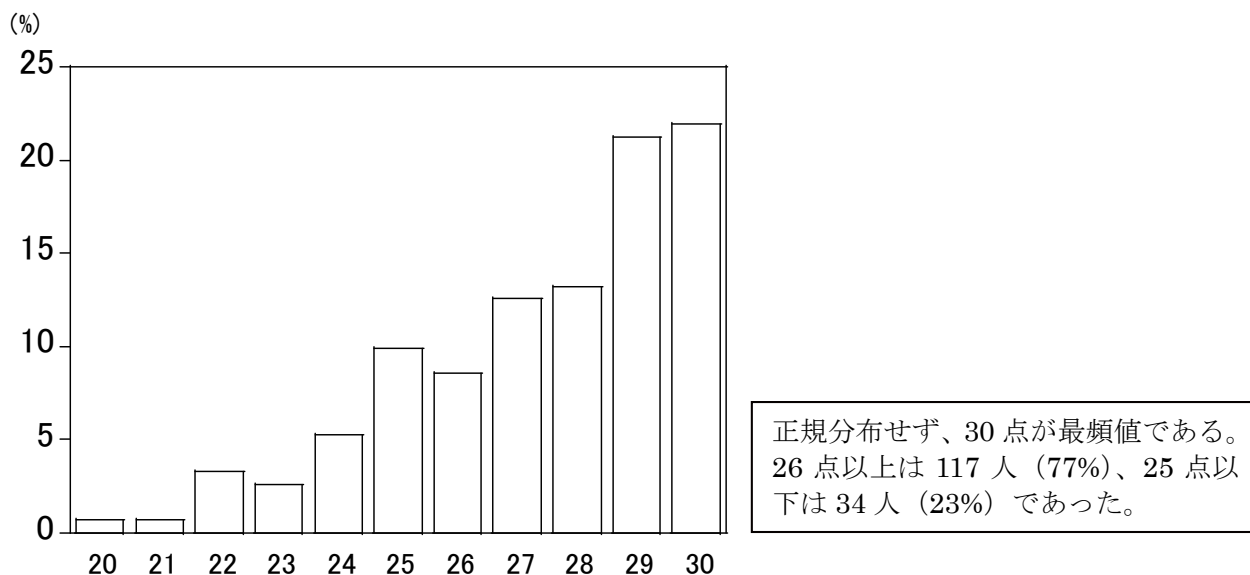


表 2-5 認知機能(HDS-R点数)

HDS-R点数	n	%
20	1	0.7
21	1	0.7
22	5	3.3
23	4	2.6
24	8	5.3
25	15	9.9
26	13	8.6
27	19	12.6
28	20	13.2
29	32	21.2
30	33	21.9
合計	151	100.0

欠損値 5

2-6 うつ状態

2-6-1 現在の大うつエピソード

156人中、1人(0.6%)

2-6-2 過去の大うつエピソード

156人中、0人(0%)

大うつのエピソードを持つ人が若干見られた。

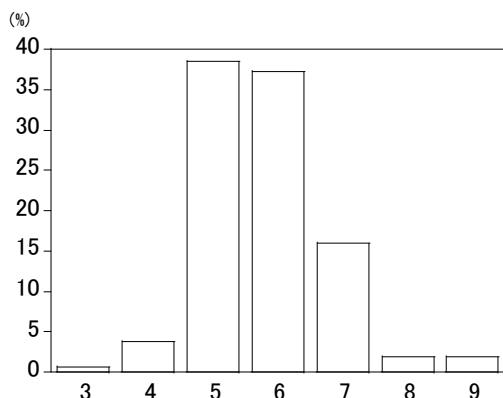
### 3 生活状況

#### 3-1 1日の過ごし方(ここ1週間の暮らし方)

##### 3-1-1 日課

##### 3-1-1-1 起床

図 3-1-1-1 起床時間



5時と6時の起床が多かった。

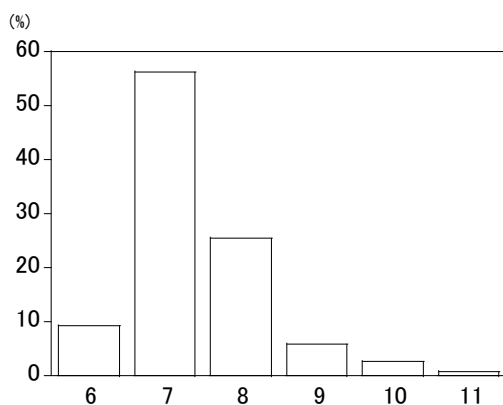
表 3-1-1-1 起床時間

起床時間	n	%
3	1	0.6
4	6	3.8
5	60	38.5
6	58	37.2
7	25	16.0
8	3	1.9
9	3	1.9
合計	156	100.0

欠損値 0

##### 3-1-1-2 朝食

図 3-1-1-2 朝食時間



朝食は7時が多かった。

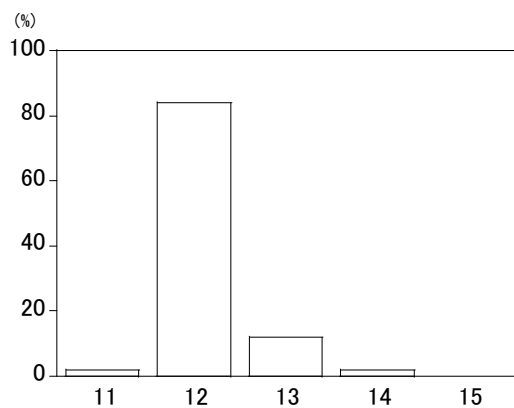
表 3-1-1-2 朝食時間

朝食時間	n	%
6	14	9.2
7	86	56.2
8	39	25.5
9	9	5.9
10	4	2.6
11	1	0.7
合計	153	100.0

欠損値 3

3-1-1-3 昼食

図 3-1-1-3 昼食時間



昼食は 12 時が最も多かった。

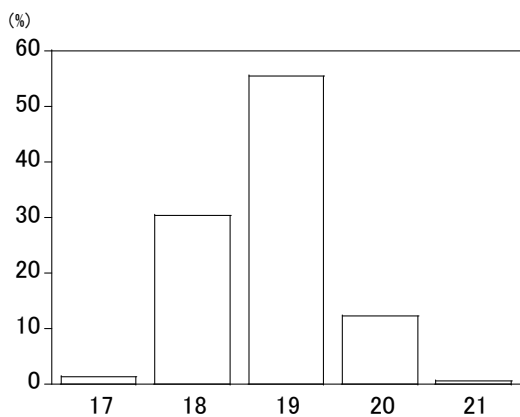
表 3-1-1-3 昼食時間

昼食時間	n	%
11	3	2.0
12	127	84.1
13	18	11.9
14	3	2.0
15	0	0.0
合計	151	100.0

欠損値 5

3-1-1-4 夕食

図 3-1-1-4 夕食時間



夕食は 19 時が最も多かった。

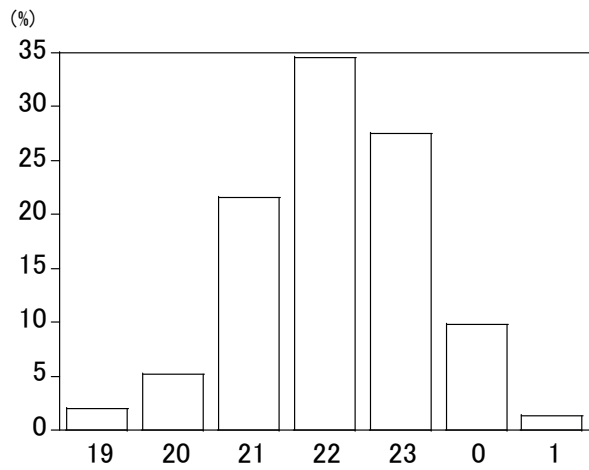
表 3-1-1-4 夕食時間

夕食時間	n	%
17	2	1.3
18	47	30.3
19	86	55.5
20	19	12.3
21	1	0.6
合計	155	100.0

欠損値 1

3-1-1-5 就寝

図 3-1-1-5 就寝時間



就寝は 22 時が多かった。

表 3-1-1-5 就寝時間

就寝時間	n	%
19	3	2.0
20	8	5.2
21	33	21.6
22	53	34.6
23	42	27.5
0	15	9.8
1	2	1.3
合計	156	100.0

欠損値 0

3-1-2 余暇(報酬を得て行う仕事以外の時間のこと)における活動について

3-1-2-1(家庭や地域社会における)役割

図 3-1-2-1 役割

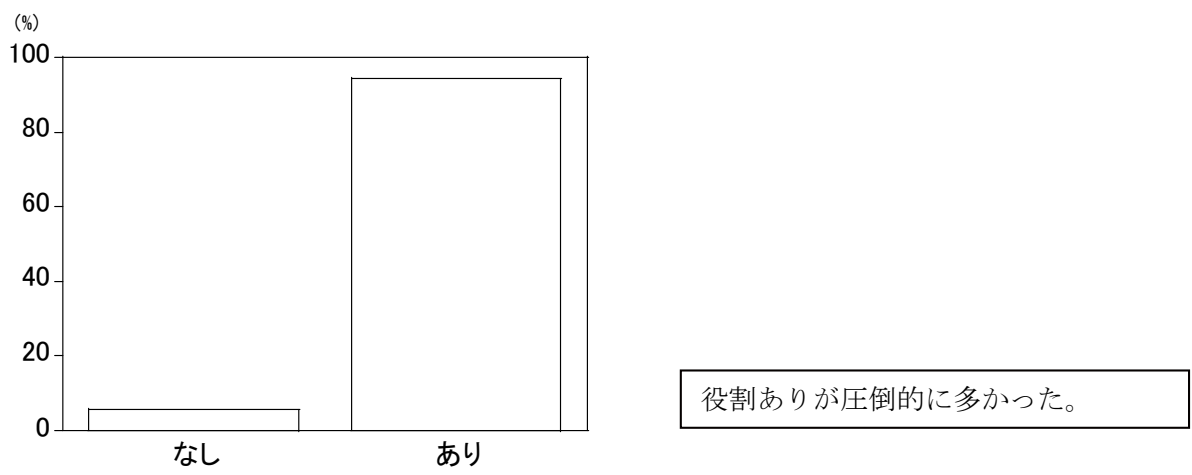


表 3-1-2-1 役割

役割	n	%
なし	9	5.8
あり	147	94.2
合計	156	100.0

欠損値 0

3-1-2-1-1 役割ありの場合

図 3-1-2-1-1 役割ありの場合(複数回答)

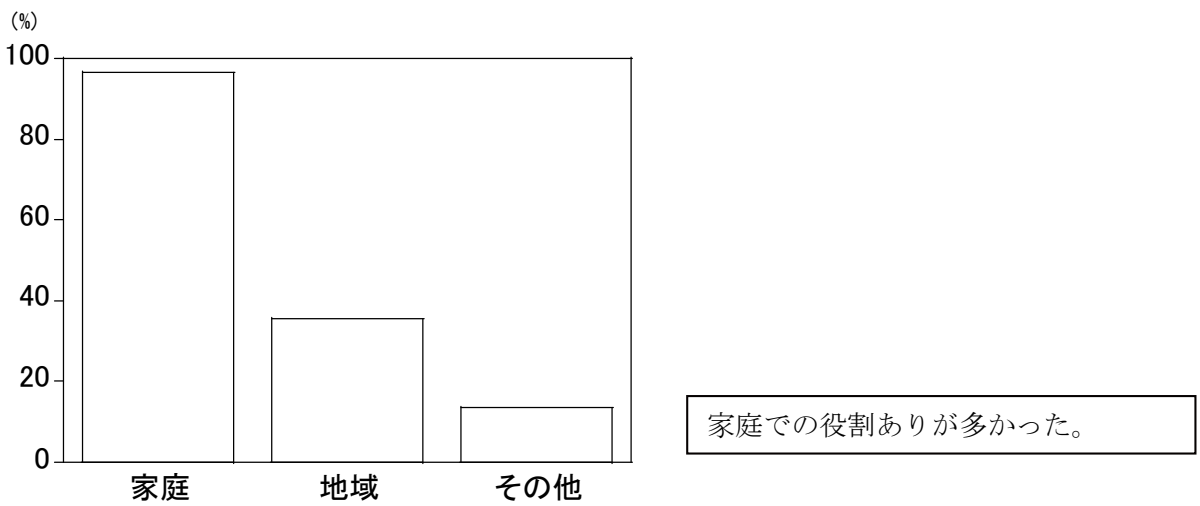


表 3-1-2-1-1 役割ありの場合(複数回答)

役割ありの場合	n	%
家庭	142	96.6
地域	52	35.4
その他	21	13.5

3-1-2-2 楽しみ

図 3-1-2-2 楽しみ

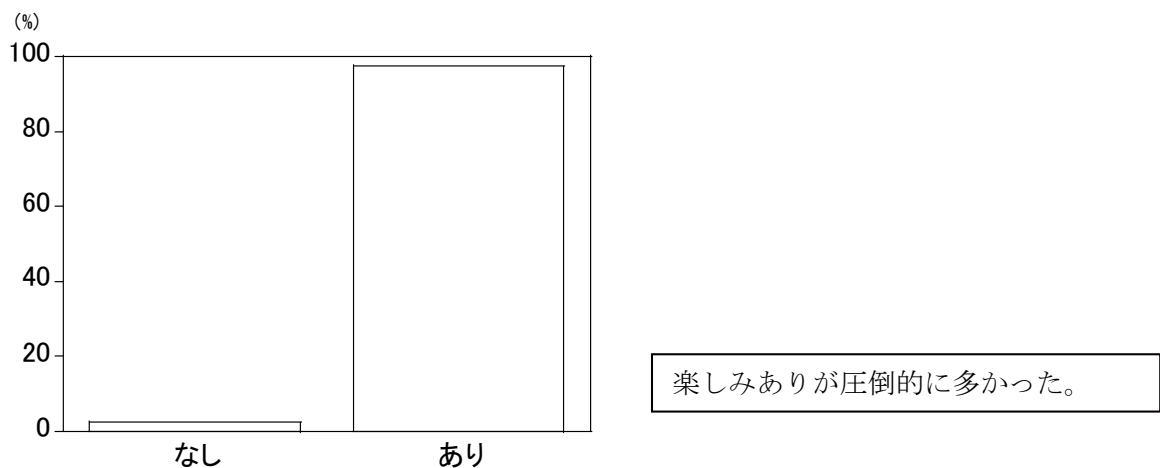


表 3-1-2-2 楽しみ

楽しみ	n	%
なし	4	2.6
あり	152	97.4
合計	156	100.0

欠損値 0

3-1-2-2-1 対人交流（楽しみありの場合）

図 3-1-2-2-1 対人交流の頻度

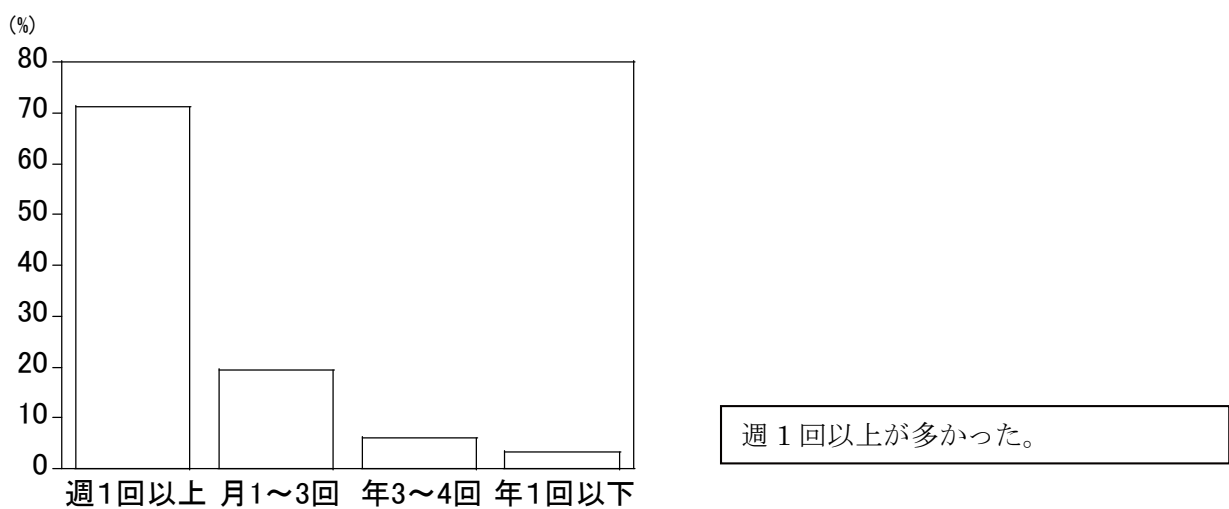


表 3-1-2-2-1 対人交流の頻度

対人交流の頻度	n	%
週1回以上	107	71.3
月1~3回	29	19.3
年3~4回	9	6.0
年1回以下	5	3.3
合計	150	100.0

欠損値 2



3-1-2-2-2 趣味(楽しみありの場合)

図 3-1-2-2-2 趣味(複数回答)

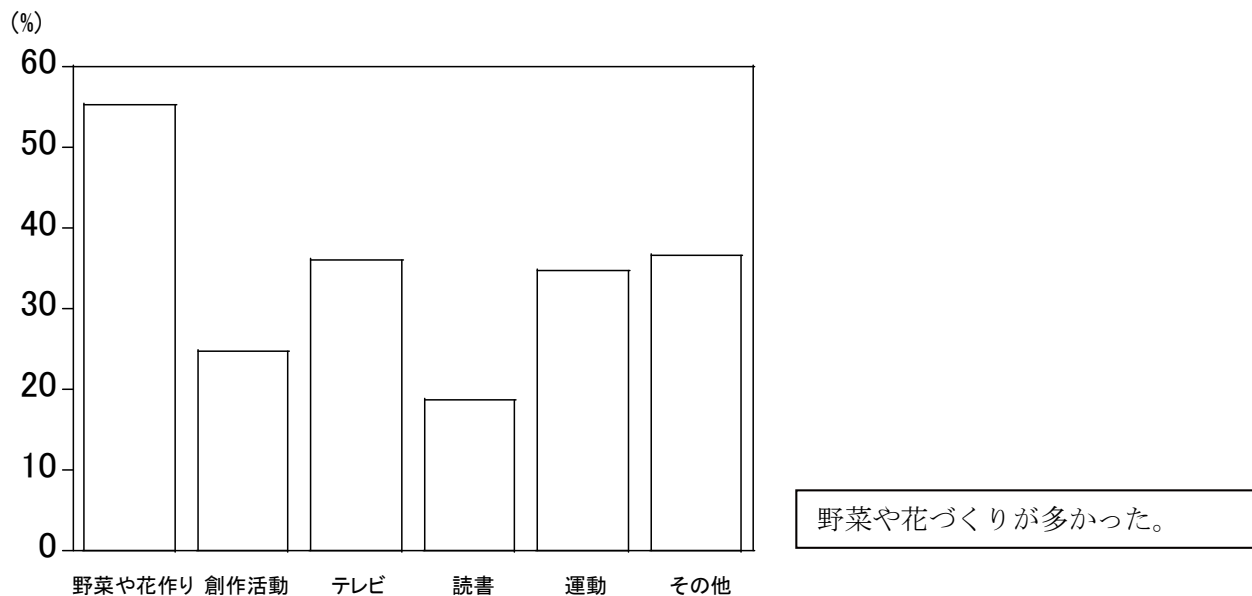


表 3-1-2-2-2 趣味(複数回答)

趣味	n	%
野菜や花作り	83	55.3
創作活動(手芸、絵、日曜大工等)	37	24.7
テレビ	54	36.0
読書	28	18.7
運動	52	34.7
その他	55	36.7

3-2 食生活

3-2-1 1日の食事の回数

図 3-2-1 1日の食事の回数

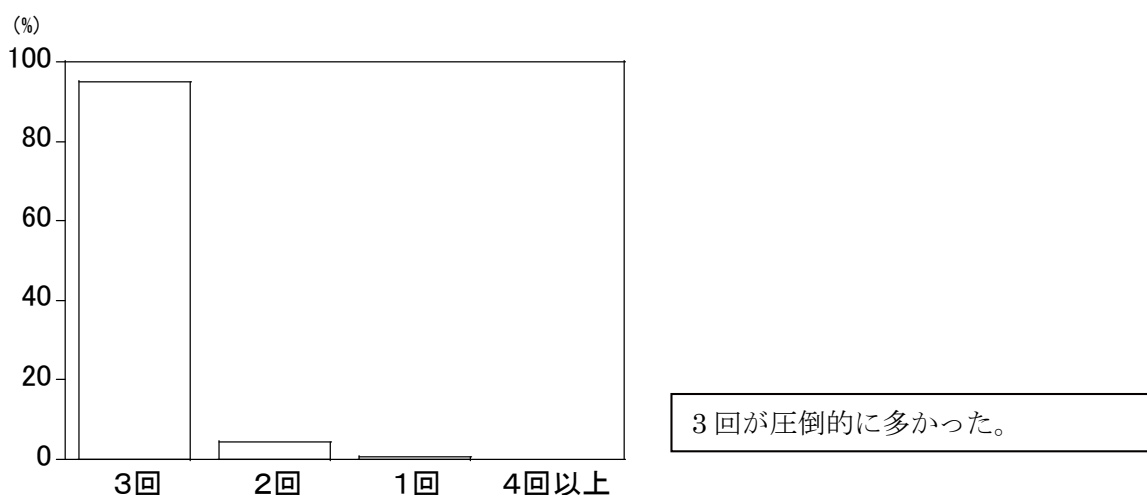


表 3-2-1 1日の食事の回数

1日の食事の回数	n	%
3回	148	94.9
2回	7	4.5
1回	1	0.6
4回以上	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

3-2-2 主食

3-2-2-1 朝食の主食

図 3-2-2-1 朝食の主食

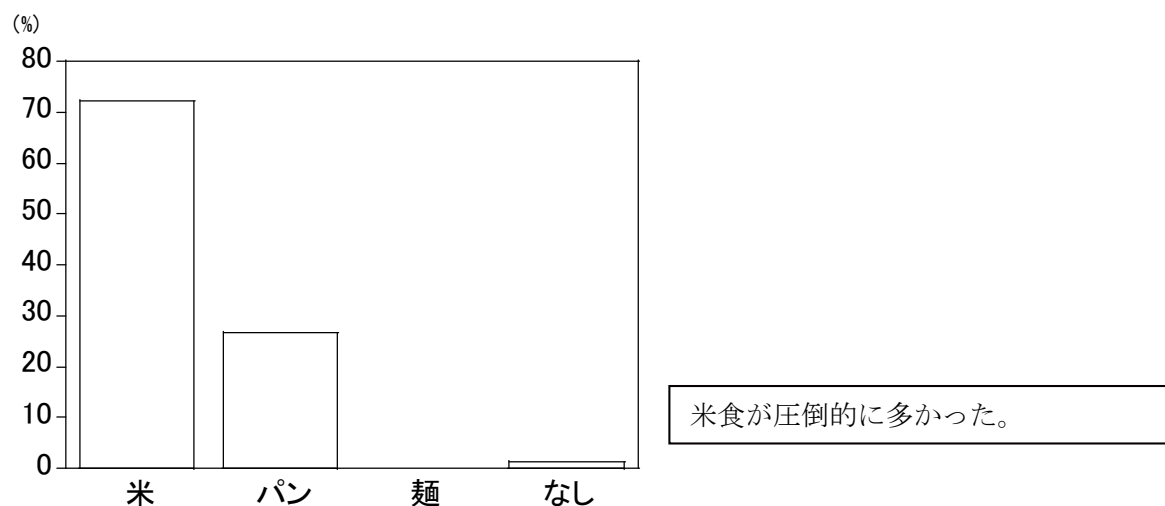


表 3-2-2-1 朝食の主食

朝食の主食	n	%
米	111	72.1
パン	41	26.6
麺	0	0.0
なし	2	1.3
合計	154	100.0

欠損値 2

3-2-2-2 昼食の主食

図 3-2-2-2 昼食の主食

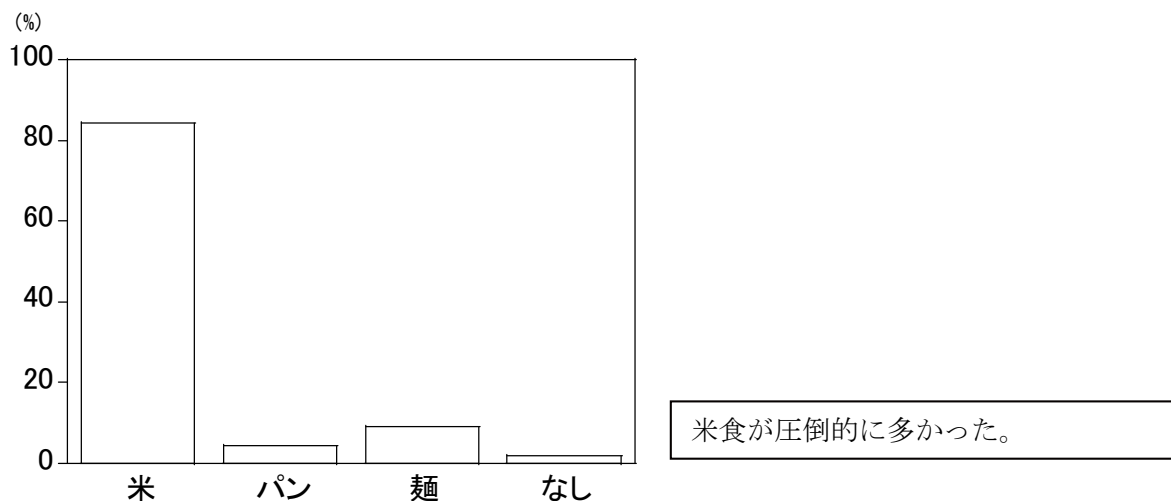


表 3-2-2-2 昼食の主食

昼食の主食	n	%
米	130	84.4
パン	7	4.5
麺	14	9.1
なし	3	1.9
合計	154	100.0

欠損値 2

3-2-2-3 夕食の主食

図 3-2-2-3 夕食の主食

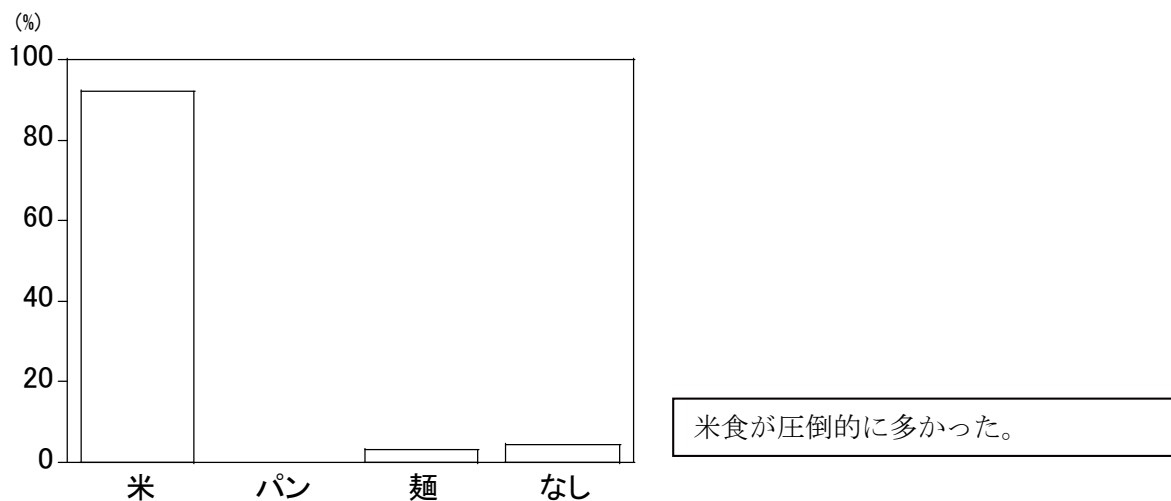


表 3-2-2-3 夕食の主食

夕食の主食	n	%
米	144	92.3
パン	0	0.0
麺	5	3.2
なし	7	4.5
合計	156	100.0

欠損値 0

3-2-3 食品摂取傾向

3-2-3-1 肉

図 3-2-3-1 肉

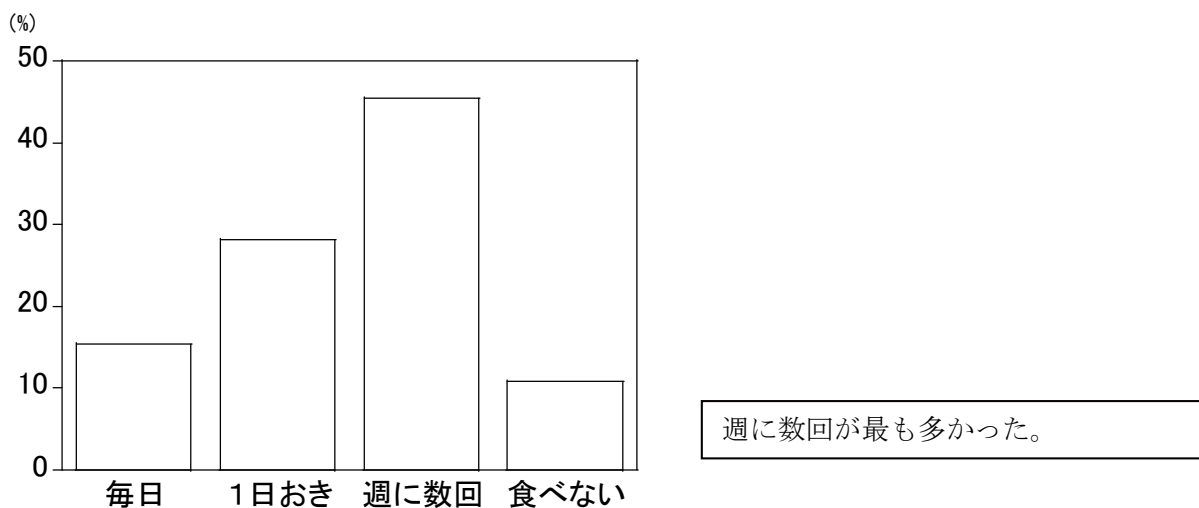


表 3-2-3-1 肉

肉	n	%
毎日	24	15.4
1日おき	44	28.2
週に数回	71	45.5
食べない	17	10.9
合計	156	100.0

欠損値 0

3-2-3-2 魚

図 3-2-3-2 魚

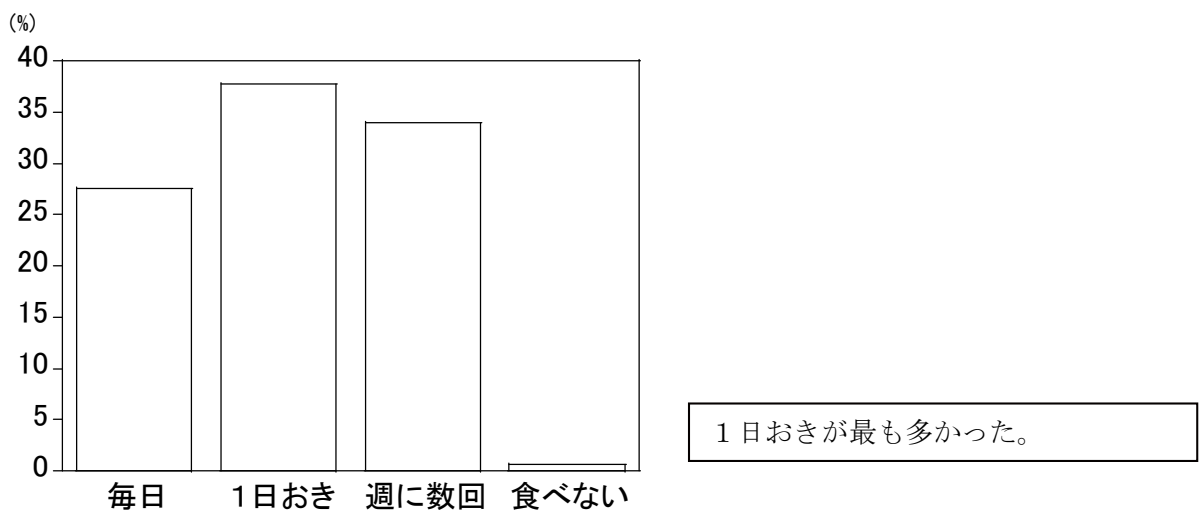


表 3-2-3-2 魚

魚	n	%
毎日	43	27.6
1日おき	59	37.8
週に数回	53	34.0
食べない	1	0.6
合計	156	100.0

欠損値 0

3-2-3-3 卵

図 3-2-3-3 卵

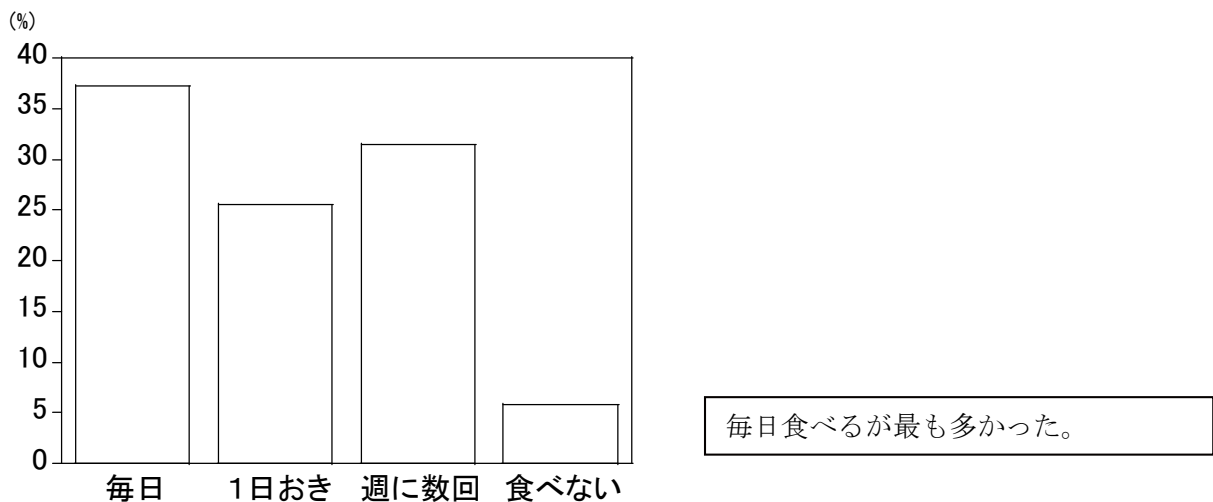


表 3-2-3-3 卵

卵	n	%
毎日	58	37.2
1日おき	40	25.6
週に数回	49	31.4
食べない	9	5.8
合計	156	100.0

欠損値 0

3-2-3-4 野菜

図 3-2-3-4 野菜

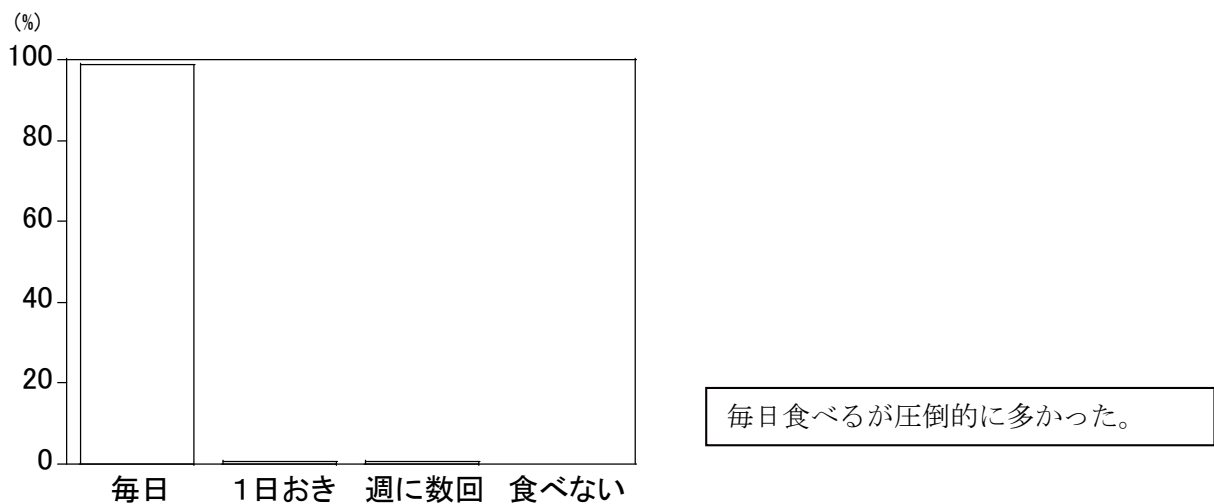


表 3-2-3-4 野菜

野菜	n	%
毎日	154	98.7
1日おき	1	0.6
週に数回	1	0.6
食べない	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

3-2-3-5 大豆

図 3-2-3-5 大豆

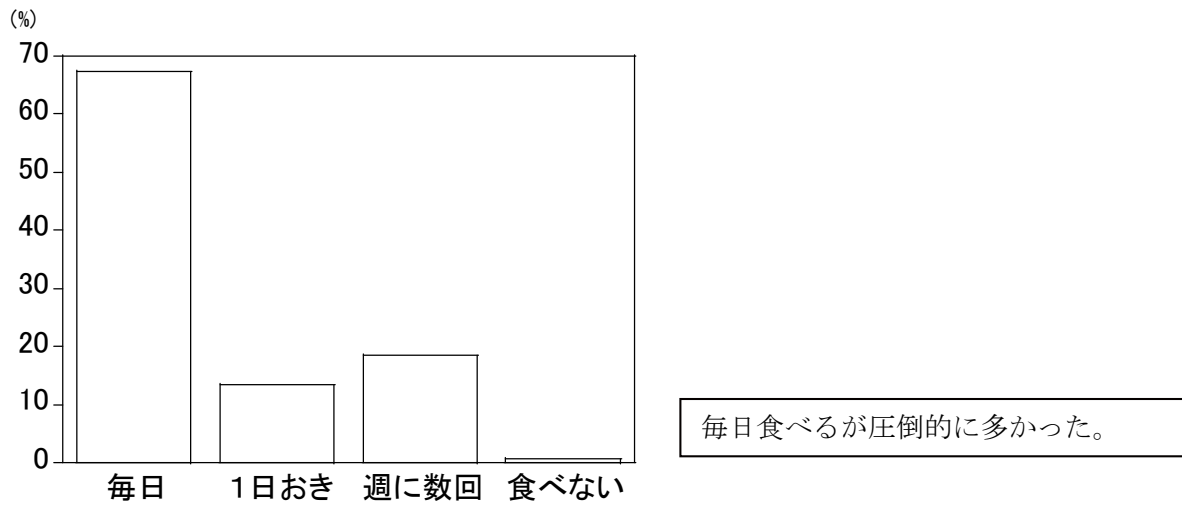


表 3-2-3-5 大豆

大豆	n	%
毎日	105	67.3
1日おき	21	13.5
週に数回	29	18.6
食べない	1	0.6
合計	156	100.0

欠損値 0

3-3 嗜好品

3-3-1 飲酒

3-3-1-1 飲酒歴

図 3-3-1-1 飲酒歴

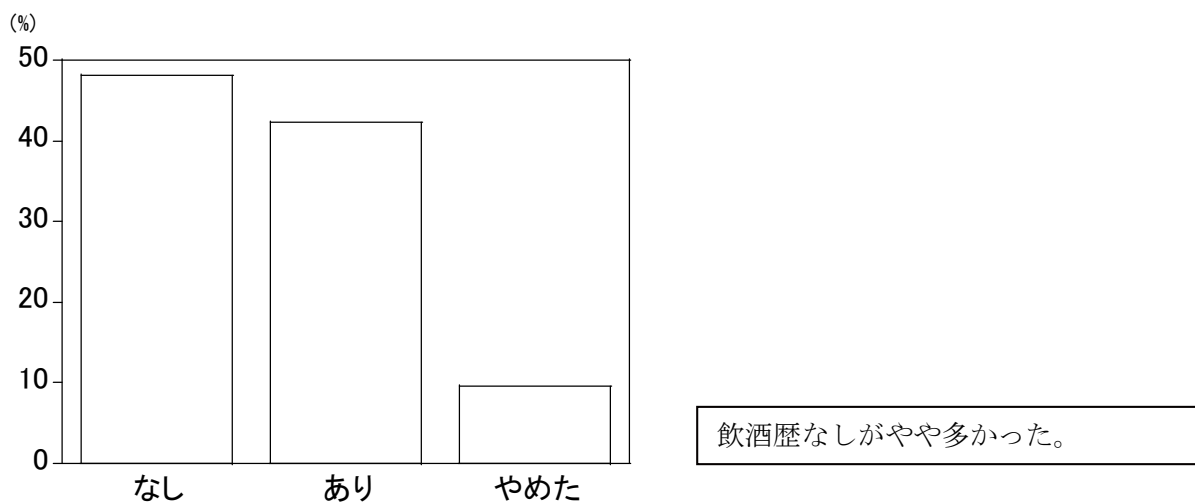


表 3-3-1-1 飲酒歴

飲酒歴	n	%
なし	75	48.1
あり	66	42.3
やめた	15	9.6
合計	156	100.0

欠損値 0

3-3-1-2 飲酒頻度(飲酒歴あり、やめた人)

図 3-3-1-2 飲酒頻度 (飲酒歴あり、やめた人)

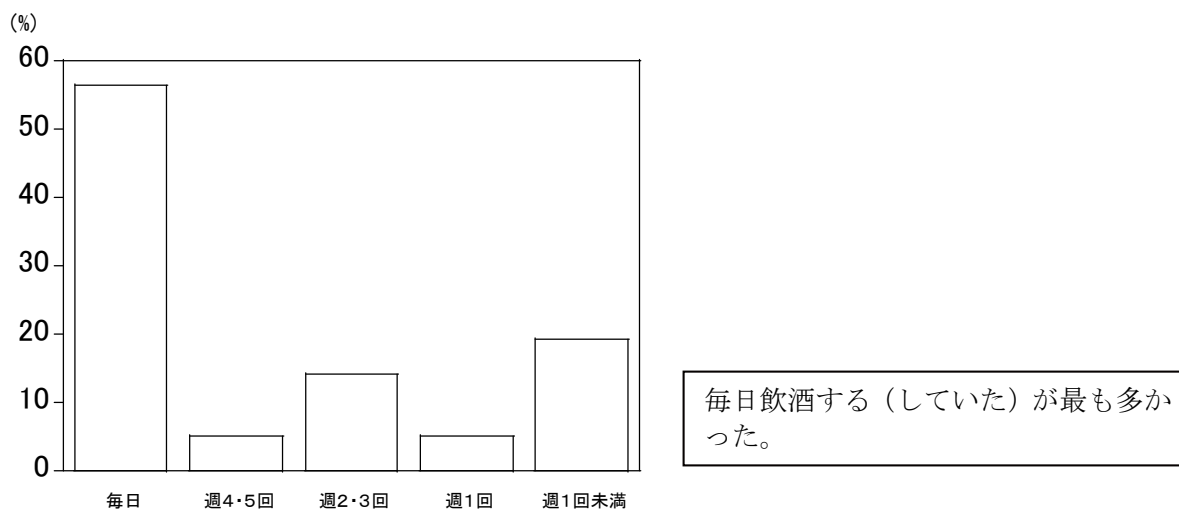


表 3-3-1-2 飲酒頻度 (飲酒歴あり、やめた人)

飲酒頻度(飲酒歴あり、やめた人)	n	%
毎日(朝・昼・晩)	44	56.4
週4~5回	4	5.1
週2~3回	11	14.1
週1回程度	4	5.1
週1回未満	15	19.2
合計	78	100.0

欠損値 3

3-3-1-3 飲酒量(飲酒歴あり、やめた人)  
 図 3-3-1-3 飲酒量 (飲酒歴あり、やめた人)

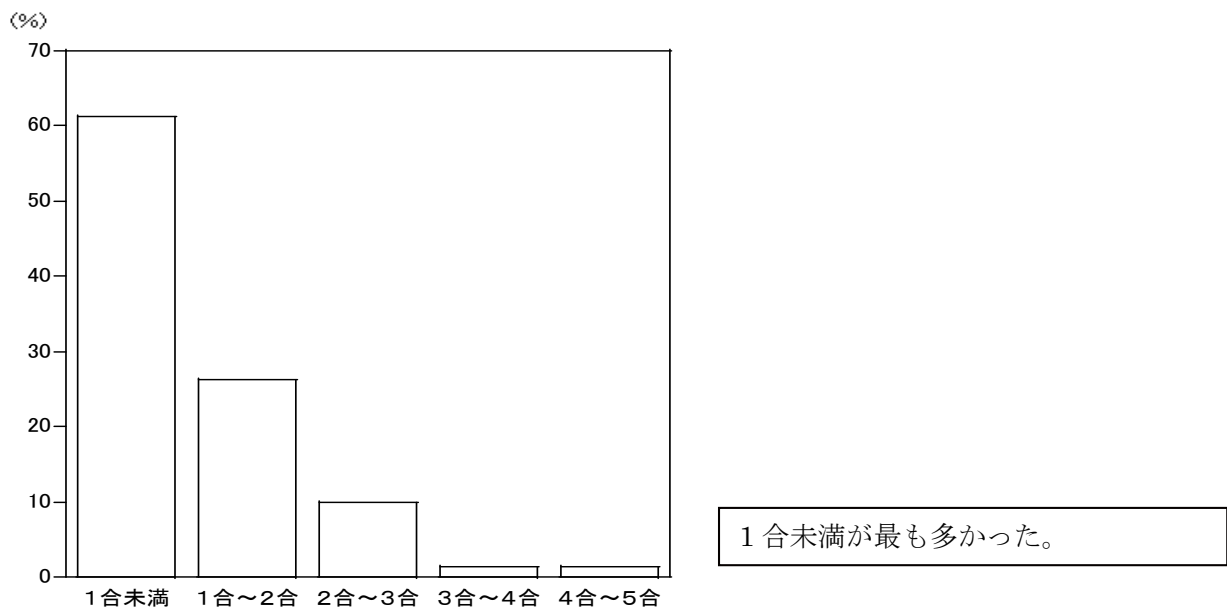


表 3-3-1-3 飲酒量 (飲酒歴あり、やめた人)

飲酒量(日本酒換算)	n	%
1合未満	49	61.3
1合～2合未満	21	26.3
2合～3合未満	8	10.0
3合～4合未満	1	1.3
4合～5合未満	1	1.3
5合～6合未満	0	0.0
6合～7合未満	0	0.0
7合～8合未満	0	0.0
8合～9合未満	0	0.0
9合～10合未満	0	0.0
10合以上	0	0.0
合計	80	100.0

欠損値 1



3-3-2 喫煙歴

図 3-3-2 喫煙歴

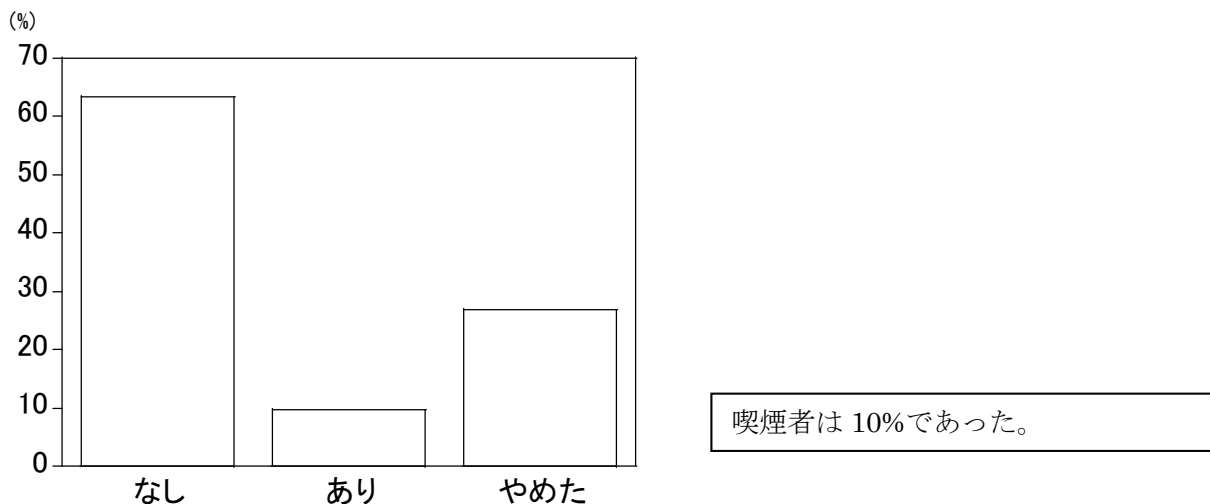


表 3-3-2 喫煙歴

喫煙歴	n	%
なし	99	63.5
あり	15	9.6
やめた	42	26.9
不明	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

3-3-3 間食

図 3-3-3 間食

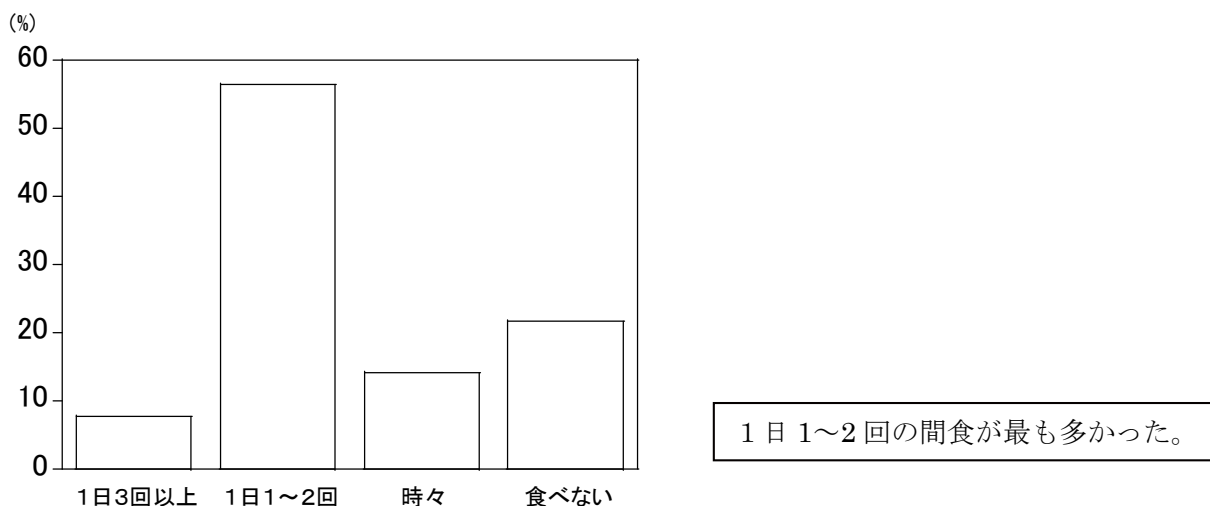


表 3-3-3 間食

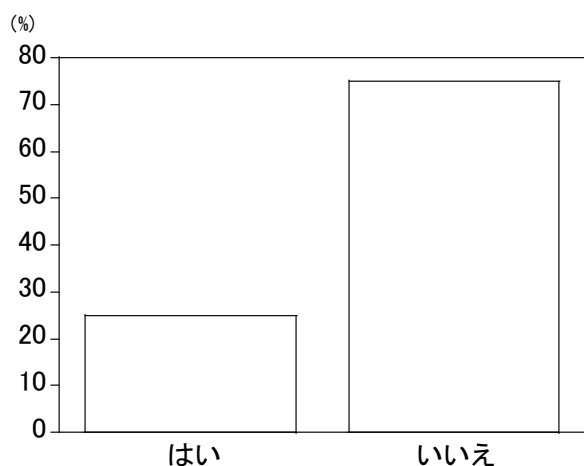
間食	n	%
1日3回以上	12	7.7
1日1~2回	88	56.4
時々	22	14.1
食べない	34	21.8
合計	156	100.0

欠損値 0

3-4 口腔機能

3-4-1 半年前に比べて固い物が食べにくい

図 3-4-1 半年前に比べて固い物が食べにくい



「いいえ」の回答が 75%と多かった。

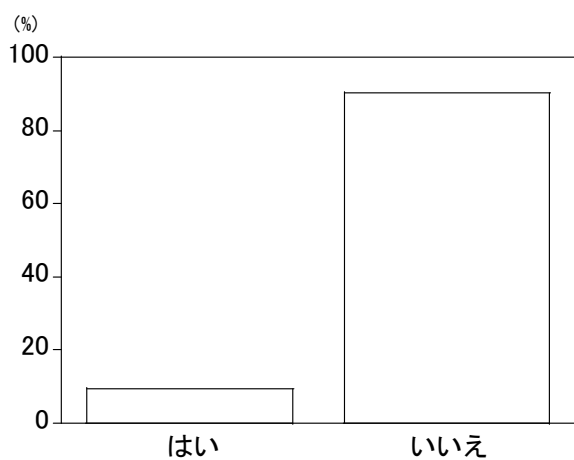
表 3-4-1 半年前に比べて固い物が食べにくい

半年前に比べて固い物が食べにくい	n	%
はい	39	25.0
いいえ	117	75.0
合計	156	100.0

欠損値 0

3-4-2 お茶や汁物等でむせることがある

図 3-4-2 お茶や汁物等でむせることがある



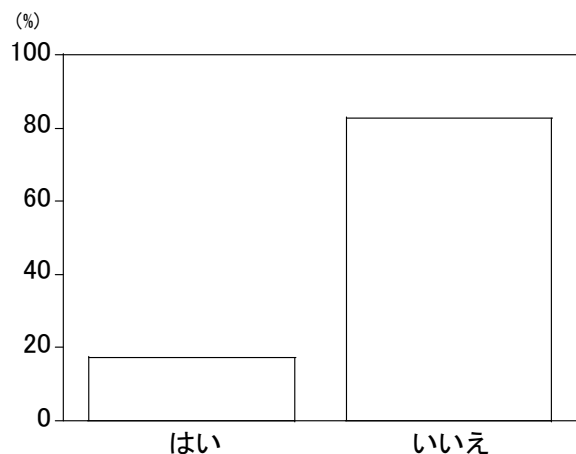
「いいえ」の回答が 90%と多かった。

表 3-4-2 お茶や汁物等でむせることがある

お茶や汁物等でむせることがある	n	%
はい	15	9.6
いいえ	141	90.4
合計	156	100.0

欠損値 0

3-4-3 口の渇きが気になる  
 図 3-4-3 口の渇きが気になる



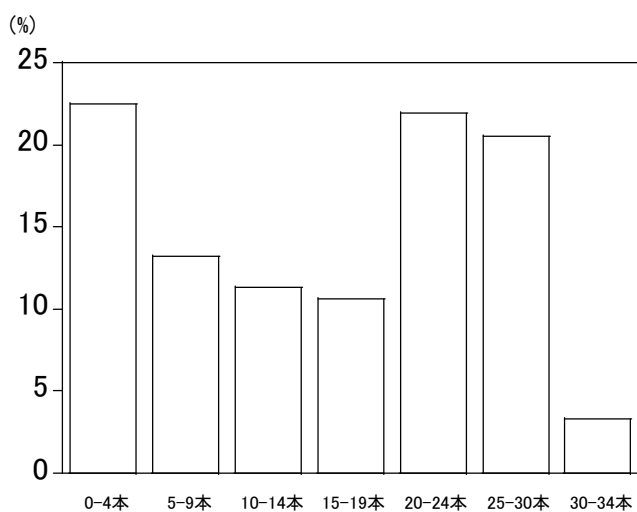
「いいえ」の回答が83%と多かった。

表 3-4-3 口の渇きが気になる

口の渇きが気になる	n	%
はい	27	17.3
いいえ	129	82.7
合計	156	100.0

欠損値 0

3-4-4 残存歯数  
 図 3-4-4 残存歯数



残存歯数は0~4本、20~24本、25-30本が多かった。

表 3-4-4 残存歯数

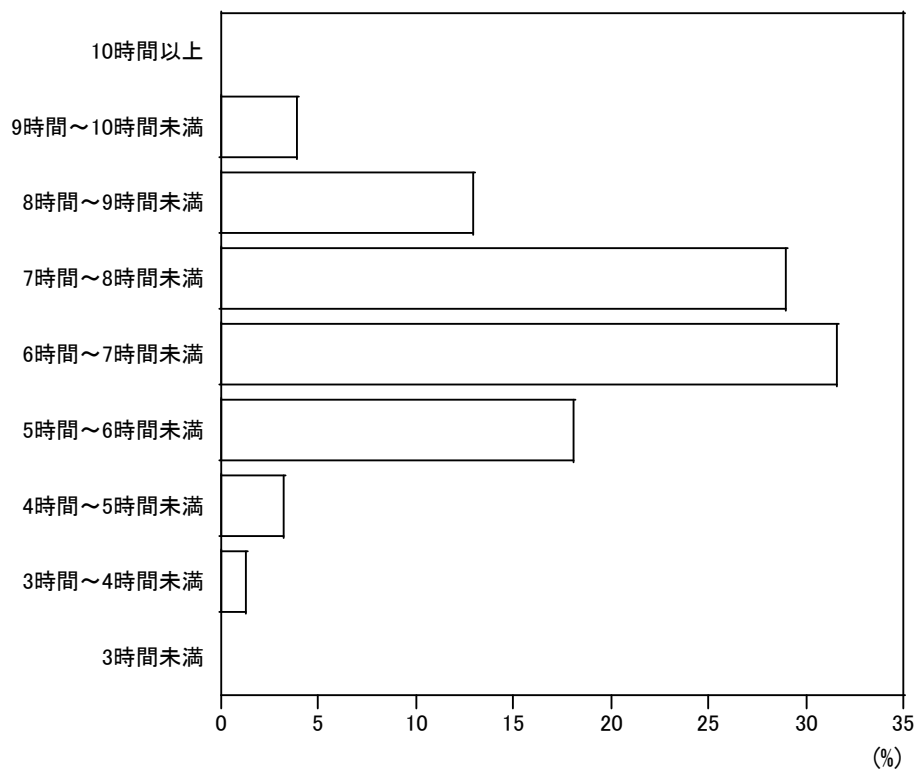
残存歯数	n	%
0-4本	34	22.5
5-9本	20	13.2
10-14本	17	11.3
15-19本	16	10.6
20-24本	33	21.9
25-30本	31	20.5
30-34本	5	3.3
合計	156	100.0

欠損値 0

3-5 睡眠

3-5-1 睡眠時間

図 3-5-1 睡眠時間



睡眠時間は 6～7 時間未満が最も多かった。

表 3-5-1 睡眠時間

睡眠時間	n	%
10 時間以上	0	0.0
9 時間～10 時間未満	6	3.9
8 時間～9 時間未満	20	12.9
7 時間～8 時間未満	45	29.0
6 時間～7 時間未満	49	31.6
5 時間～6 時間未満	28	18.1
4 時間～5 時間未満	5	3.2
3 時間～4 時間未満	2	1.3
3 時間未満	0	0.0
合計	155	100.0

欠損値 1

3-5-2 夜間に目覚めること

図 3-5-2 夜間に目覚めること

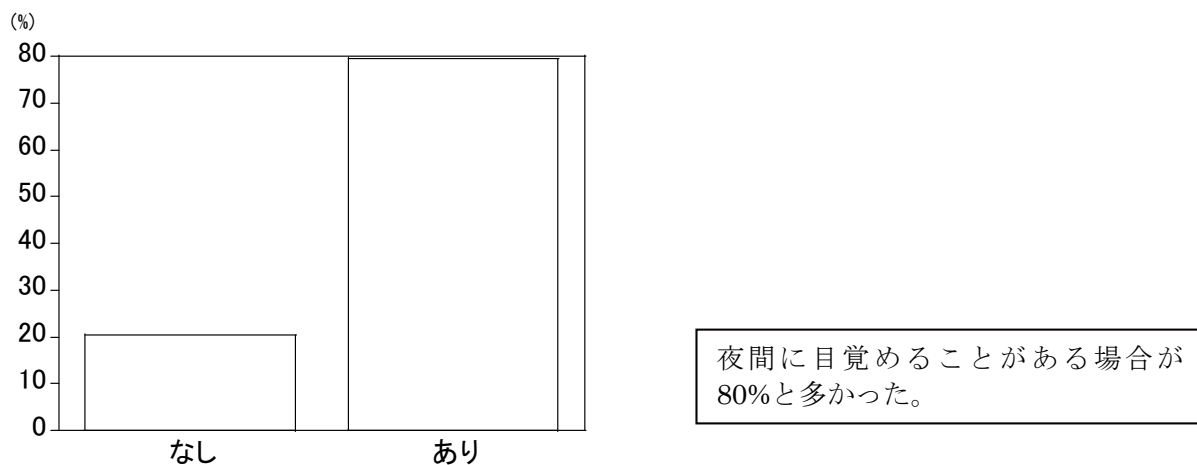


表 3-5-2 夜間に目覚めること

夜間に目覚めること	n	%
なし	32	20.5
あり	124	79.5
合計	156	100.0

欠損値 0

3-5-2-1 目覚める回数(夜間に目覚めることありの場合)

図 3-5-2-1 目覚める回数

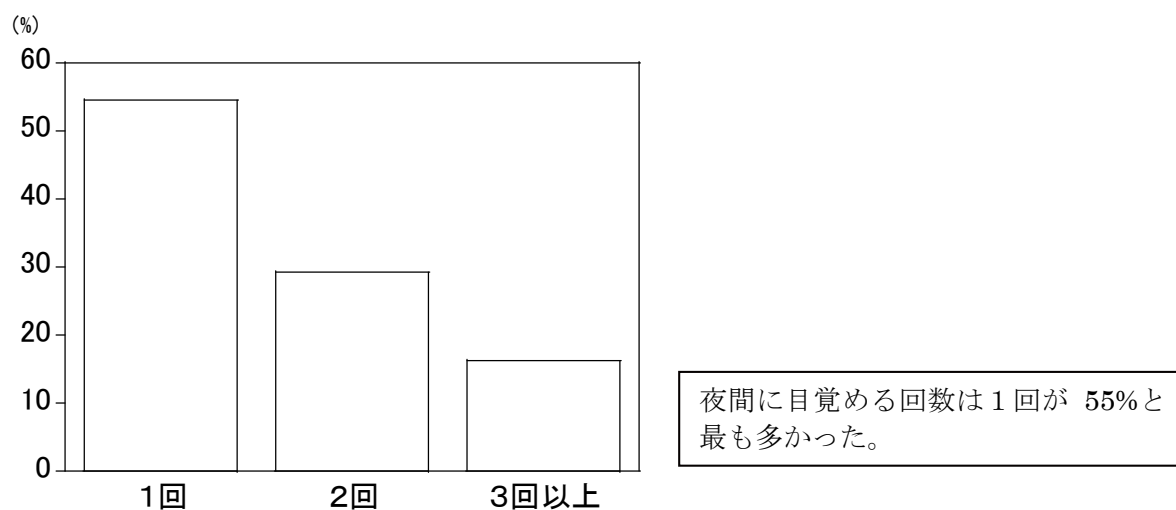


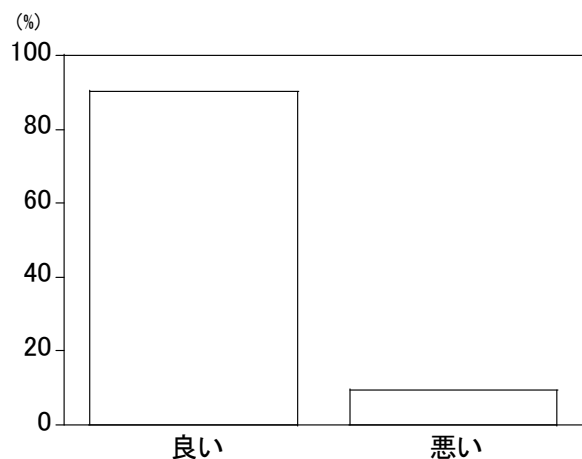
表 3-5-2-1 目覚める回数

目覚める回数	n	%
1回	67	54.5
2回	36	29.3
3回以上	20	16.3
合計	123	100.0

欠損値 1

### 3-5-3 睡眠の満足度

図 3-5-3 睡眠の満足度



睡眠の満足度は「良い」が90%と多かった。

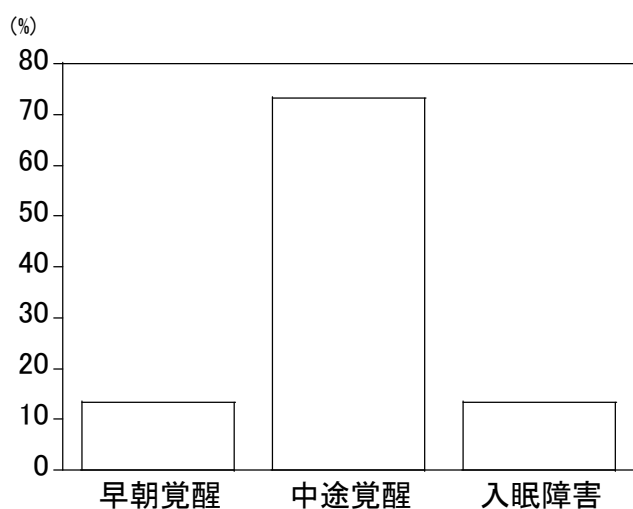
表 3-5-3 睡眠の満足度

睡眠の満足度	n	%
良い	141	90.4
悪い	15	9.6
合計	156	100.0

欠損値 0

#### 3-5-3-1 睡眠の満足度が悪い人の理由

図 3-5-3-1 睡眠の満足度が悪い人の理由(複数回答)



睡眠の満足度が悪い人の理由では「中途覚醒」が73%と多かった。

表 3-5-3-1 睡眠の満足度が悪い人の理由(複数回答)

睡眠の満足度が悪い人の理由	n	%
早朝覚醒	2	13.3
中途覚醒	11	73.3
入眠障害	2	13.3

3-5-4 眠剤の服用  
 図 3-5-4 眠剤の服用

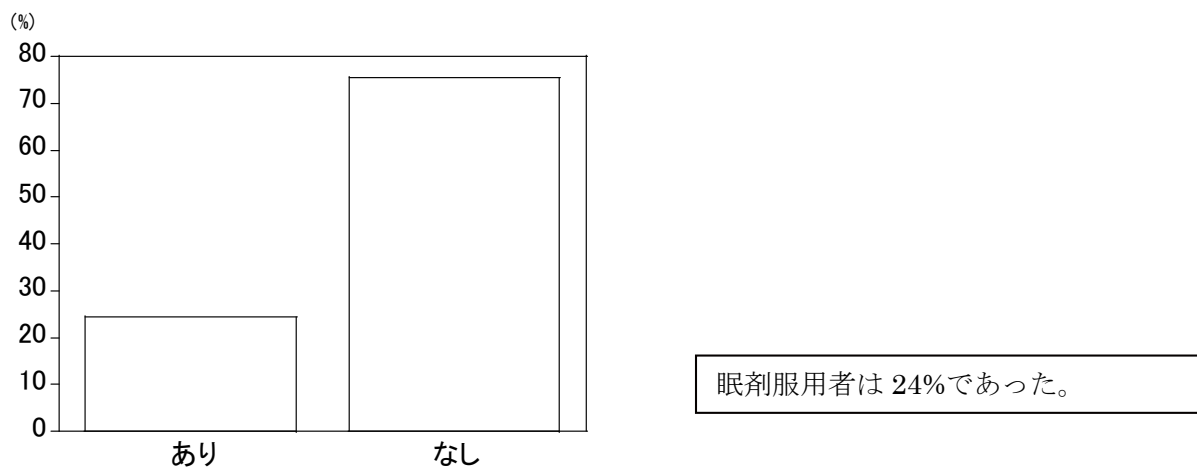


表 3-5-4 眠剤の服用

眠剤の服用	n	%
あり	38	24.4
なし	118	75.6
合計	156	100.0

欠損値 0

3-5-4-1 眠剤の服用時期(服用ありの場合)

図 3-5-4-1 眠剤の服用時期

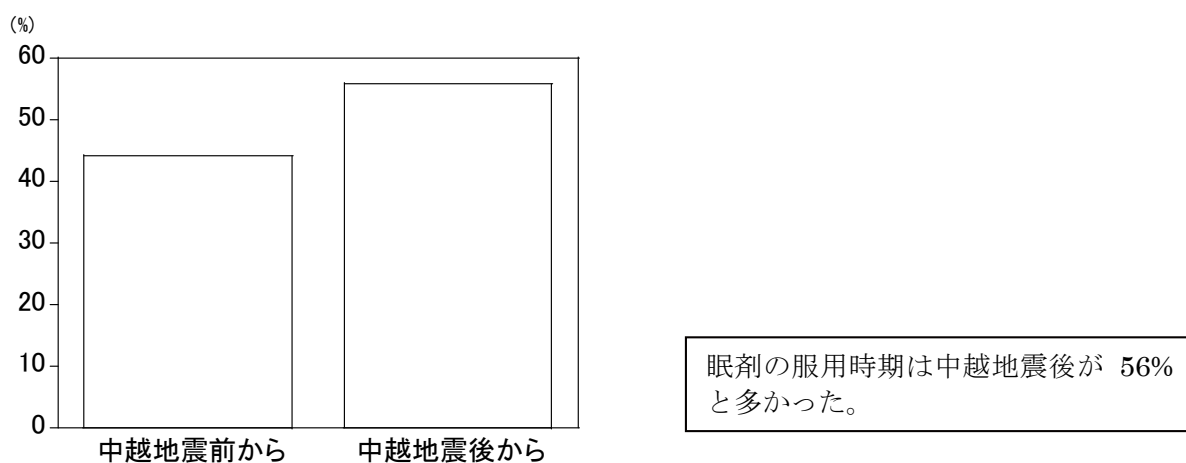


表 3-5-4-1 眠剤の服用時期

眠剤の服用時期	n	%
中越地震前から	15	44.1
中越地震後から	19	55.9
合計	34	100.0

欠損値 4

3-5-5 午睡の時間

図 3-5-5 午睡の時間

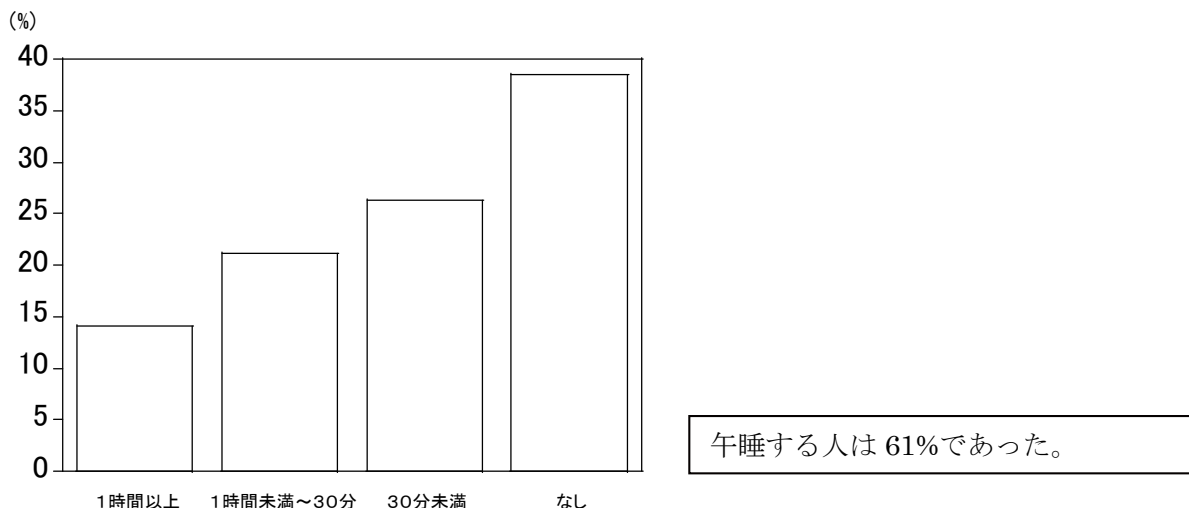


表 3-5-5 午睡の時間

午睡の時間	n	%
1時間以上	22	14.1
1時間未満～30分	33	21.2
30分未満	41	26.3
なし	60	38.5
合計	156	100.0

欠損値 0

3-5-5-1 午睡の開始時間

図 3-5-5-1 午睡の開始時間

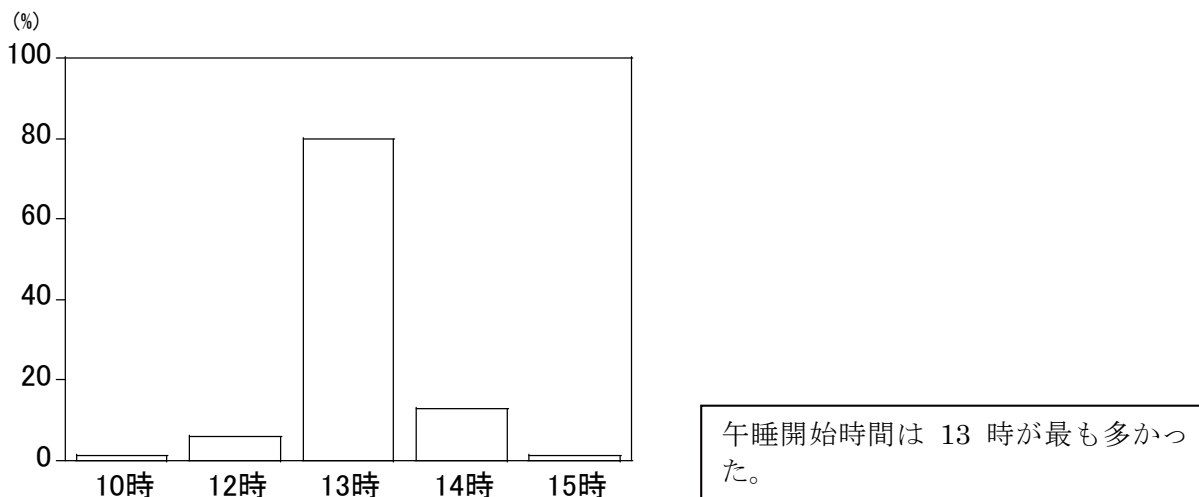


表 3-5-5-1 午睡の開始時間

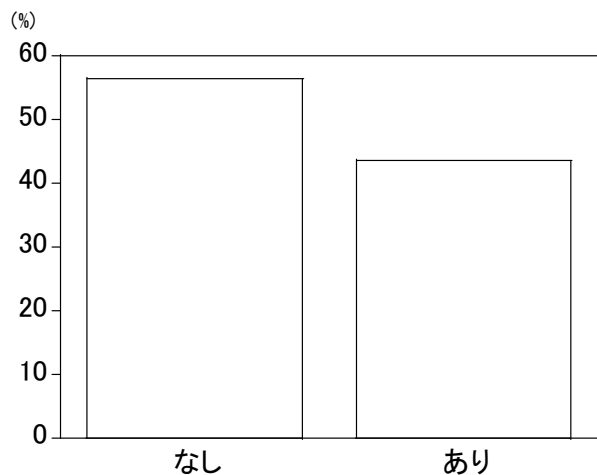
午睡の開始時間	n	%
10時	1	1.2
12時	5	5.9
13時	68	80.0
14時	11	12.9
15時	1	1.2
合計	86	100.0

欠損値 10



3-6 心配な事、困っている事

図 3-6 心配な事、困っている事があるか



心配な事のある人は 44%と半数近かった。

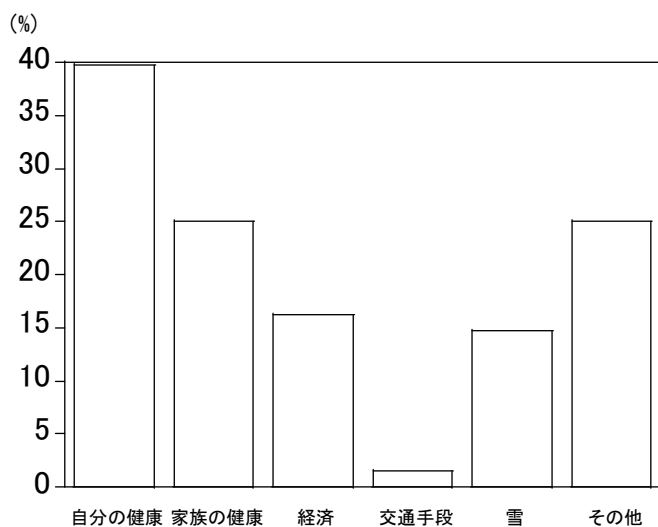
表 3-6 心配な事、困っている事があるか

心配な事、困っている事	n	%
なし	88	56.4
あり	68	43.6
合計	156	100.0

欠損値 0

3-6-1 心配な事の内容(心配な事ありの場合)

図 3-6-1 心配な事の内容(複数回答)



心配な事は、自分の健康が最も多く、次いで家族の健康であった。

表 3-6-1 心配な事の内容(複数回答)

心配な事の内容	n	%
自分の健康	27	39.7
家族の健康	17	25.0
経済	11	16.2
交通手段	1	1.5
雪	10	14.7
その他	17	25.0

3-7 職業

3-7-1 現在の職業

図 3-7-1 現在の職業

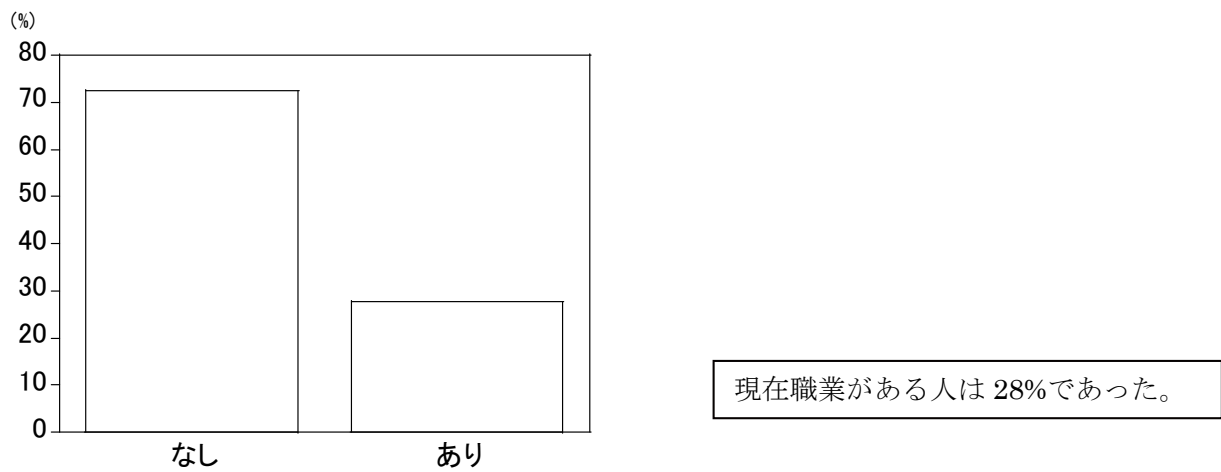


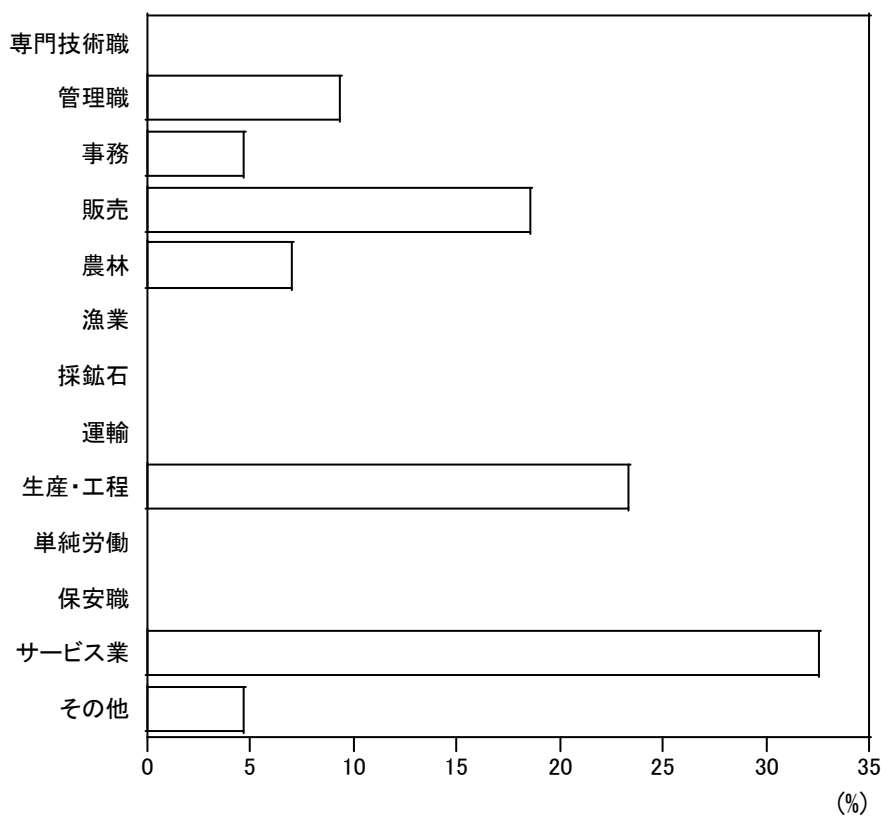
表 3-7-1 現在の職業

現在の職業	n	%
なし	113	72.4
あり	43	27.6
合計	156	100.0

欠損値 0

3-7-2 現在の職業の種類(職業のある人)

図 3-7-2 現在の職業の種類(職業のある人)



サービス業が多かった。

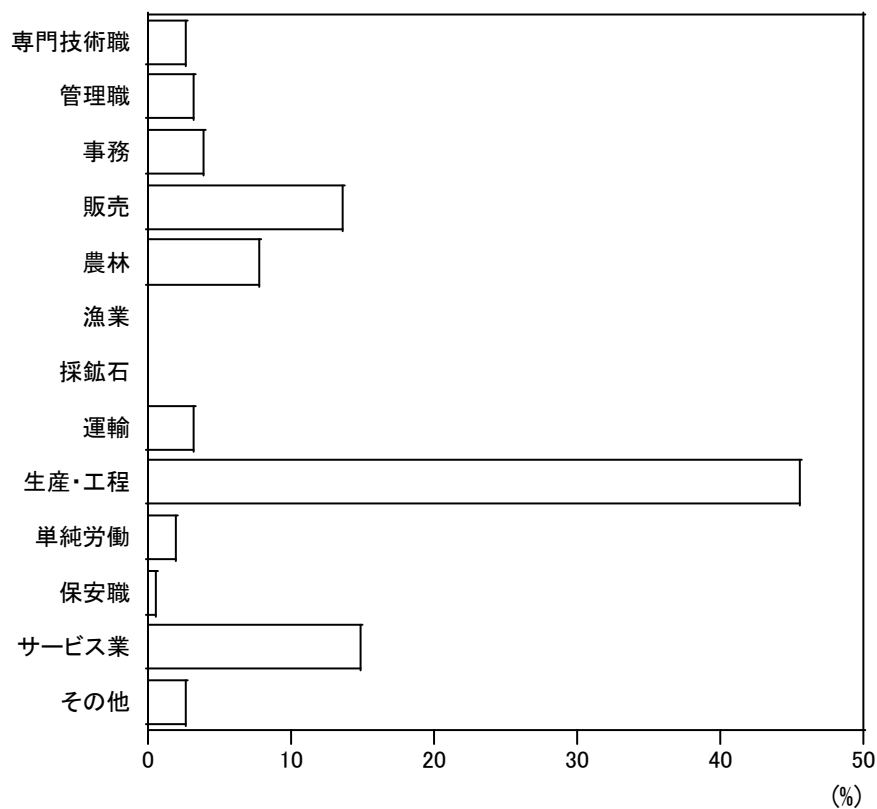
表 3-7-2 現在の職業の種類(職業のある人)

現在の職業の種類 (職業のある人)	n	%
専門技術職	0	0.0
管理職	4	9.3
事務	2	4.7
販売	8	18.6
農林	3	7.0
漁業	0	0.0
採鉱石	0	0.0
運輸	0	0.0
生産・工程	10	23.3
単純労働	0	0.0
保安職	0	0.0
サービス業	14	32.6
その他	2	4.7
合計	43	100.0

欠損値 0

3-7-3 一番勤務年数の長い職業

図 3-7-3 一番勤務年数の長い職業



生産・工程業が多かった。

表 3-7-3 一番勤務年数の長い職業

一番勤務年数の長い職業	n	%
専門技術職	4	2.6
管理職	5	3.2
事務	6	3.9
販売	21	13.6
農林	12	7.8
漁業	0	0.0
採鉱石	0	0.0
運輸	5	3.2
生産・工程	70	45.5
単純労働	3	1.9
保安職	1	0.6
サービス業	23	14.9
その他	4	2.6
合計	154	100.0

欠損値 2

3-7-4 最後の職業(現在無職の場合のみ)

図 3-7-4 最後の職業(現在無職の場合のみ)

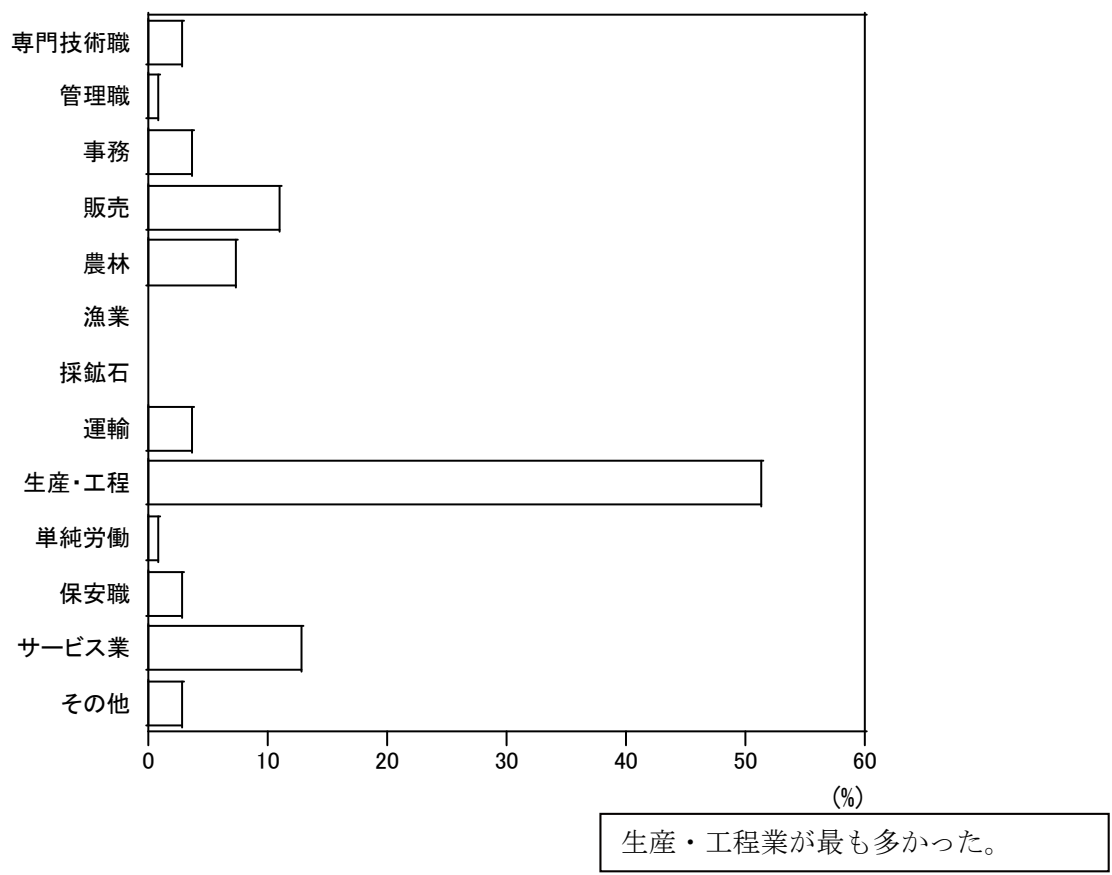


表 3-7-4 最後の職業(現在無職の場合のみ)

最後の職業 (現在無職の場合のみ)	n	%
専門技術職	3	2.8
管理職	1	0.9
事務	4	3.7
販売	12	11.0
農林	8	7.3
漁業	0	0.0
採鉱石	0	0.0
運輸	4	3.7
生産・工程	56	51.4
単純労働	1	0.9
保安職	3	2.8
サービス業	14	12.8
その他	3	2.8
合計	109	100.0

欠損値 4

3-8 過去3年間のイベント

図 3-8 過去3年間のイベントの有無

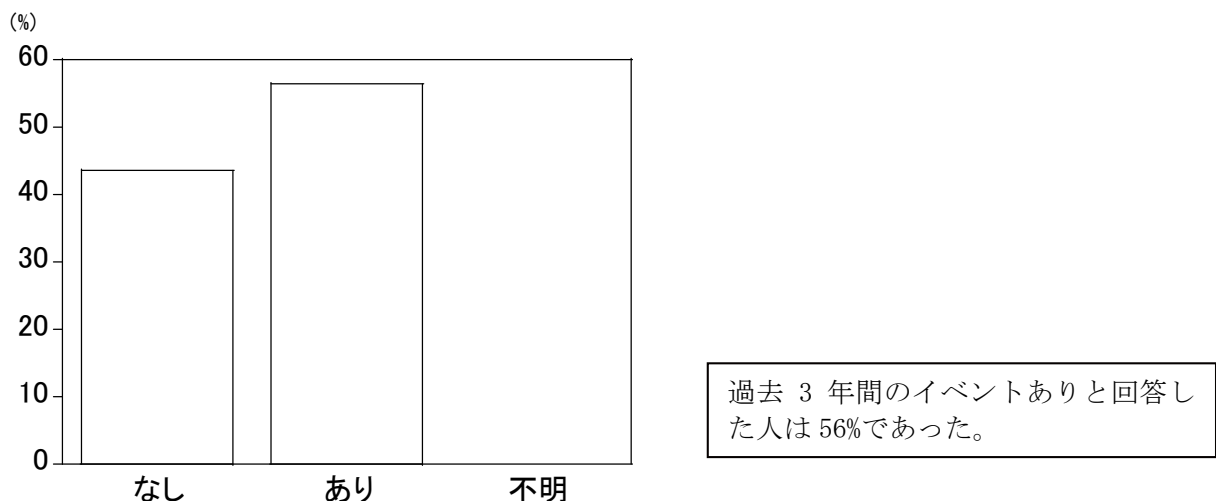


表 3-8 過去3年間のイベントの有無

過去3年間のイベントの有無	n	%
なし	68	43.6
あり	88	56.4
不明	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

3-8-1 イベントの種類(イベントありの場合)

図 3-8-1 イベントの種類(イベントありの場合)(複数回答)

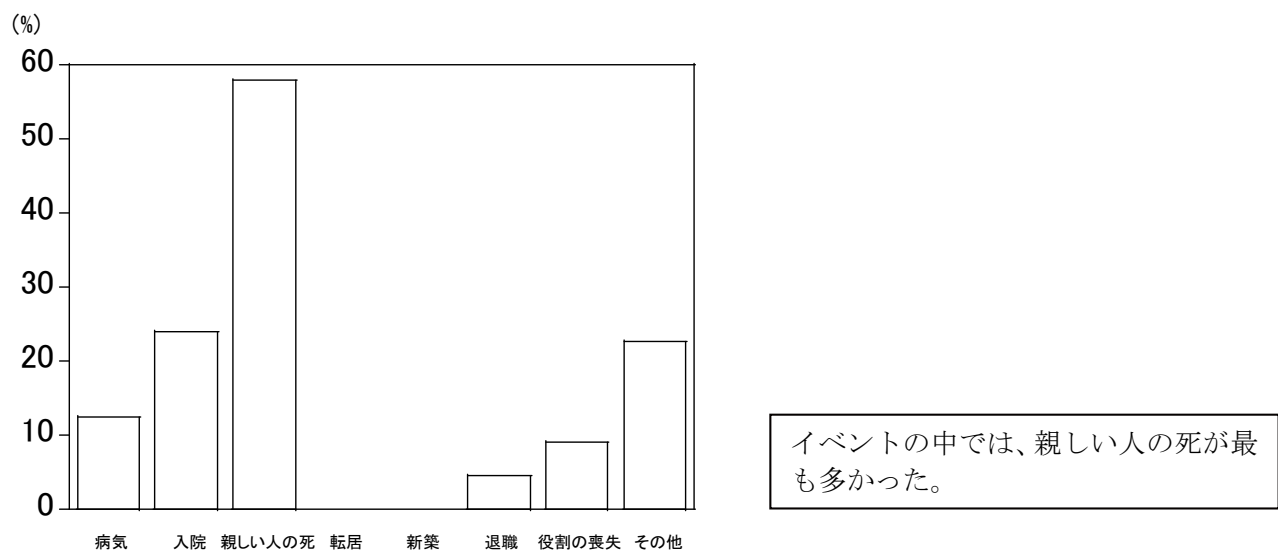


表 3-8-1 イベントの種類(イベントありの場合)(複数回答)

イベントの種類 (イベントありの場合)	n	%
病気	11	12.5
入院	21	23.9
親しい人の死	51	58.0
転居	0	0.0
新築	0	0.0
退職	4	4.5
役割の喪失 (家庭内・町内会・老人会など)	8	9.1
その他	20	22.7

3-9 過去3年間の特異な体験

図 3-9 過去3年間の特異な体験の有無

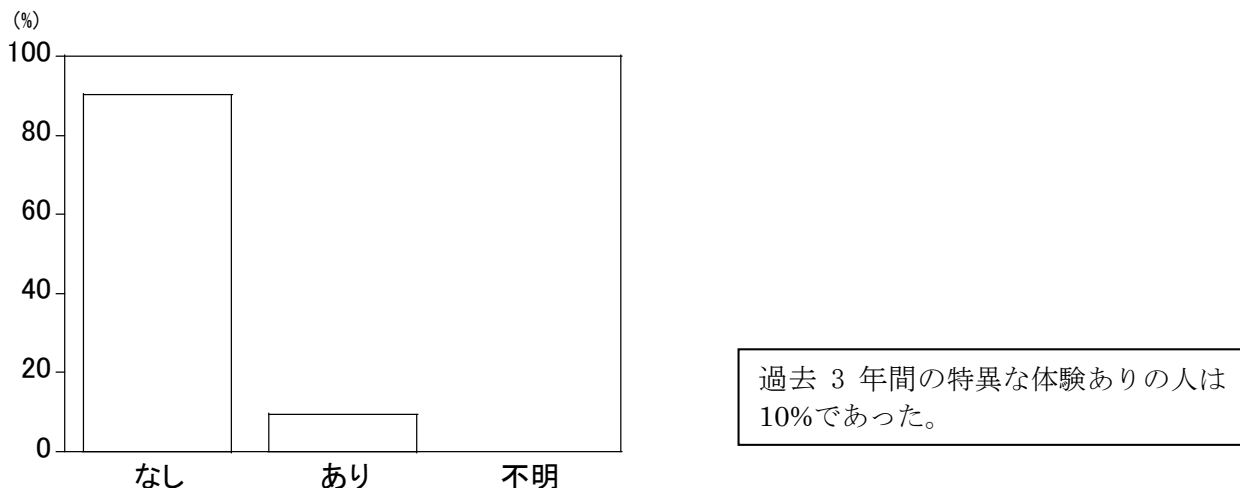


表 3-9 過去3年間の特異な体験の有無

過去3年間の特異な体験の有無	n	%
なし	141	90.4
あり	15	9.6
不明	0	0.0
合計	156	100.0

欠損値 0

3-9-1 自分の特異な体験の種類(特異な体験ありの場合)

図 3-9-1 自分の特異な体験の種類(特異な体験ありの場合)(複数回答)

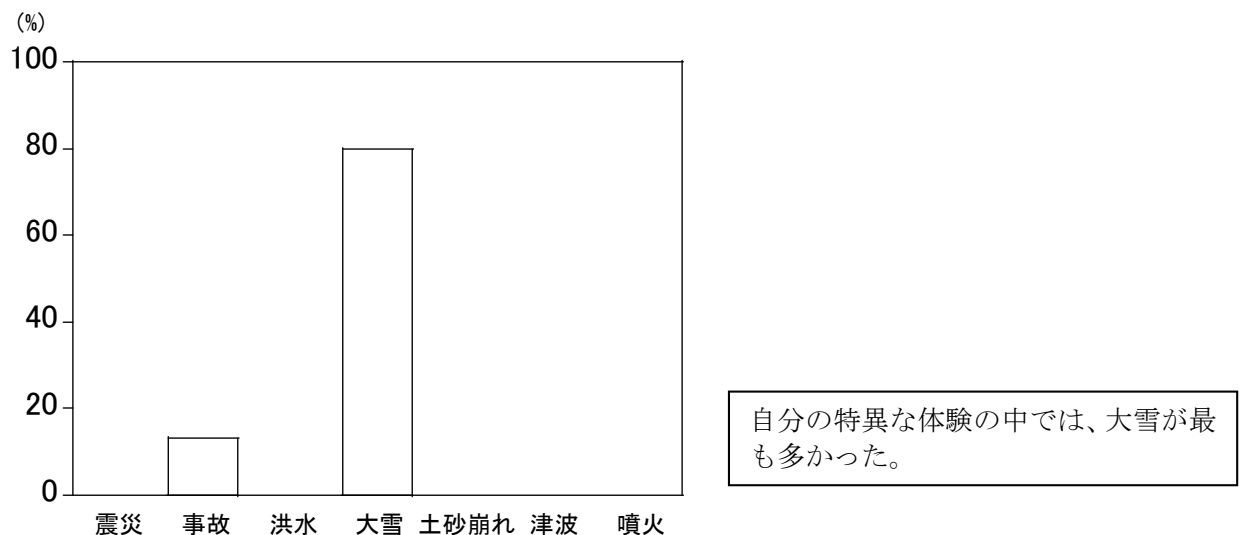


表 3-9-1 自分の特異な体験の種類(特異な体験ありの場合)(複数回答)

自分の特異な体験の種類 (特異な体験ありの場合)	n	%
震災	0	0.0
事故	2	13.3
洪水	0	0.0
大雪	12	80.0
土砂崩れ	0	0.0
津波	0	0.0
噴火	0	0.0

3-9-2 特異な体験の種類(現場を目撃)(特異な体験ありの場合)

図 3-9-2 特異な体験の種類(現場を目撃)(特異な体験ありの場合)(複数回答)

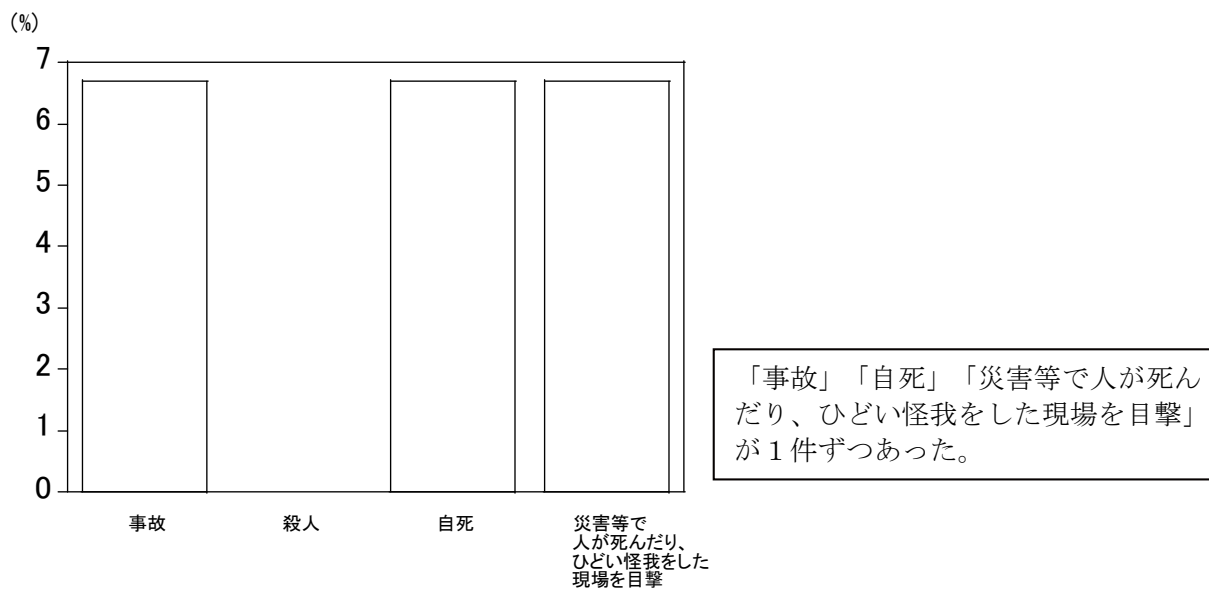


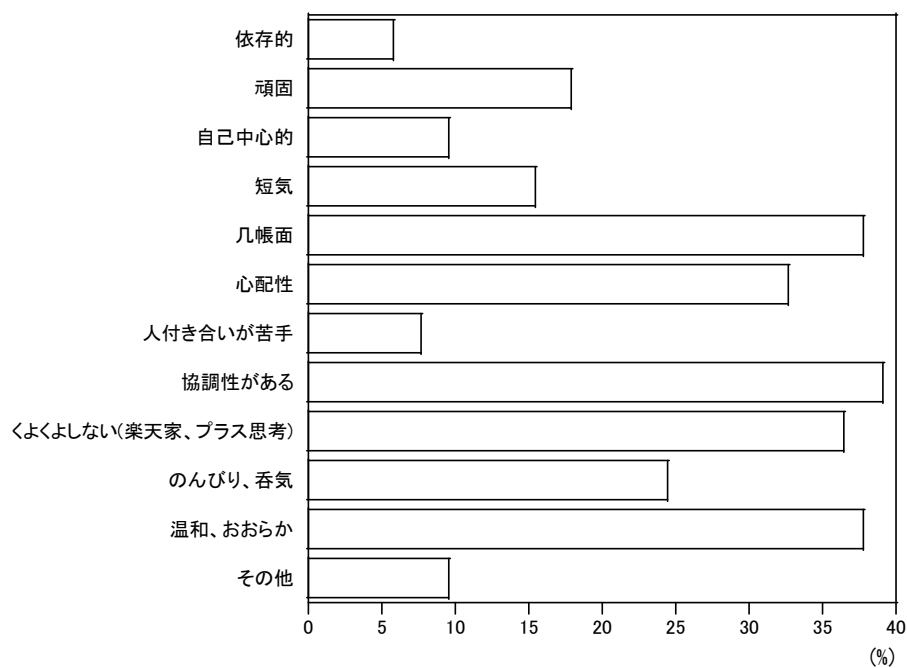
表 3-9-2 特異な体験の種類(現場を目撃)(特異な体験ありの場合)(複数回答)

現場を目撃 (特異な体験ありの場合)	n	%
事故	1	6.7
殺人	0	0.0
自死	1	6.7
災害等で人が死んだり、ひどい怪我をした現場を目撃	1	6.7



3-10 性格

図 3-10 性格(複数回答)



協調性がある、温和・おおらか、くよくよしない、几帳面が多かった。

表 3-10 性格(複数回答)

性格	n	%
依存的	9	5.8
頑固	28	17.9
自己中心的	15	9.6
短気	24	15.4
几帳面	59	37.8
心配性	51	32.7
人付き合いが苦手	12	7.7
協調性がある	61	39.1
くよくよしない(楽道家、プラス思考)	57	36.5
のんびり、呑気	38	24.4
温和、おおらか	59	37.8
その他	15	9.6

3-11 高齢者の地域とのつながりや日常生活上の不安や不自由

3-11-1 近所の方との程度の付き合いをしていますか

図 3-11-1 近所の方との程度の付き合いをしていますか(複数回答)

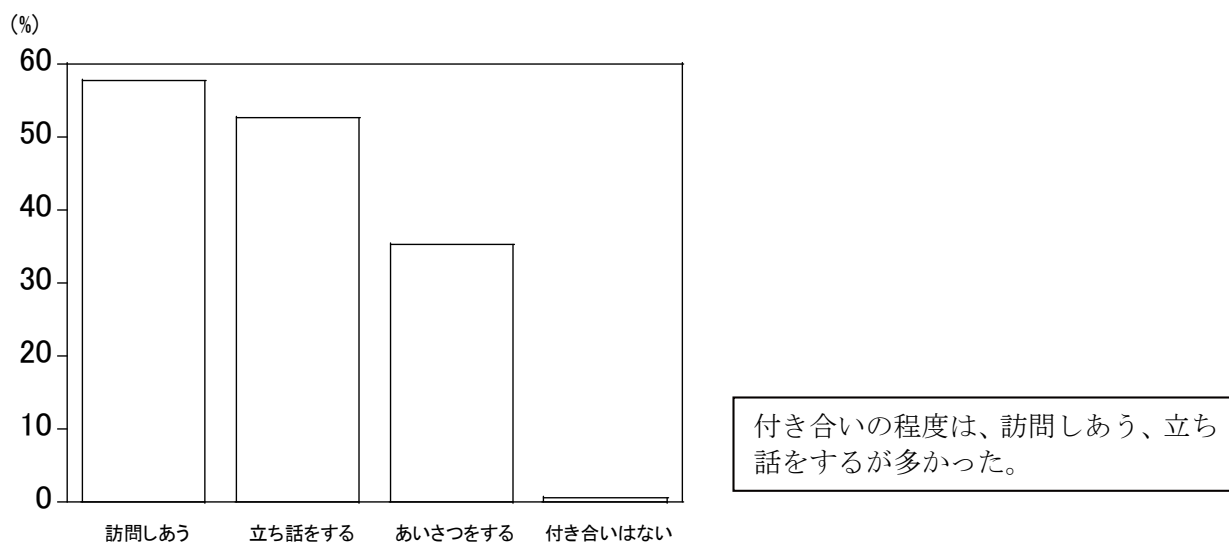


表 3-11-1 近所の方との程度の付き合いをしていますか(複数回答)

近所の方との程度の付き合いをしていますか	n	%
訪問しあう人がいる	90	57.7
立ち話をする程度の人がある	82	52.6
あいさつをする程度の人がある	55	35.3
付き合いはない	1	0.6

3-11-2 家族や親族以外で相談や世話をし合う人がいますか

図 3-11-2 家族や親族以外で相談や世話をし合う人がいますか

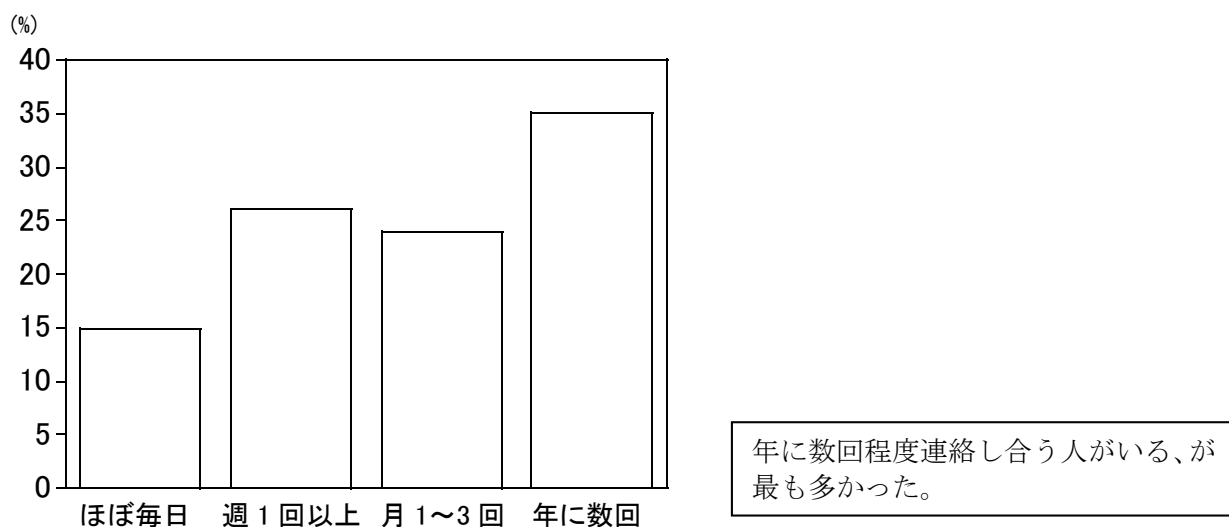


表 3-11-2 家族や親族以外で相談や世話をし合う人がいますか

家族や親族以外で相談や世話をし合う人がいますか	n	%
ほぼ毎日連絡し合う人がいる	20	14.9
週1回以上連絡し合う人がいる	35	26.1
月1~3回程度連絡し合う人がいる	32	23.9
年に数回程度連絡し合う人がいる	47	35.1
合計	134	100.0

3-11-3 地域の方から実際に身近な支援を受けていますか  
 図 3-11-3 地域の方から実際に身近な支援を受けていますか

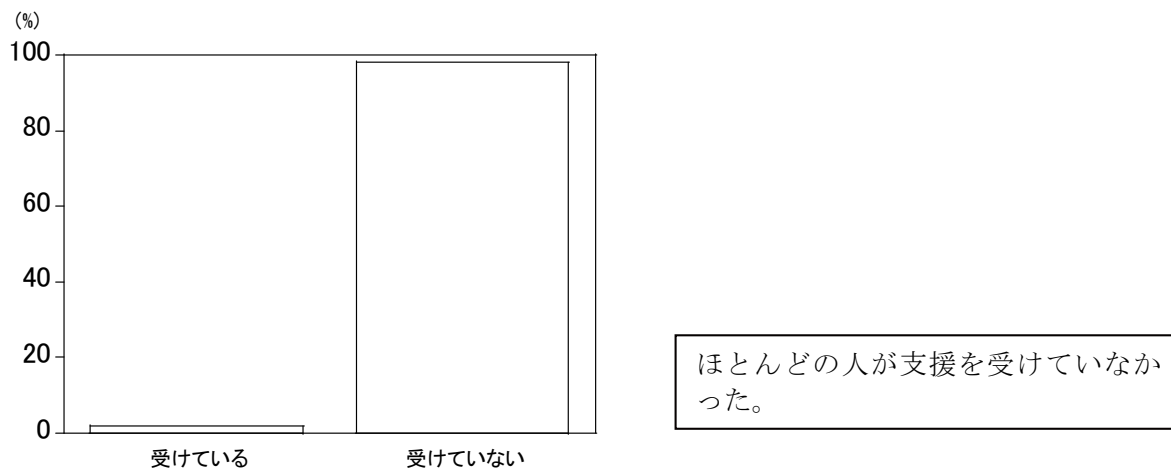


表 3-11-3 地域の方から実際に身近な支援を受けていますか

地域の方から実際に身近な支援を受けていますか	n	%
受けている	3	1.9
受けていない	153	98.1
合計	156	100.0

欠損値 0

3-11-4 地域の方からどのような支援を受けていますか(支援を受けている人)

図 3-11-4 地域の方からどのような支援を受けていますか(複数回答)

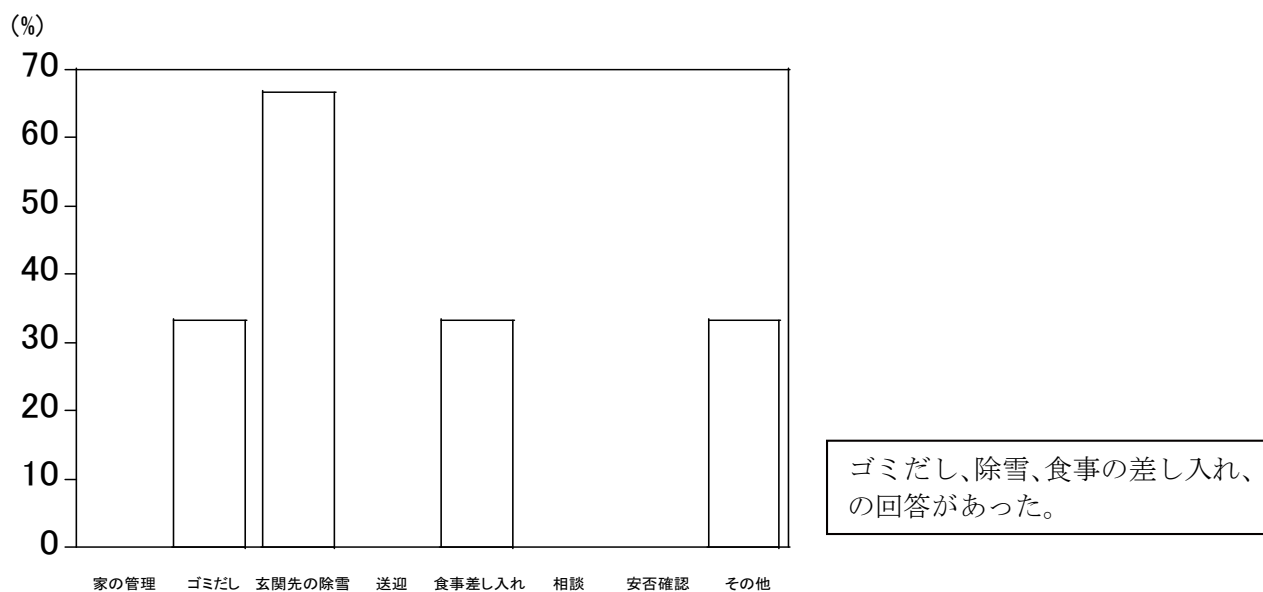


表 3-11-4 地域の方からどのような支援を受けていますか(複数回答)

地域の方からどのような支援を受けていますか	n	%
家の管理(冬囲い、屋根の雪下ろし等)	0	0.0
ゴミだし	1	33.3
玄関先の除雪	2	66.7
外出時の送迎(買い物、受診、金融機関、役所等)	0	0.0
食事の差し入れ	1	33.3
いろいろな相談に乗ってもらう	0	0.0
安否確認をしてもらう	0	0.0
その他	1	33.3

3-11-5 地域の方の支援を受けていない理由は何ですか(支援を受けていない人)

図 3-11-5 地域の方の支援を受けていない理由は何ですか(複数回答)

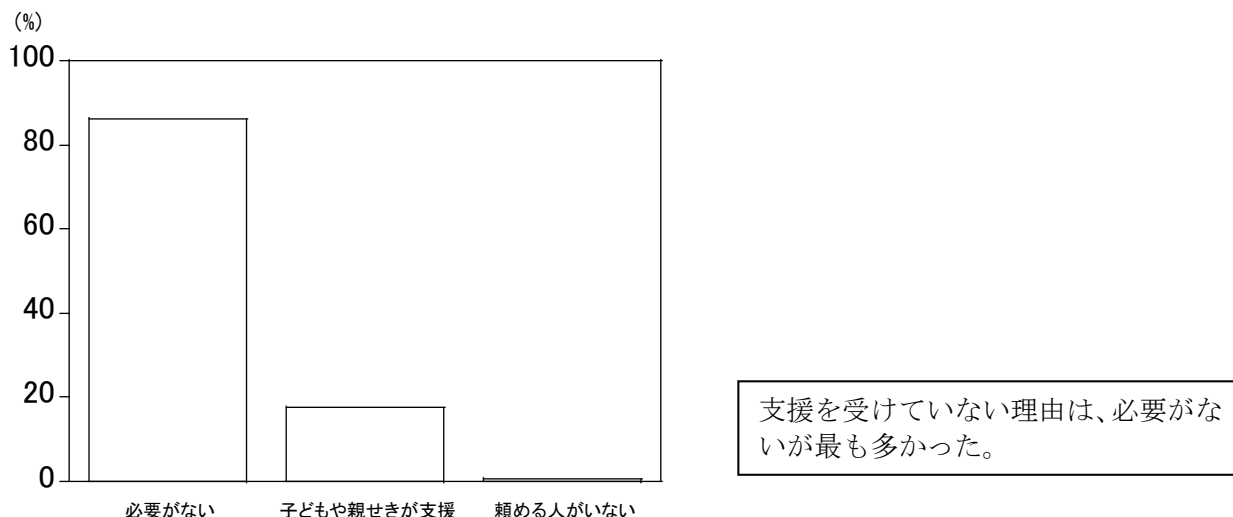


表 3-11-5 地域の方の支援を受けていない理由は何ですか(複数回答)

地域の方の支援を受けていない理由は何ですか	n	%
必要がない	132	86.3
子どもや親せきが支援してくれる	27	17.6
頼める人がいない	1	0.7

3-11-6 日常生活での不安や不自由に感じる事は何ですか

図 3-11-6 日常生活での不安や不自由に感じる事は何ですか(複数回答)

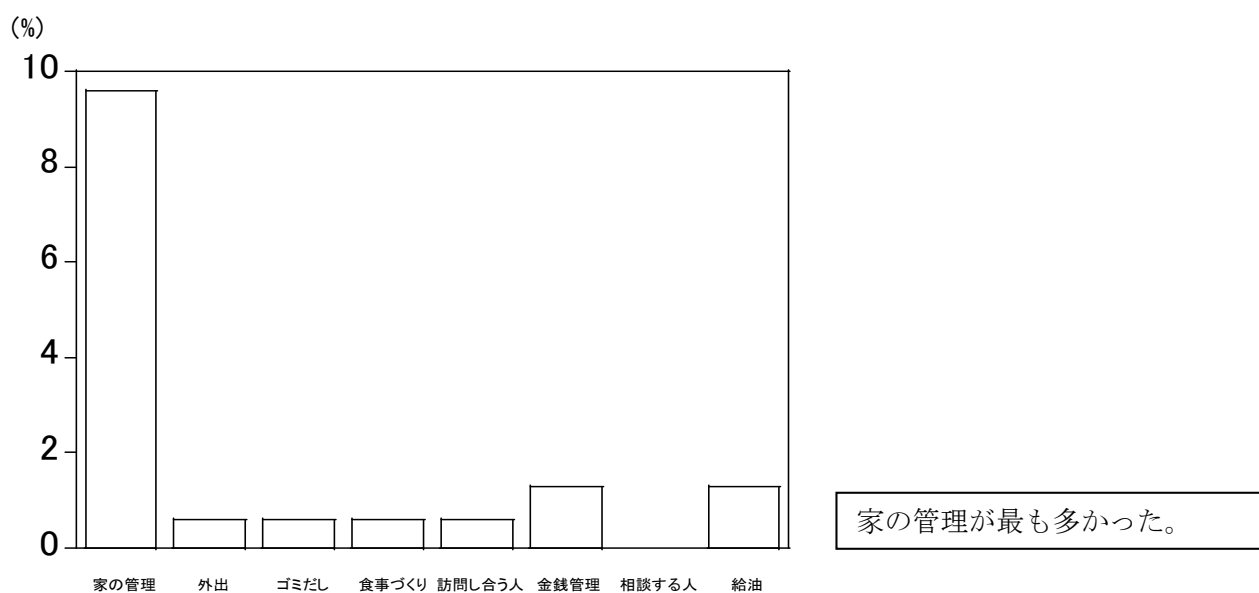


表 3-11-6 日常生活での不安や不自由に感じる事は何ですか(複数回答)

日常生活での不安や不自由に感じる事は何ですか	n	%
家の管理(草取り、簡単な修理、雪おろしや玄関の除雪等)	15	9.6
外出	1	0.6
ゴミだし(新聞等資源ごみ含む)	1	0.6
食事づくり	1	0.6
気軽に訪問し合う人がいない	1	0.6
日常の金銭管理や役所などでの手続きや郵便物への対応	2	1.3
いろいろな相談をする人や窓口が身近にいない(ない)	0	0.0
冬期間のストーブへの給油	2	1.3

#### 4 中越地震

##### 4-1 中越地震の体験

図 4-1 中越地震の体験

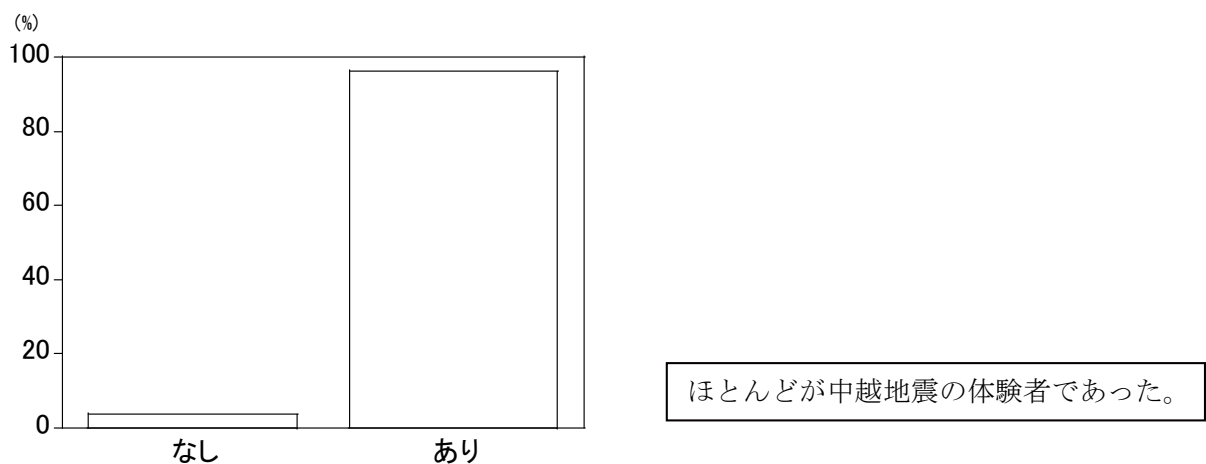


表 4-1 中越地震の体験

中越大震災の体験	n	%
なし	6	3.8
あり	150	96.2
合計	156	100.0

欠損値 0

##### 4-2 家屋被害(認定)

図 4-2 家屋被害(認定)

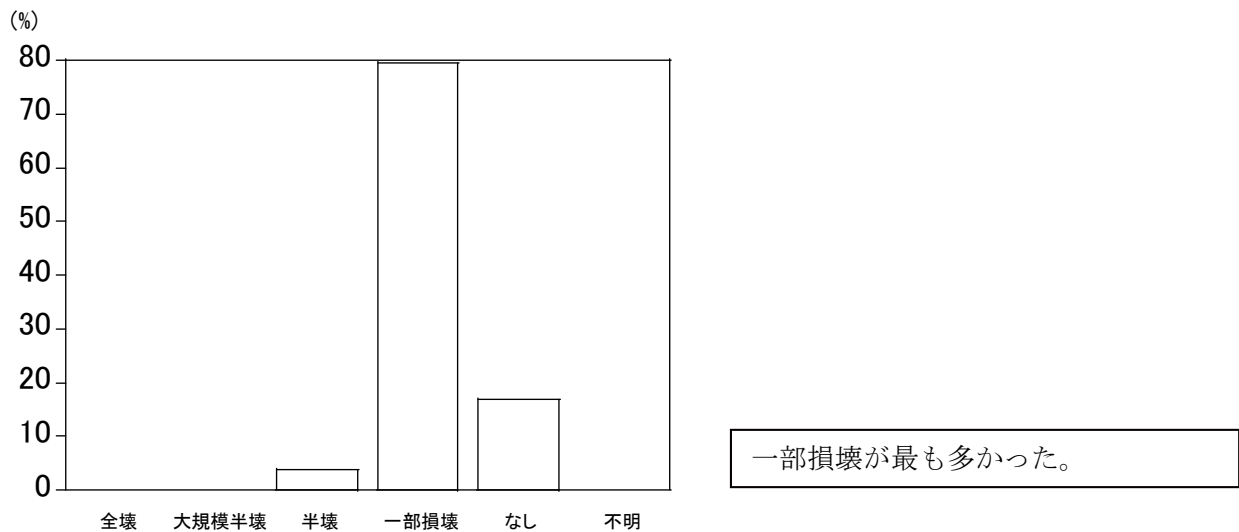


表 4-2 家屋被害(認定)

家屋被害(認定)	n	%
全壊	0	0.0
大規模半壊	0	0.0
半壊	6	3.9
一部損壊	123	79.4
なし	26	16.8
不明	0	0.0
合計	155	100.0

欠損値 1

4-3 自宅以外の市内の避難生活

図 4-3 自宅以外の市内の避難生活

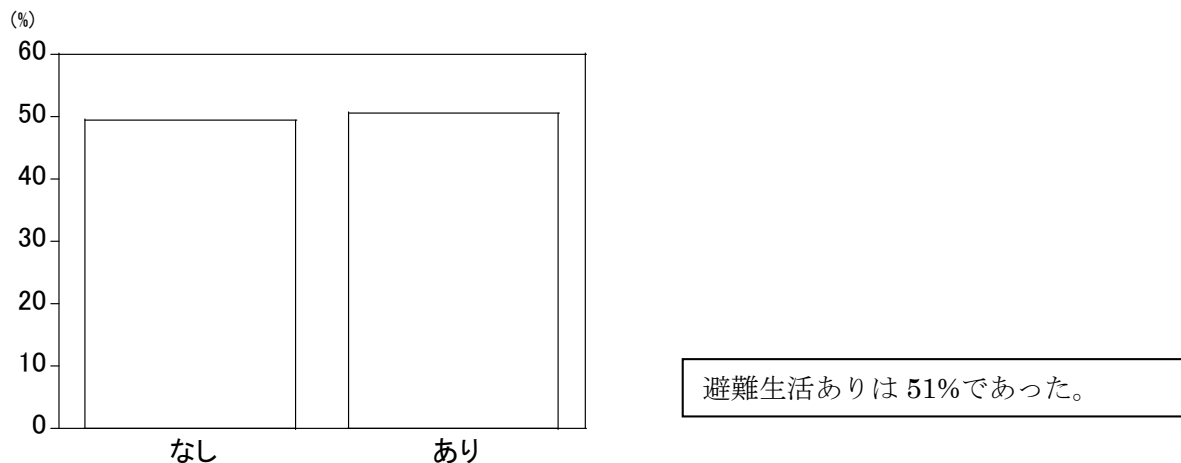


表 4-3 自宅以外の市内の避難生活

自宅以外の市内の避難生活	n	%
なし	77	49.4
あり	79	50.6
合計	156	100.0

欠損値 0

4-3-1 避難生活期間(自宅以外の市内の避難生活ありの場合)

図 4-3-1 避難生活期間

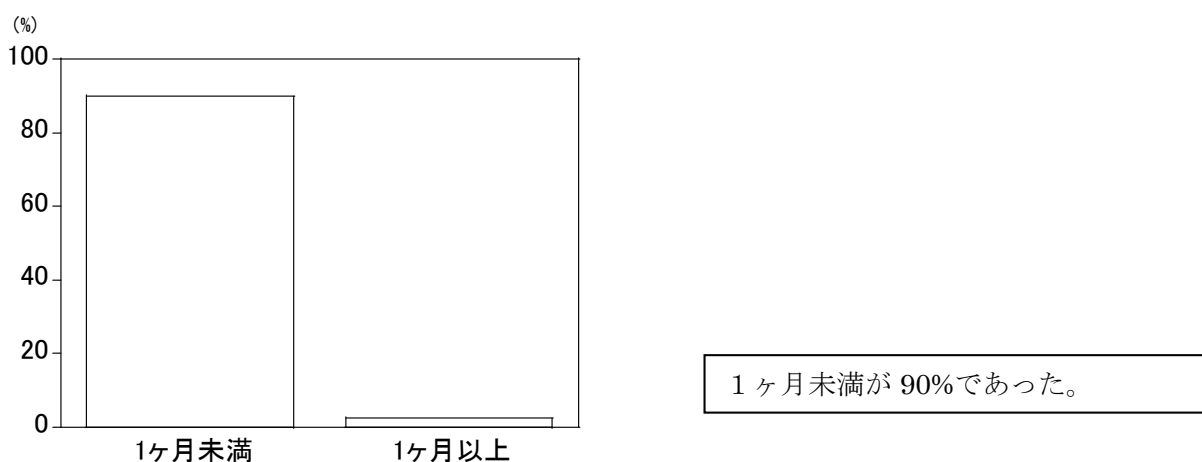


表 4-3-1 避難生活期間

避難生活期間	n	%
1ヶ月未満	71	89.9
1ヶ月以上	2	2.5
合計	73	100.0

欠損値 6

4-4 市外への避難生活

図 4-4 市外への避難生活

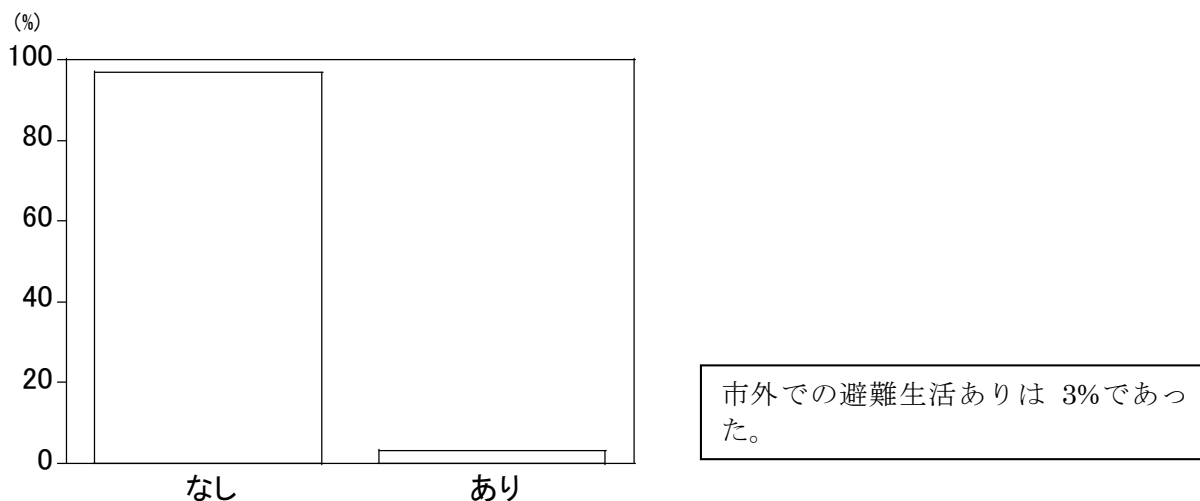


表 4-4 市外への避難生活

市外への避難	n	%
なし	151	96.8
あり	5	3.2
合計	156	100.0

欠損値 0

4-4-1 避難生活期間(市外への避難ありの場合)

図 4-4-1 避難生活期間

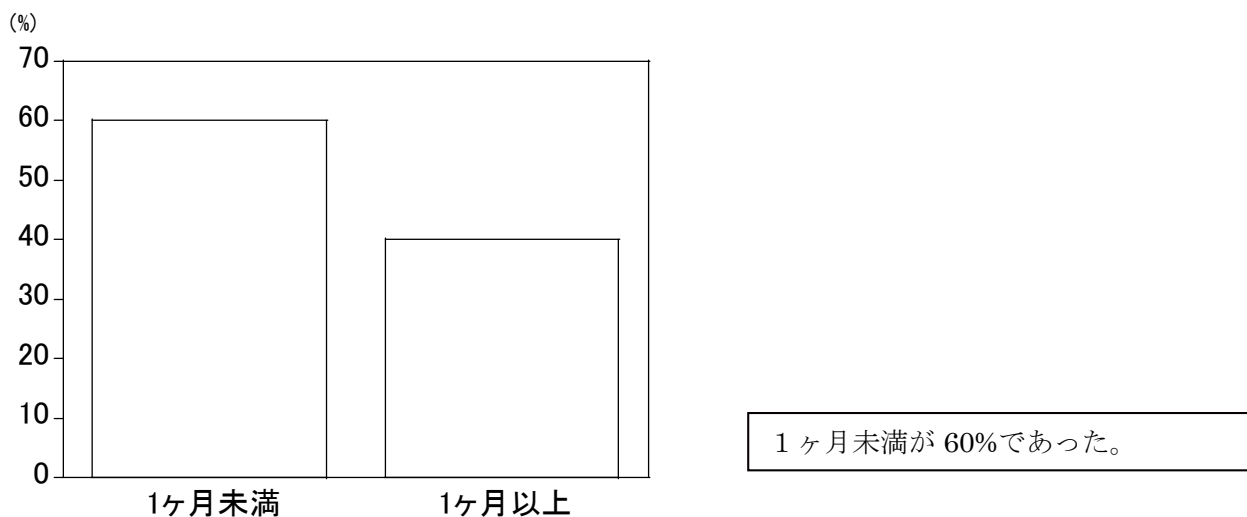


表 4-4-1 避難生活期間

避難生活期間	n	%
1ヶ月未満	3	60.0
1ヶ月以上	2	40.0
合計	5	100.0

欠損値 0

4-5 仮設住宅入居

図 4-5 仮設住宅入居

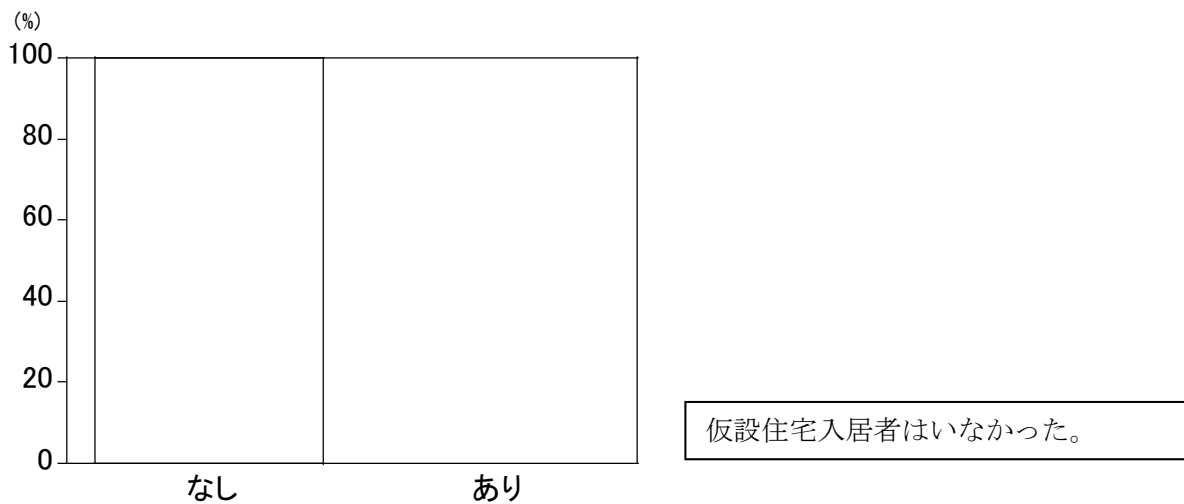


表 4-5 仮設住宅入居

仮設住宅入居	n	%
なし	154	100.0
あり	0	0.0
合計	154	100.0

欠損値 2



4-6 家屋改修状況

図 4-6 家屋改修状況

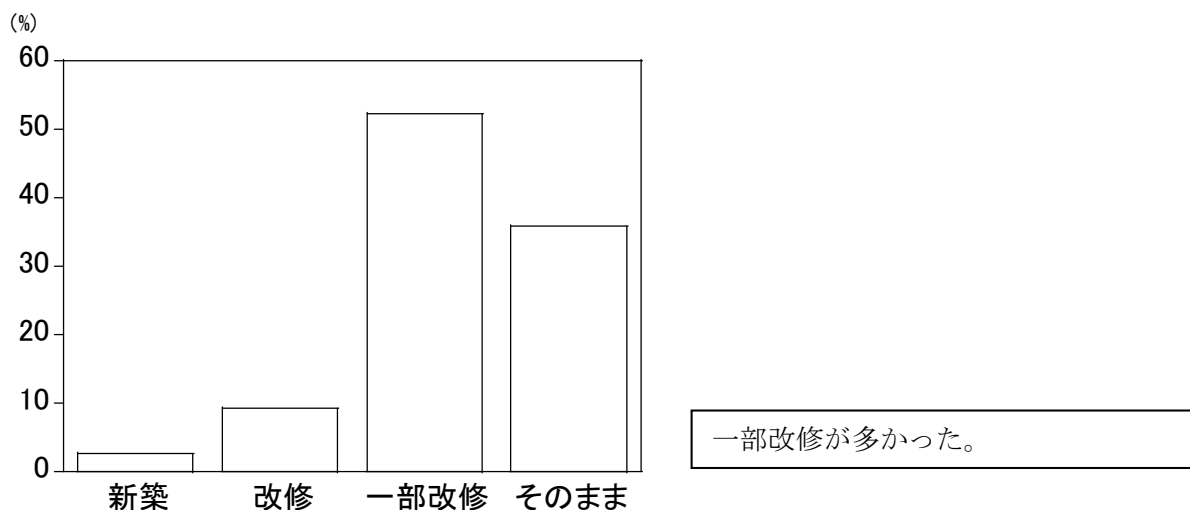


表 4-6 家屋改修状況

家屋改修状況	n	%
新築	4	2.6
改修	14	9.3
一部改修	79	52.3
そのまま	54	35.8
合計	151	100.0

欠損値 5

4-7 中越地震後の現在の住まい

図 4-7 中越地震後の現在の住まい

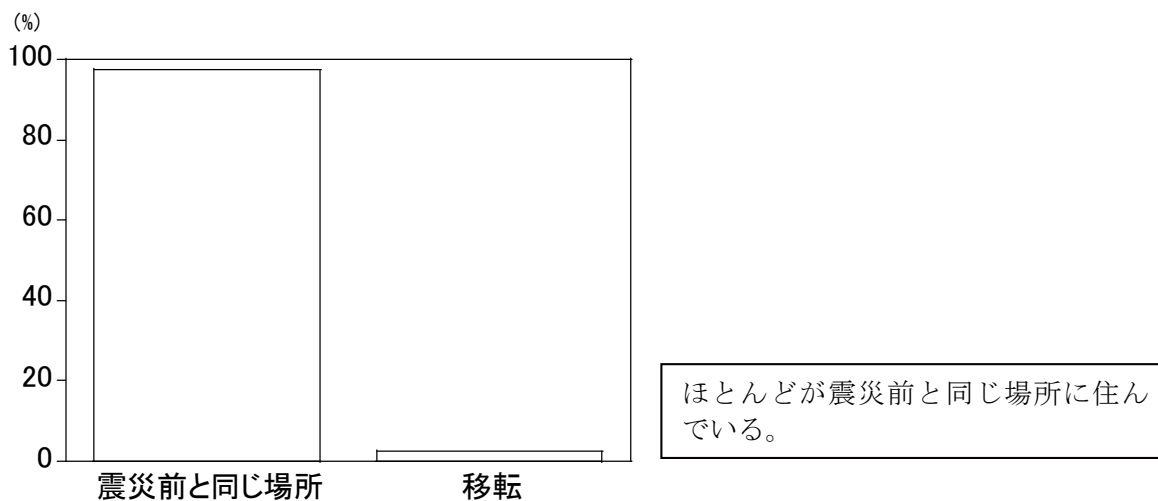


表 4-7 中越地震後の現在の住まい

中越地震後の現在の住まい	n	%
震災前と同じ場所	152	97.4
移転	4	2.6
合計	156	100.0

欠損値 0

4-8 中越地震後の家族構成の変化

図 4-8 中越地震後の家族構成の変化

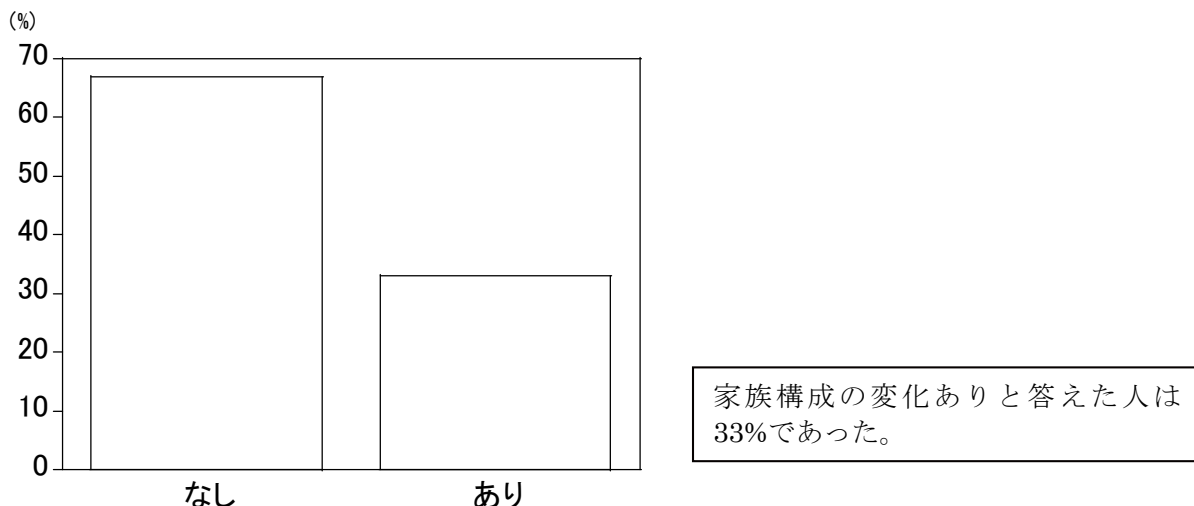


表 4-8 中越地震後の家族構成の変化

中越地震後の家族構成の変化	n	%
なし	103	66.9
あり	51	33.1
合計	154	100.0

欠損値 2

4-9 中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続しているかどうか

図 4-9 中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続しているかどうか

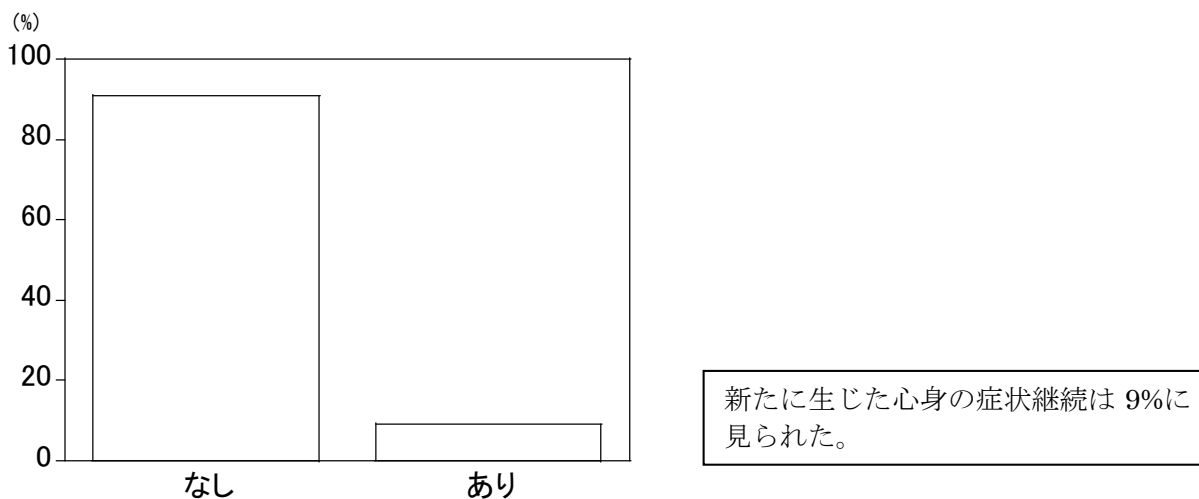


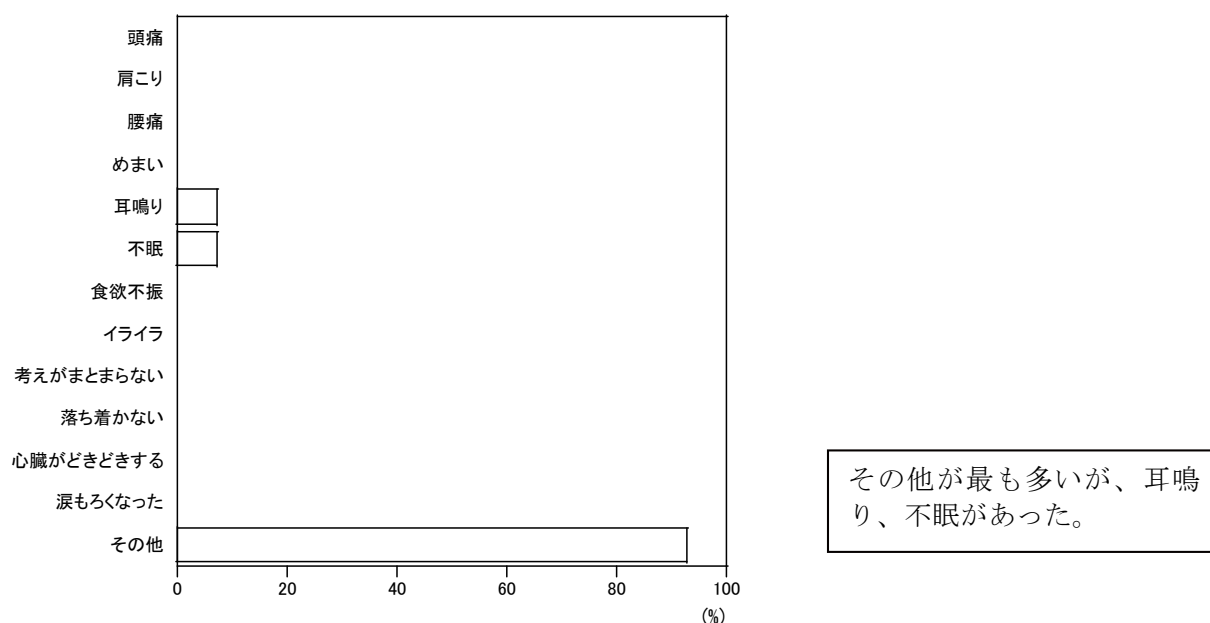
表 4-9 中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続しているかどうか

中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続しているかどうか	n	%
なし	142	91.0
あり	14	9.0
合計	156	100.0

欠損値 0

4-9-1 症状(心身の症状が継続している場合)

図 4-9-1 症状(複数回答)



その他が最も多いが、耳鳴り、不眠があった。

表 4-9-1 症状(複数回答)

症状	n	%
頭痛	0	0.0
肩こり	0	0.0
腰痛	0	0.0
めまい	0	0.0
耳鳴り	1	7.1
不眠	1	7.1
食欲不振	0	0.0
イライラ	0	0.0
考えがまとまらない	0	0.0
落ち着かない	0	0.0
心臓がドキドキする	0	0.0
涙もろくなった	0	0.0
その他	13	92.9
振動や大きな音にドキッとする	5	35.7
また地震が来るような不安感	3	21.4
テレビの地震速報を見るとドキッと不安になる	7	50.0
忘れっぽくなった	2	14.3
道路のガタガタ音にフラッシュバックする	2	14.3
自宅の再建等で借金し精神的負担が持続している	2	14.3
心身の負担で病気を発症した	5	35.7
その他	3	21.4
○月初めの緊急ラジオにびくっとする		
○トイレやふろ場の戸が閉められなくなった		
○建具の仕事が集中し、休む間もなく2年間働いた。 木材の粉じんを多量に吸い肺に障ったと思う。		

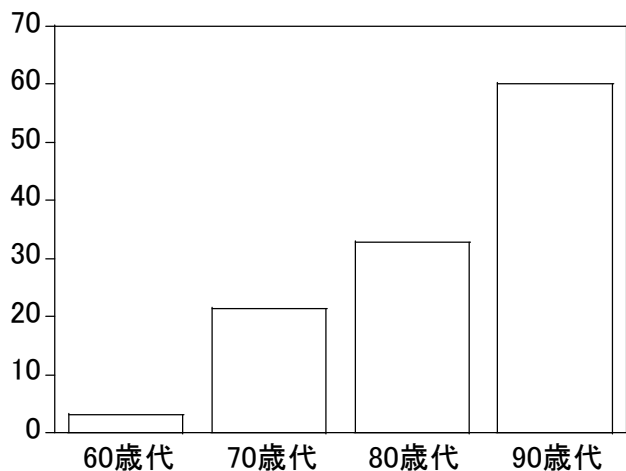
5 クロス集計：各要因と認知症傾向(HDS-R≤25点)との関連を見る

5-1 基本属性等

5-1-1 年齢

図 5-1-1 年齢と認知症傾向(HDS-R≤25点)

認知症傾向  
有所見率(%)



高齢になるほど有所見者が多い(統計的に有意)。

表 5-1-1 年齢と認知症傾向(HDS-R≤25点)

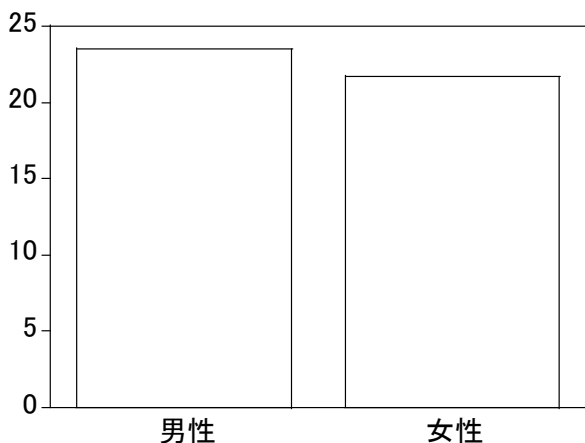
	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
HDS-R≥26	32	48	35	2
HDS-R≤25	1	13	17	3
有所見率(%)	3.0	21.3	32.7	60.0

P= 0.0004

5-1-2 性別

図 5-1-2 性別と認知症傾向(HDS-R≤25点)

認知症傾向  
有所見率(%)



統計的に有意な性差はない。

表 5-1-2 性別と認知症傾向(HDS-R≤25点)

	男性	女性
HDS-R≥26	52	65
HDS-R≤25	16	18

有所見率(%)

23.5

21.7

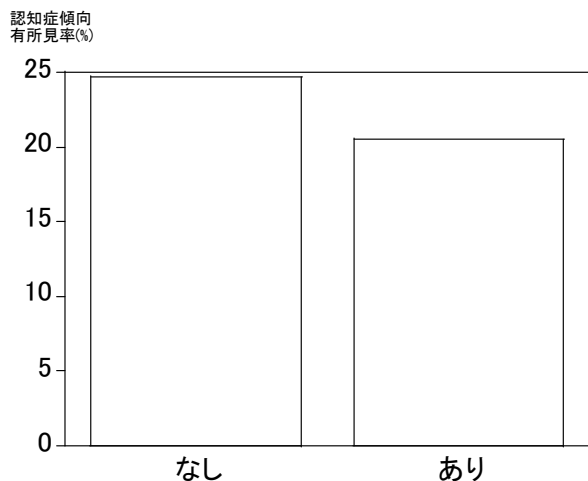
年齢調整 P= 0.8879

P= 0.7874

5-2 健康状況

5-2-1 高血圧

図 5-2-1 高血圧と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)



高血圧を持たない人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

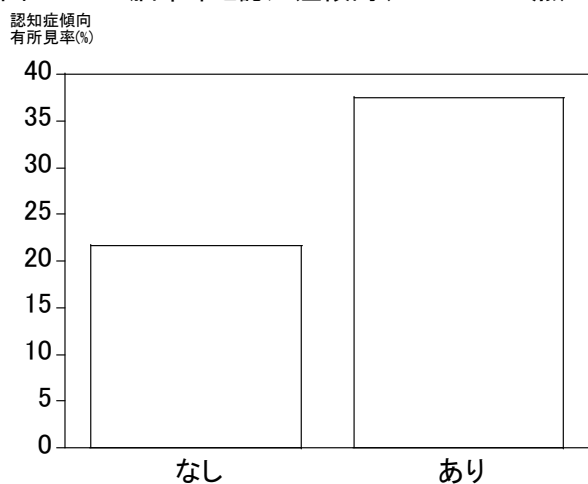
表 5-2-1 高血圧と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	55	62
HDS-R $\leq$ 25	18	16

有所見率(%)            24.7            20.5  
 年齢調整 P=    0.2443            P=    0.5428

5-2-2 脳卒中

図 5-2-2 脳卒中と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)



脳卒中の病歴を持つ人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

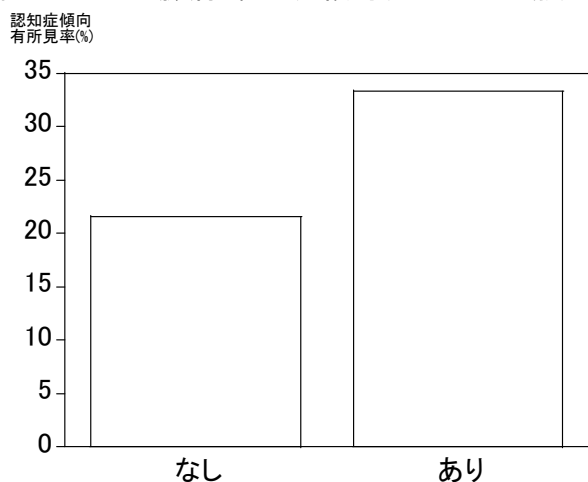
表 5-2-2 脳卒中と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	112	5
HDS-R $\leq$ 25	31	3

有所見率(%)            21.7            37.5  
 年齢調整 P=    0.2808            P=    0.3074

5-2-3 心臓病

図 5-2-3 心臓病と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



心臓病の病歴を持つ人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

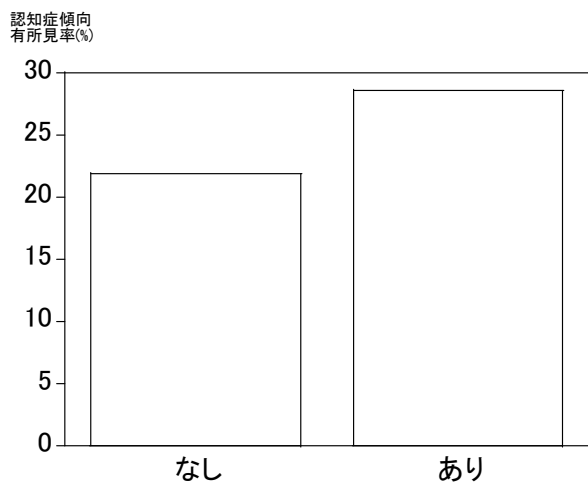
表 5-2-3 心臓病と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	なし	あり
HDS-R≥26	109	8
HDS-R≤25	30	4

有所見率(%)      21.6                      33.3  
 年齢調整 P= 0.5428                      P= 0.3555

5-2-4 糖尿病

図 5-2-4 糖尿病と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



糖尿病の病歴を持つ人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

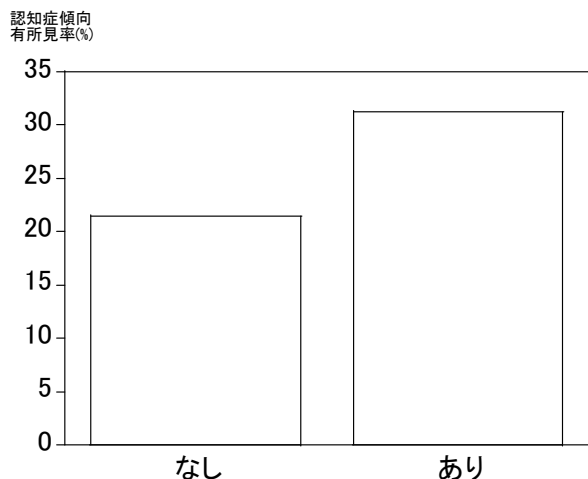
表 5-2-4 糖尿病と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	なし	あり
HDS-R≥26	107	10
HDS-R≤25	30	4

有所見率(%)      21.9                      28.6  
 年齢調整 P= 0.6613                      P= 0.5705

5-2-5 高脂血症

図 5-2-5 高脂血症と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



高脂血症を持つ人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

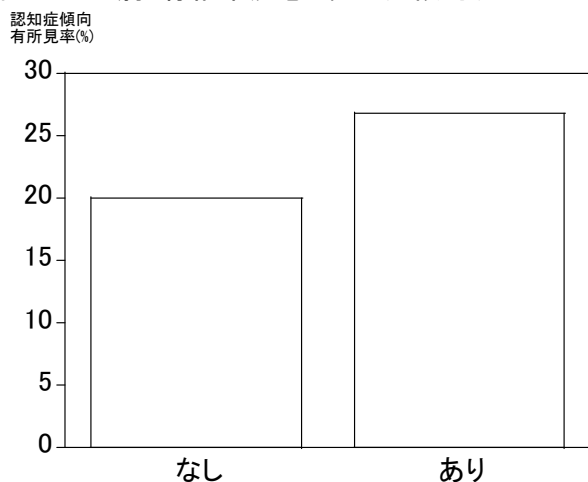
表 5-2-5 高脂血症と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	106	11
HDS-R $\leq$ 25	29	5

有所見率(%)            21.5            31.3  
年齢調整 P= 0.1957            P= 0.3803

5-2-6 筋・骨格系疾患

図 5-2-6 筋・骨格系疾患と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



筋・骨格系疾患の病歴を持つ人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

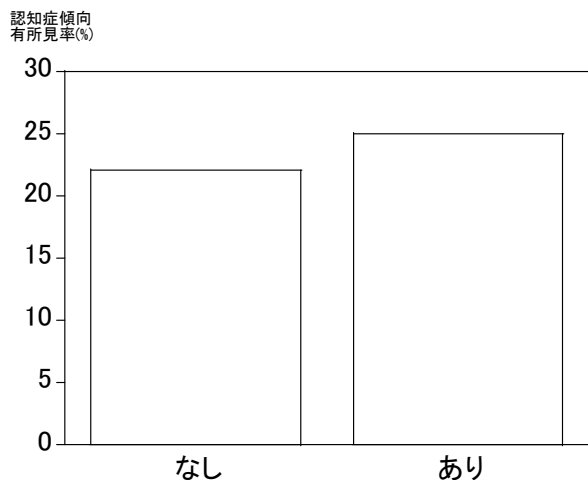
表 5-2-6 筋・骨格系疾患と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	76	41
HDS-R $\leq$ 25	19	15

有所見率(%)            20.0            26.8  
年齢調整 P= 0.3123            P= 0.3363

5-2-7 精神・行動障害

図 5-2-7 精神・行動障害と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



精神・行動障害の病歴を持つ人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

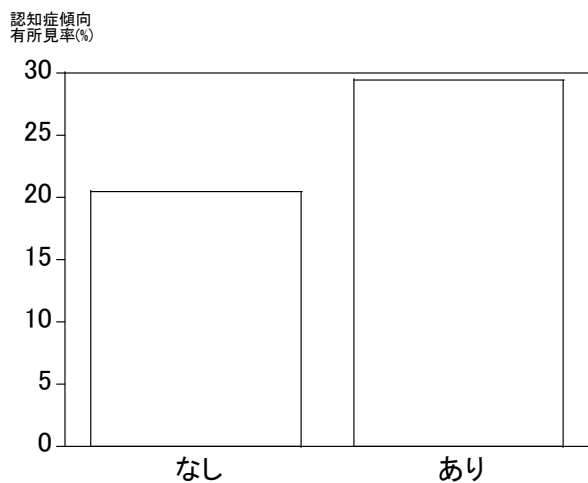
表 5-2-7 精神・行動障害と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	102	15
HDS-R $\leq$ 25	29	5

有所見率(%)      22.1      25.0  
 年齢調整 P= 0.7065      P= 0.7754

5-2-8 目の病気

図 5-2-8 目の病気と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



目の病気の病歴を持つ人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-2-8 目の病気と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

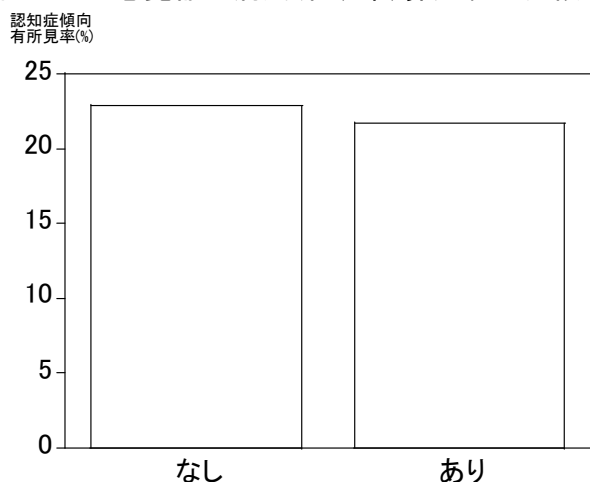
	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	93	24
HDS-R $\leq$ 25	24	10

有所見率(%)      20.5      29.4  
 年齢調整 P= 0.8426      P= 0.2766



5-2-9 感覚器の病気

図 5-2-9 感覚器の病気(目、耳、鼻)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



感覚器の病気の病歴を持たない人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

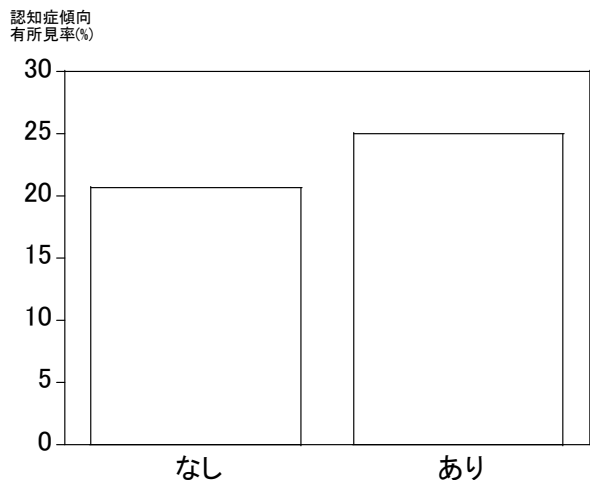
表 5-2-9 感覚器の病気(目、耳、鼻)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	81	36
HDS-R $\leq$ 25	24	10

有所見率(%)      22.9      21.7  
 年齢調整 P= 0.2011      P= 0.8797

5-2-10 家族歴

図 5-2-10 家族歴(脳卒中、パーキンソン病、認知症)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



家族歴(脳卒中、パーキンソン病、認知症)と認知症傾向に関連は見られない。

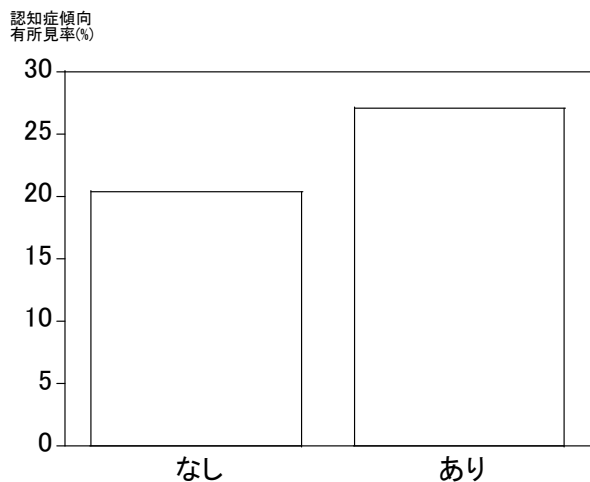
表 5-2-10 家族歴(脳卒中、パーキンソン病、認知症)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	69	48
HDS-R $\leq$ 25	18	16

有所見率(%)      20.7      25.0  
 年齢調整 P= 0.5388      P= 0.5314

5-2-11 脳卒中の家族歴

図 5-2-11 脳卒中の家族歴と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



脳卒中の家族歴を持つ人に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

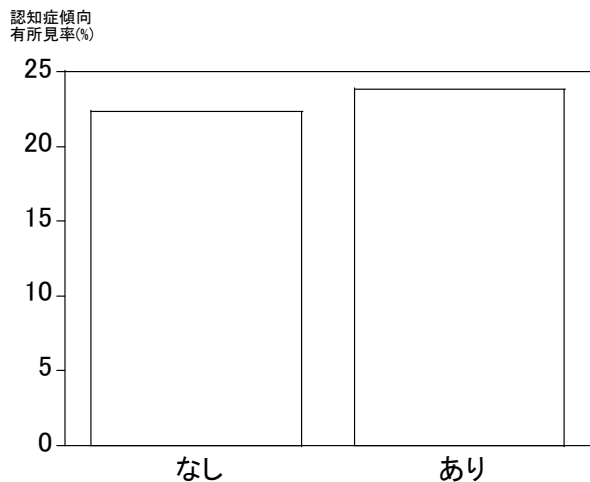
表 5-2-11 脳卒中の家族歴と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	82	35
HDS-R $\leq$ 25	21	13

有所見率(%)      20.4                      27.1  
 年齢調整 P= 0.3803                      P= 0.3604

5-2-12 認知症の家族歴

図 5-2-12 認知症の家族歴と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



認知症の家族歴と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-2-12 認知症の家族歴と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

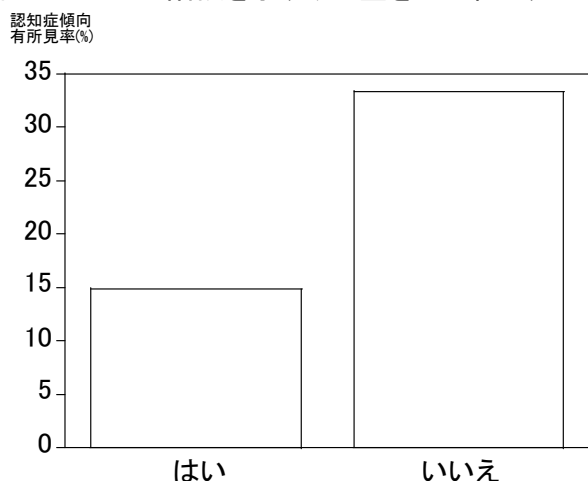
	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	101	16
HDS-R $\leq$ 25	29	5

有所見率(%)      22.3                      23.8  
 年齢調整 P= 0.6516                      P= 0.8785

5-2-13 運動機能

5-2-13-1 階段を手すりや壁をつたわずに上る

図 5-2-13-1「階段を手すりや壁をつたわずに上る」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



「階段を手すりや壁をつたわずに上る」ことができない群に認知症傾向が多く見られるが、年齢調整を行うと統計的に有意な差はない。

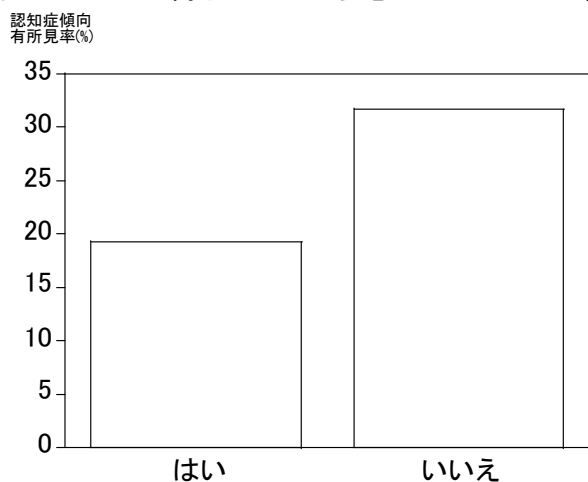
表 5-2-13-1「階段を手すりや壁をつたわずに上る」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	はい	いいえ
HDS-R $\geq$ 26	74	42
HDS-R $\leq$ 25	13	21

有所見率(%)      14.9      33.3  
 年齢調整 P= 0.2349      P= 0.0093

5-2-13-2 椅子に座った状態から立ち上がる

図 5-2-13-2「椅子に座った状態から立ち上がる」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



「椅子に座った状態から立ち上がる」ことができない群に認知症傾向が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

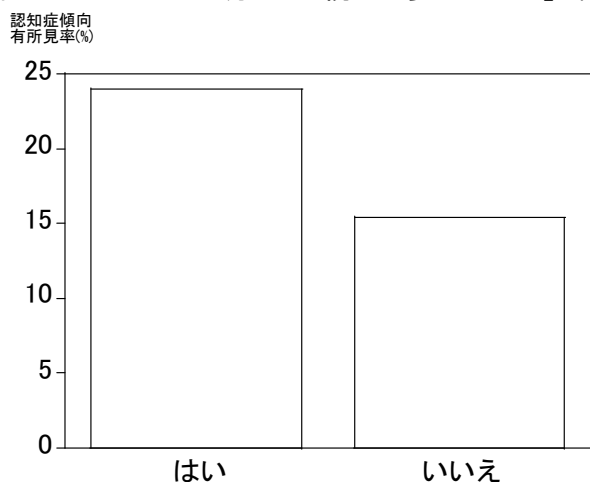
表 5-2-13-2「椅子に座った状態から立ち上がる」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	はい	いいえ
HDS-R $\geq$ 26	88	28
HDS-R $\leq$ 25	21	13

有所見率(%)      19.3      31.7  
 年齢調整 P= 0.9464      P= 0.1081

5-2-13-3 15分くらい続けて歩いている

図 5-2-13-3 「15分くらい続けて歩いている」と認知症傾向(HDS-R≤25点)



15分くらい続けて歩いている群に有所見者が多い傾向にある。

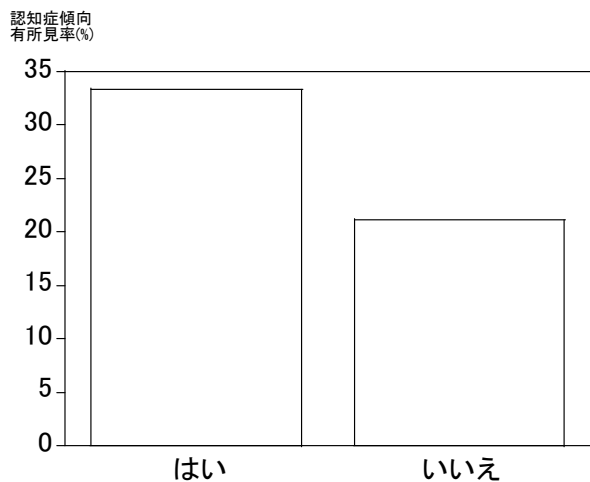
表 5-2-13-3 「15分くらい続けて歩いている」と認知症傾向(HDS-R≤25点)

	はい	いいえ
HDS-R≥26	95	22
HDS-R≤25	30	4

有所見率(%)            24.0            15.4  
 年齢調整 P= 0.05                      P= 0.3433

5-2-13-4 この1年間に転んだことがある

図 5-2-13-4 「この1年間に転んだことがある」と認知症傾向(HDS-R≤25点)



転倒した群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-2-13-4「この1年間に転んだことがある」と認知症傾向(HDS-R≤25点)

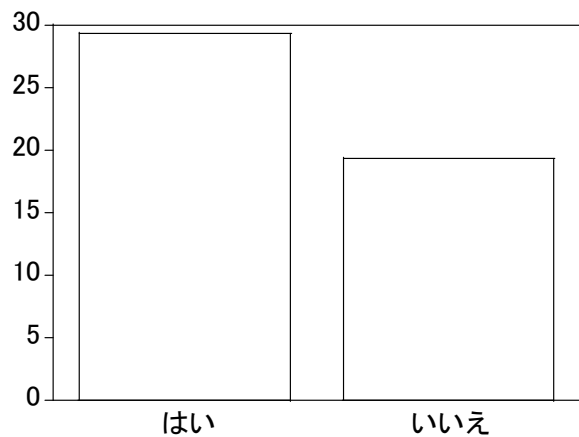
	はい	いいえ
HDS-R≥26	12	105
HDS-R≤25	6	28

有所見率(%)            33.3            21.1  
 年齢調整 P= 0.635                      P= 0.2473

5-2-13-5「転倒に対する不安が大きい」

図 5-2-13-5「転倒に対する不安が大きい」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



「転倒に対する不安が大きい」群に有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-2-13-5「転倒に対する不安が大きい」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	はい	いいえ
HDS-R $\geq$ 26	29	88
HDS-R $\leq$ 25	12	21

有所見率(%)            29.3            19.3

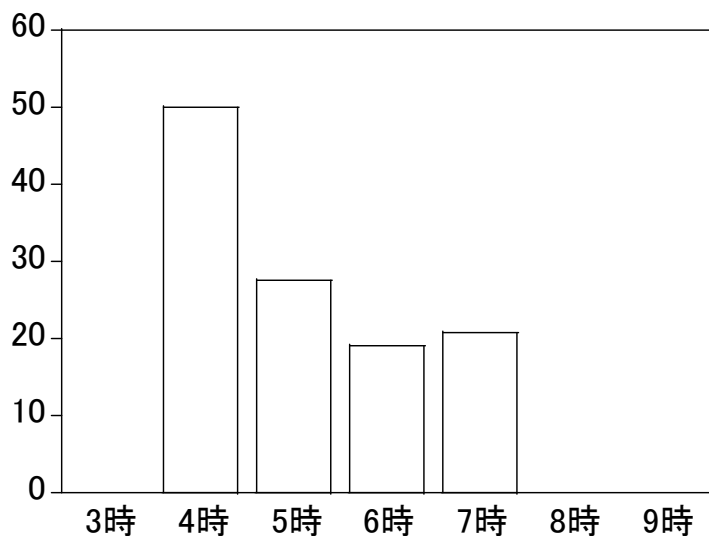
年齢調整 P= 0.9605            P= 0.1905

5-3 生活状況

5-3-1 起床時間

図 5-3-1 起床時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



起床の早い人に有所見率が高い傾向にあるが、年齢調整を行うと有意な差はない。

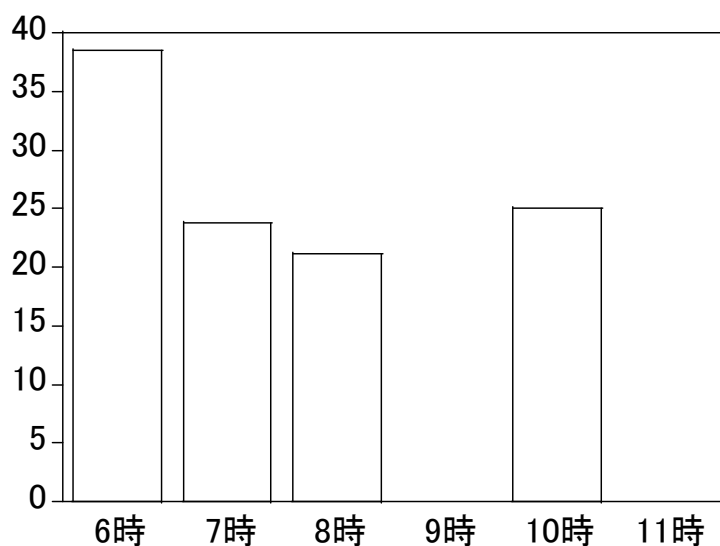
表 5-3-1 起床時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時
HDS-R $\geq$ 26	1	2	42	47	19	3	3
HDS-R $\leq$ 25	0	2	16	11	5	0	0
有所見率(%)	0.0	50.0	27.6	19.0	20.8	0.0	0.0
年齢調整 P=	0.1115	P= 0.0987					

5-3-2 朝食時間

図 5-3-2 朝食時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



早く朝食をとる人に有所見者が多い (統計的に有意)。

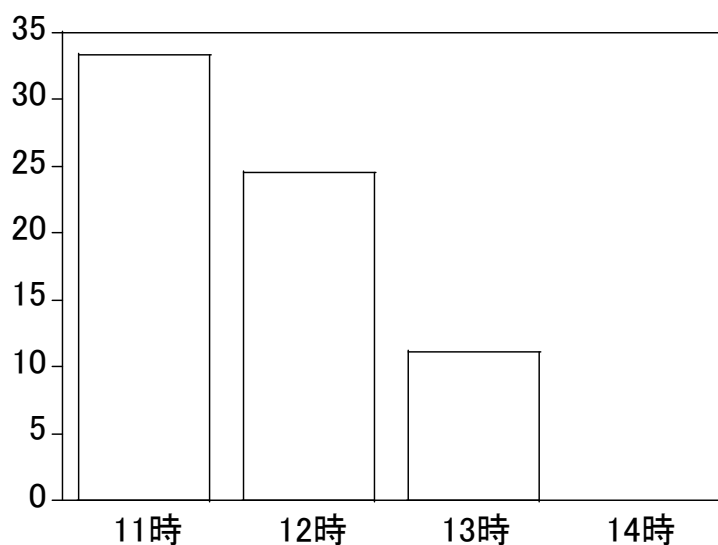
表 5-3-2 朝食時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

	6時	7時	8時	9時	10時	11時
HDS-R $\geq$ 26	8	64	30	8	3	1
HDS-R $\leq$ 25	5	20	8	0	1	0
有所見率(%)	38.5	23.8	21.1	0.0	25.0	0.0
年齢調整 P=	0.0439	P= 0.1169				

5-3-3 昼食時間

図 5-3-3 昼食時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



早く昼食をとる人に有所見者が多い傾向にある。

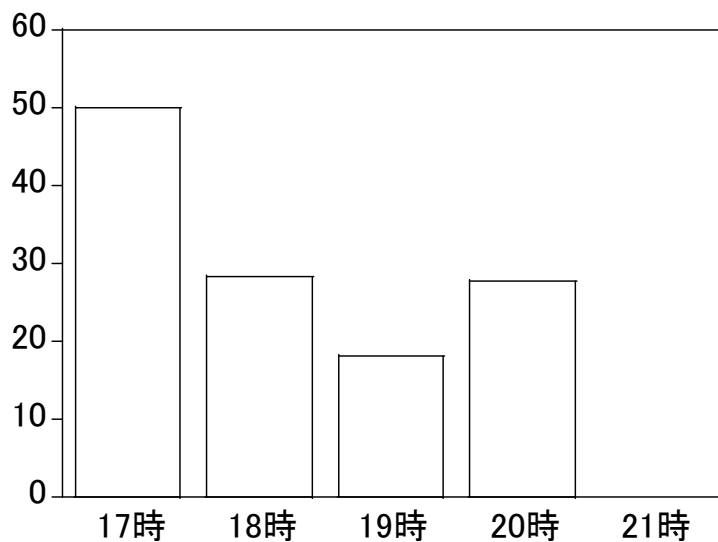
表 5-3-3 昼食時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

	11 時	12 時	13 時	14 時
HDS-R $\geq$ 26	2	92	16	3
HDS-R $\leq$ 25	1	30	2	0
有所見率(%)	33.3	24.6	11.1	0.0
年齢調整 P=	0.0891	P= 0.1112		

5-3-4 夕食時間

図 5-3-4 夕食時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



早く夕食をとる人に有所見者が多く見えるが、統計的に有意な差はない。

表 5-3-4 夕食時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

	17 時	18 時	19 時	20 時	21 時
HDS-R $\geq$ 26	1	33	68	13	1
HDS-R $\leq$ 25	1	13	15	5	0
有所見率(%)	50.0	28.3	18.1	27.8	0.0
年齢調整 P=	0.3775	P= 0.3623			

5-3-5 就寝時間

図 5-3-5 就寝時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)

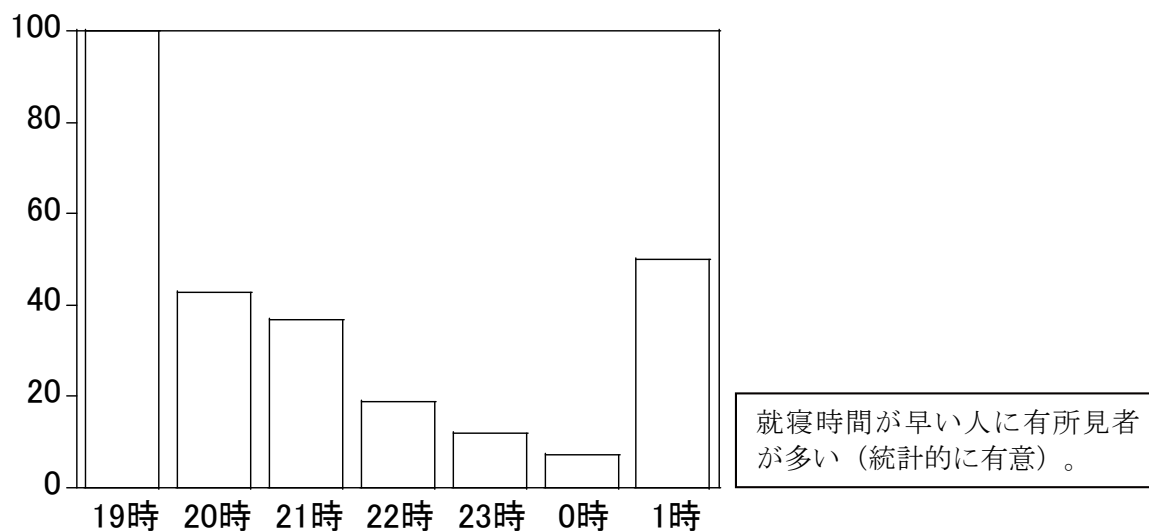


表 5-3-5 就寝時間と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

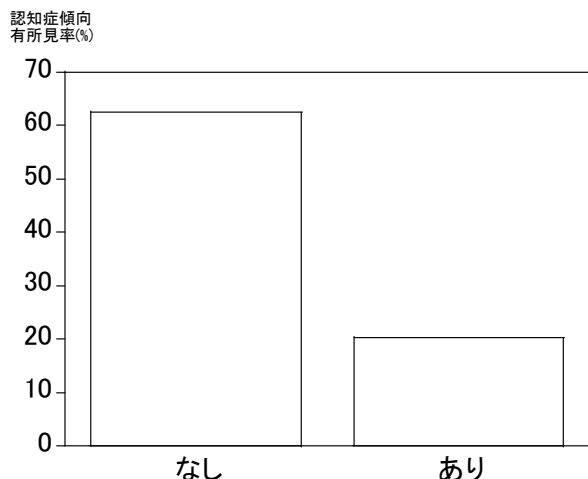
	19時	20時	21時	22時	23時	0時	1時
HDS-R $\geq$ 26	0	4	19	43	37	13	1
HDS-R $\leq$ 25	3	3	11	10	5	1	1
有所見率(%)	100.0	42.9	36.7	18.9	11.9	7.1	50.0
年齢調整 P=	0.0165	P= 0.0006					



5-3-6 余暇(報酬を得て行う仕事以外の時間のこと)における活動について

5-3-6-1 (家庭や地域社会における)役割

図 5-3-6-1 役割と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



役割がないと有所見率が高いようであるが、年齢調整を行うと統計的に有意な差はない。

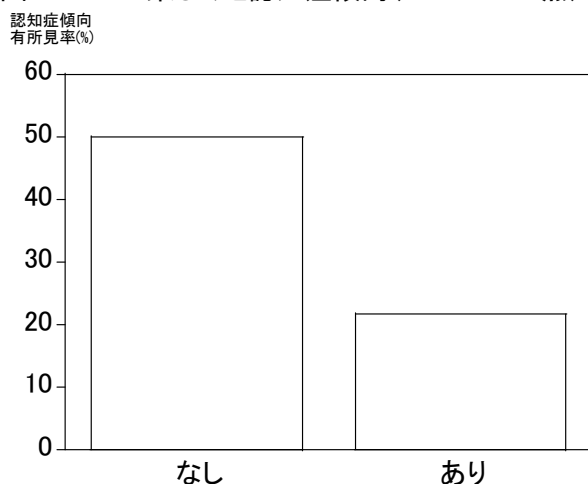
表 5-3-6-1 役割と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	3	114
HDS-R $\leq$ 25	5	29

有所見率(%)            62.5            20.3  
 年齢調整 P= 0.1047            P= 0.0133

5-3-6-2 楽しみ

図 5-3-6-2 楽しみと認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



楽しみがないと有所見率が高いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-3-6-2 楽しみと認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

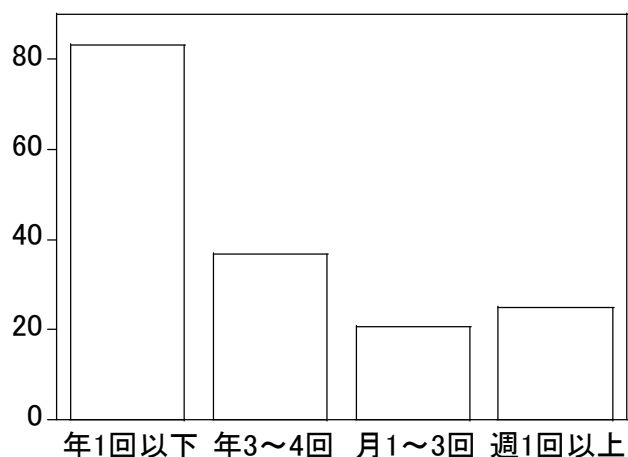
	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	2	115
HDS-R $\leq$ 25	2	32

有所見率(%)            50.0            21.8  
 年齢調整 P= 0.303            P= 0.2097

5-3-6-2-1 対人交流の頻度(楽しみありの場合)

図 5-3-6-2-1 対人交流の頻度と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



対人交流の頻度が少ない群ほど有所見者が多いようであるが統計的に有意な差はない。

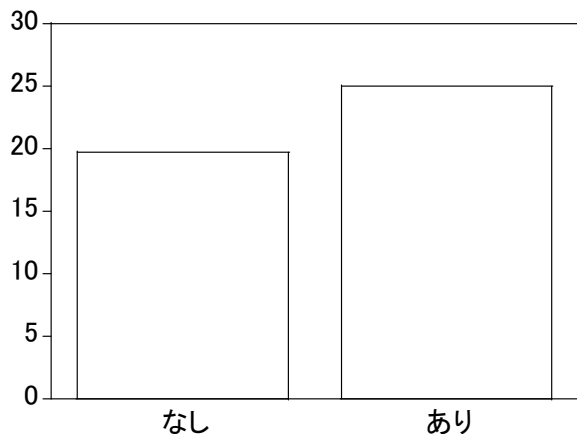
表 5-3-6-2-1 対人交流の頻度と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	年1回以下	年3~4回	月1~3回	週1回以上
HDS-R $\geq$ 26	3	3	24	83
HDS-R $\leq$ 25	20	5	5	2
有所見率(%)	83.3	36.8	20.7	24.8
年齢調整 P=	0.1306	P=	0.0582	

5-3-6-2-2 野菜や花作り(趣味)

図 5-3-6-2-2 野菜や花作り(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



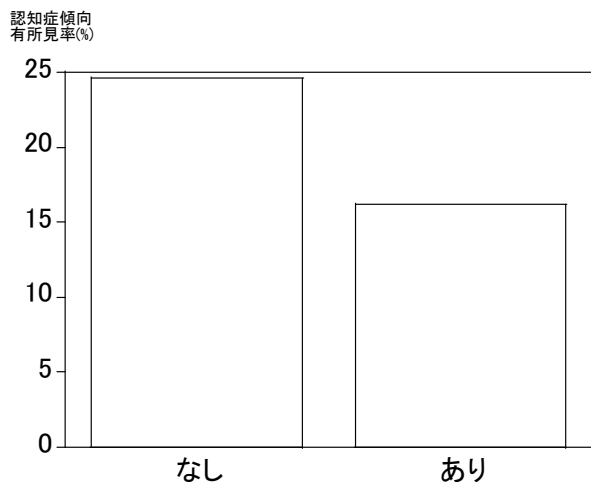
野菜や花作りの趣味がある群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-3-6-2-2 野菜や花作り(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり	
HDS-R $\geq$ 26	57	60	
HDS-R $\leq$ 25	14	20	
有所見率(%)	19.7	25.0	
年齢調整 P=	0.2774	P=	0.4389

5-3-6-2-3 創作活動(手芸、絵、日曜大工等) (趣味)

図 5-3-6-2-3 創作活動(手芸、絵、日曜大工等) (趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



創作活動の趣味がない群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

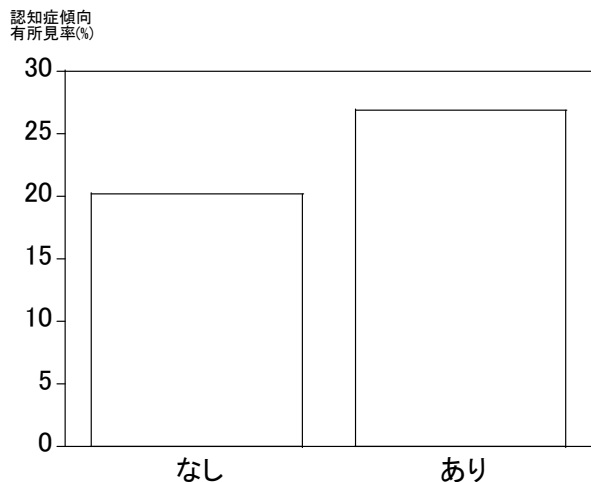
表 5-3-6-2-3 創作活動(手芸、絵、日曜大工等) (趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	86	31
HDS-R $\leq$ 25	28	6

有所見率(%)            24.6            16.2  
年齢調整 P= 0.322            P= 0.2946

5-3-6-2-4 テレビ(趣味)

図 5-3-6-2-4 テレビ(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



テレビを見る趣味のある群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

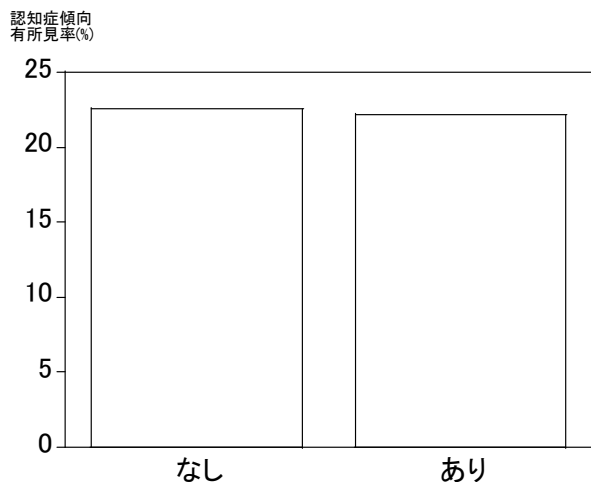
表 5-3-6-2-4 テレビ(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	79	38
HDS-R $\leq$ 25	20	14

有所見率(%)            20.2            26.9  
年齢調整 P= 0.4237            P= 0.3488

5-3-6-2-5 読書(趣味)

図 5-3-6-2-5 読書(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



読書の趣味の有無と認知症傾向に関連は見られない。

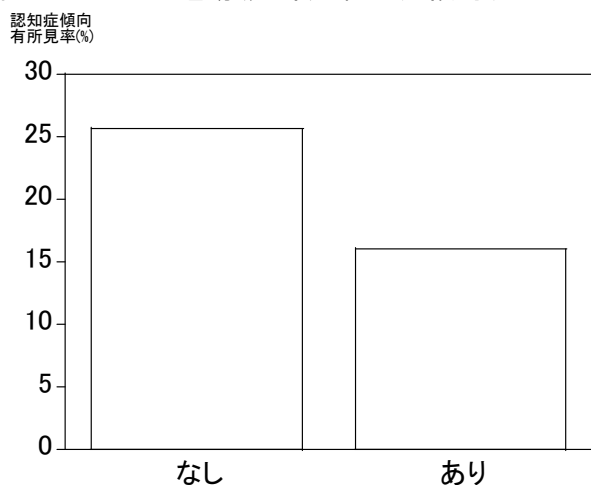
表 5-3-6-2-5 読書(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	96	21
HDS-R $\leq$ 25	28	6

有所見率(%) 22.6 22.2  
年齢調整 P= 0.9074 P= 0.9679

5-3-6-2-6 運動(趣味)

図 5-3-6-2-6 運動(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



運動の趣味のない群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

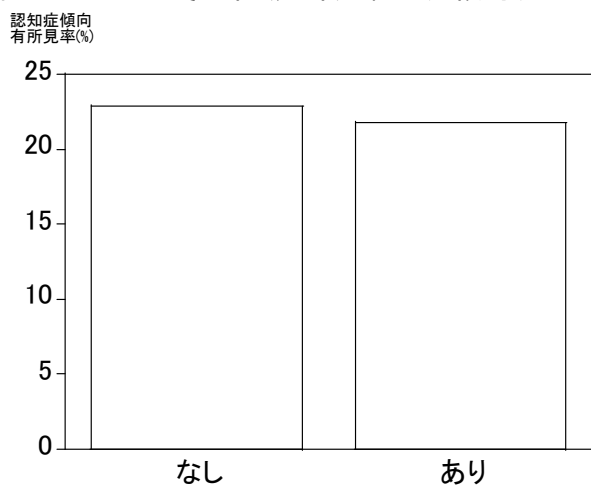
表 5-3-6-2-6 運動(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	75	42
HDS-R $\leq$ 25	26	8

有所見率(%) 25.7 16.0  
年齢調整 P= 0.5865 P= 0.1812

5-3-6-2-7 その他(趣味)

図 5-3-6-2-7 その他(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



その他の趣味の有無と認知症傾向に  
関連は見られない。

表 5-3-6-2-7 その他(趣味)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	74	43
HDS-R $\leq$ 25	22	12

有所見率(%)            22.9            21.8

年齢調整 P= 0.7959            P= 0.8764

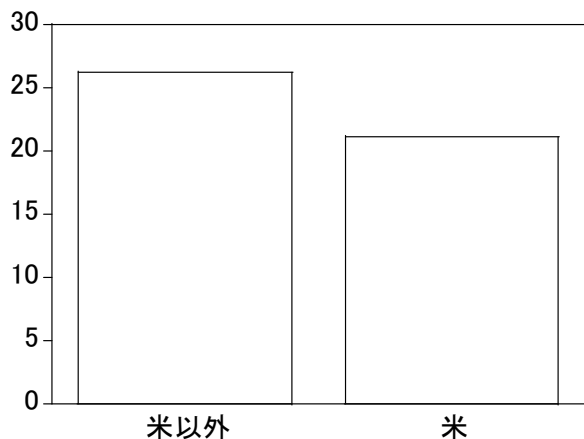
5-3-7 食生活

5-3-7-1 主食

5-3-7-1-1 朝食の主食

図 5-3-7-1-1 朝食の主食と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



朝食の主食と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-7-1-1 朝食の主食と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	米以外	米
HDS-R $\geq$ 26	31	86
HDS-R $\leq$ 25	11	23

有所見率(%)

26.2

21.1

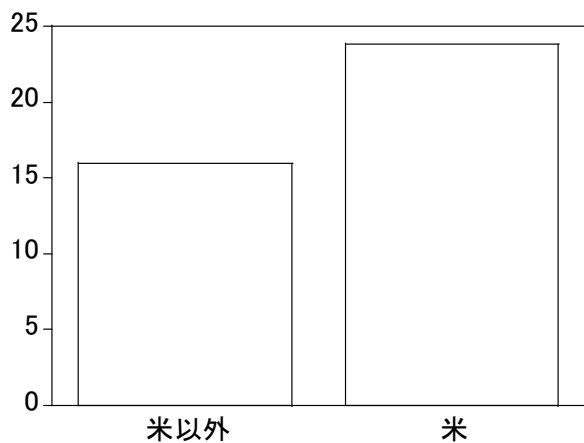
年齢調整 P= 0.2963

P= 0.503

5-3-7-1-2 昼食の主食

図 5-3-7-1-2 昼食の主食と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



昼食の主食と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-7-1-2 昼食の主食と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	米以外	米
HDS-R $\geq$ 26	21	96
HDS-R $\leq$ 25	4	30

有所見率(%)

16.0

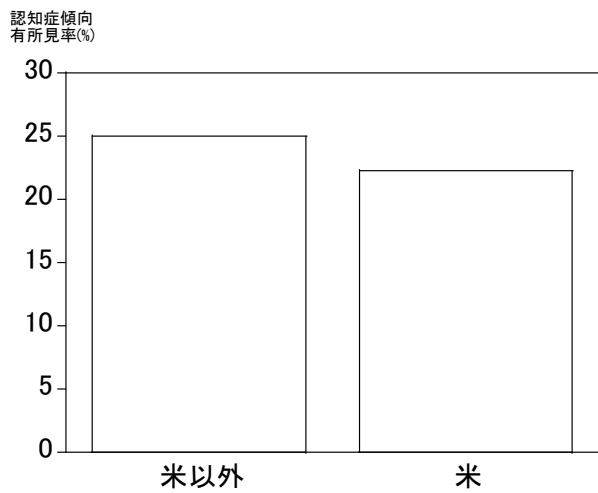
23.8

年齢調整 P= 0.437

P= 0.3968

5-3-7-1-3 夕食の主食

図 5-3-7-1-3 夕食の主食と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



夕食の主食と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-7-1-3 夕食の主食と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	米以外	米
HDS-R $\geq$ 26	9	108
HDS-R $\leq$ 25	3	31

有所見率(%)            25.0            22.3

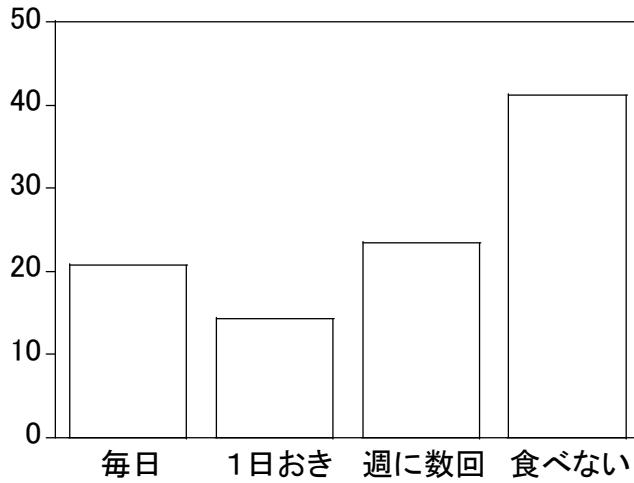
年齢調整 P= 0.5017            P= 0.8301

5-3-7-2 食品摂取傾向

5-3-7-2-1 肉

図 5-3-7-2-1 肉の摂取と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



肉をとらない人ほど有所見者が多い傾向にある。

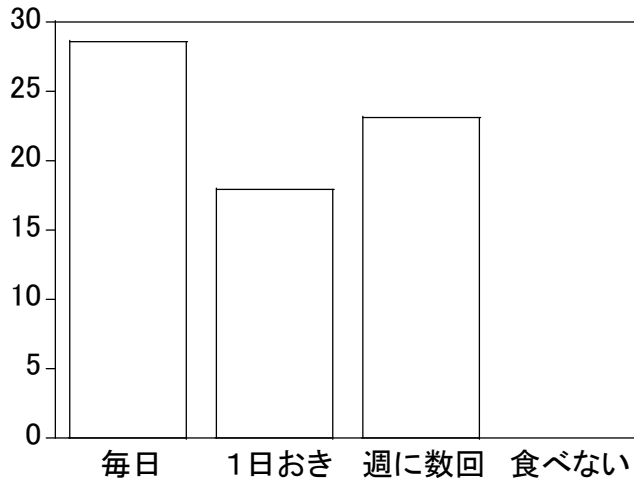
表 5-3-7-2-1 肉の摂取と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	毎日	1日おき	週に数回	食べない
HDS-R≥26	19	36	52	10
HDS-R≤25	5	6	16	7
有所見率(%)	20.8	14.3	23.5	41.2
年齢調整 P=	0.0916	P=	0.1069	

5-3-7-2-2 魚

図 5-3-7-2-2 魚の摂取と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



魚の摂取と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-7-2-2 魚の摂取と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

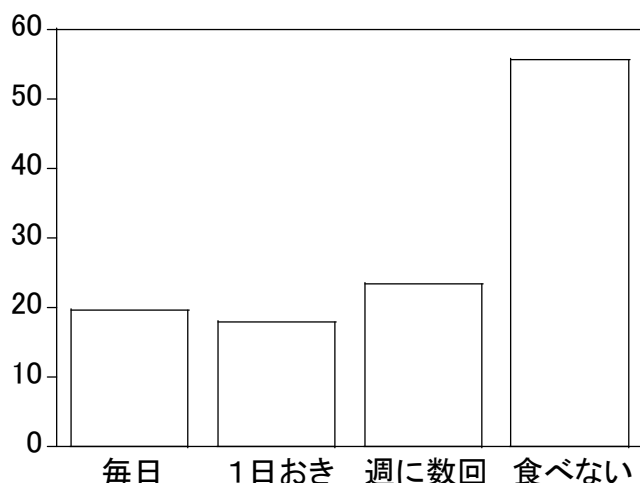
	毎日	1日おき	週に数回	食べない
HDS-R≥26	30	46	40	1
HDS-R≤25	12	10	12	0
有所見率(%)	28.6	17.9	23.1	0.0
年齢調整 P=	0.918	P=	0.512	



5-3-7-2-3 卵

図 5-3-7-2-3 卵の摂取と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



卵を食べない人ほど有所見者が多い傾向にある。

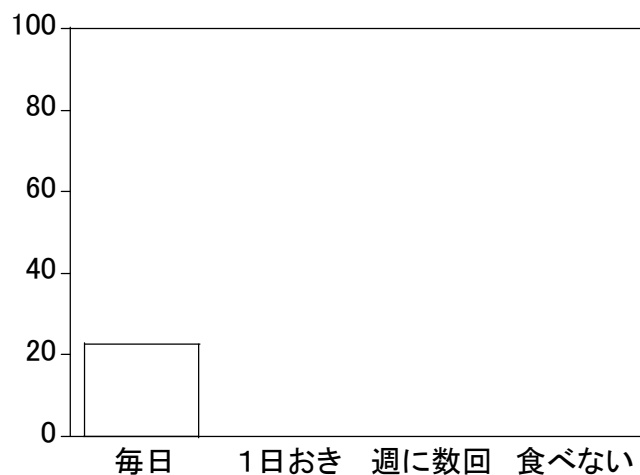
表 5-3-7-2-3 卵の摂取と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	毎日	1日おき	週に数回	食べない
HDS-R $\geq$ 26	45	32	36	4
HDS-R $\leq$ 25	11	7	11	5
有所見率(%)	19.6	17.9	23.4	55.6
年齢調整 P=	0.063	P=	0.1078	

5-3-7-2-4 野菜

図 5-3-7-2-4 野菜の摂取と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



野菜の摂取と認知症の傾向に関連は見られない。

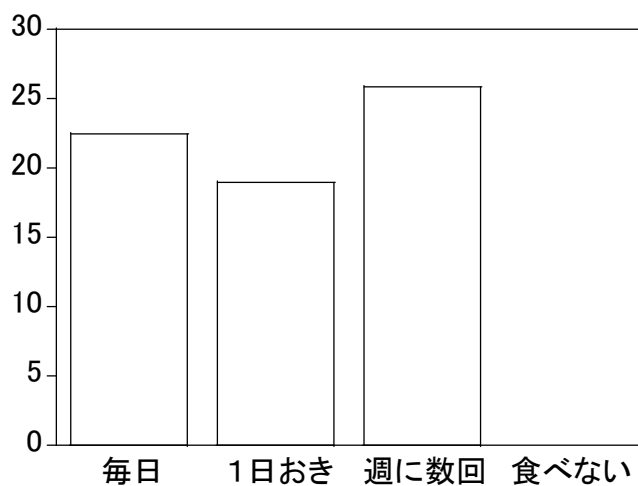
表 5-3-7-2-4 野菜の摂取と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	毎日	1日おき	週に数回	食べない
HDS-R $\geq$ 26	116	1	0	0
HDS-R $\leq$ 25	34	0	0	0
有所見率(%)	22.7	0.0	0.0	0.0
年齢調整 P=	0.9892	P=	0.9892	

5-3-7-2-5 大豆

図 5-3-7-2-5 大豆の摂取と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



大豆の摂取と認知症傾向に関連は見られない。

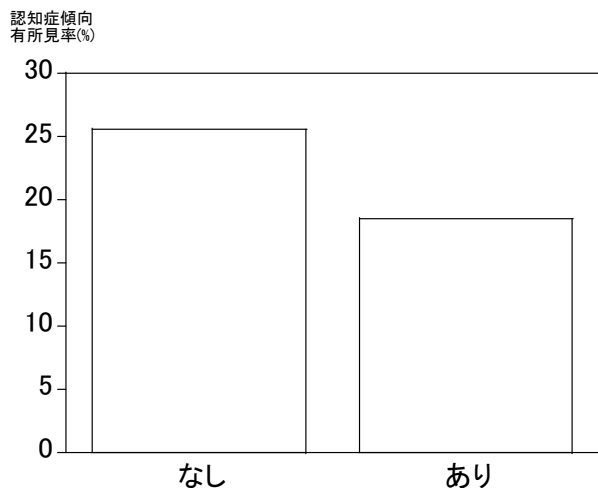
表 5-3-7-2-5 大豆の摂取と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	毎日	1日おき	週に数回	食べない
HDS-R $\geq$ 26	79	17	20	1
HDS-R $\leq$ 25	23	4	7	0
有所見率(%)	22.5	19.0	25.9	0.0
年齢調整 P=	0.5095	P=	0.9157	

5-3-8 嗜好品

5-3-8-1 飲酒歴

図 5-3-8-1 飲酒歴と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



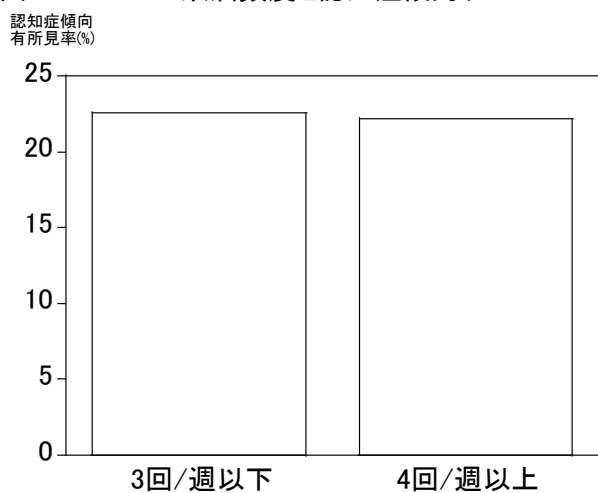
飲酒歴と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-8-1 飲酒歴と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	なし	あり
HDS-R≥26	64	53
HDS-R≤25	22	12
有所見率(%)	25.6	18.5
年齢調整 P=	0.799	P= 0.3015

5-3-8-1-1 飲酒頻度

図 5-3-8-1-1 飲酒頻度と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



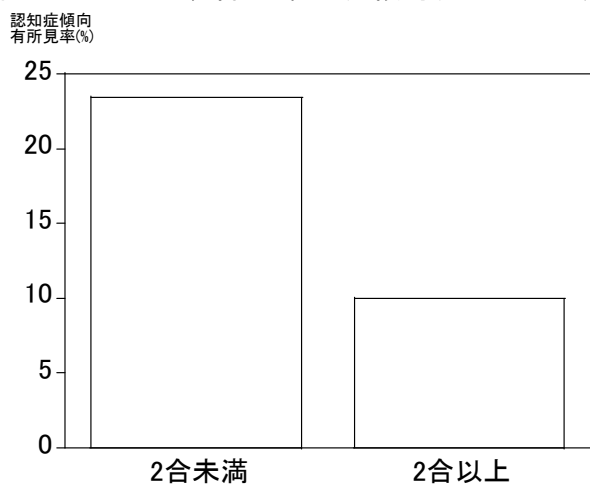
飲酒頻度と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-8-1-1 飲酒頻度と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	3回/週以下	4回/週以上
HDS-R≥26	82	35
HDS-R≤25	24	10
有所見率(%)	22.6	22.2
年齢調整 P=	0.4635	P= 0.9551

5-3-8-1-2 飲酒量

図 5-3-8-1-2 飲酒量と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



飲酒量の少ない群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

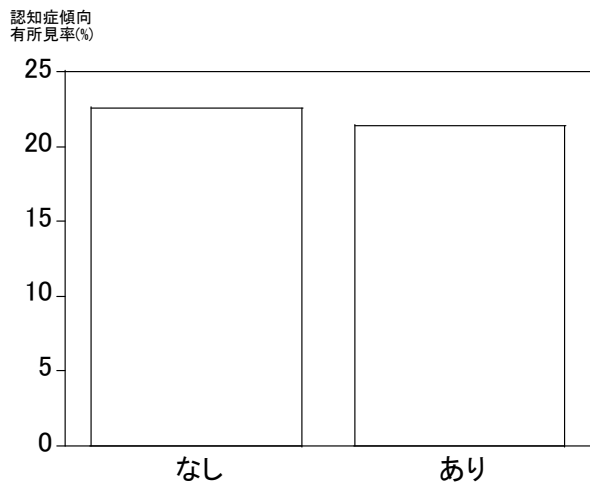
表 5-3-8-1-2 飲酒量と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	2合未満	2合以上
HDS-R $\geq$ 26	108	9
HDS-R $\leq$ 25	33	1

有所見率(%)            23.4            10.0  
 年齢調整 P=    0.4985            P=    0.3457

5-3-8-2 喫煙歴

図 5-3-8-2 喫煙歴と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



喫煙歴と認知症傾向に関連は見られない。

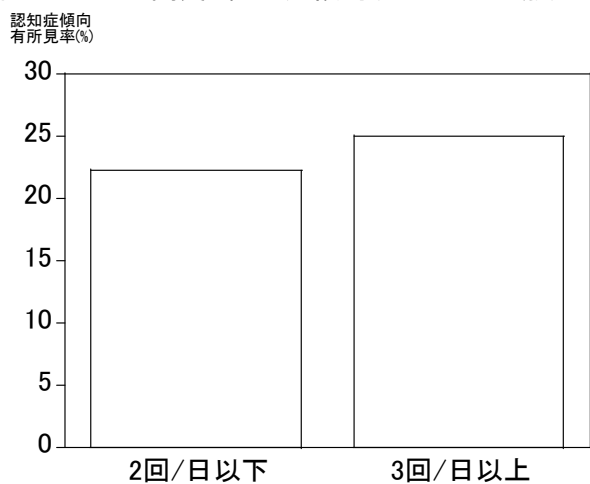
表 5-3-8-2 喫煙歴と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	106	11
HDS-R $\leq$ 25	31	3

有所見率(%)            22.6            21.4  
 年齢調整 P=    0.5476            P=    0.9185

5-3-8-3 間食

図 5-3-8-3 間食と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



間食と認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-8-3 間食と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	2回/日以下	3回/日以上
HDS-R $\geq$ 26	108	9
HDS-R $\leq$ 25	31	3

有所見率(%)                    22.3                    25.0

年齢調整 P= 0.9422

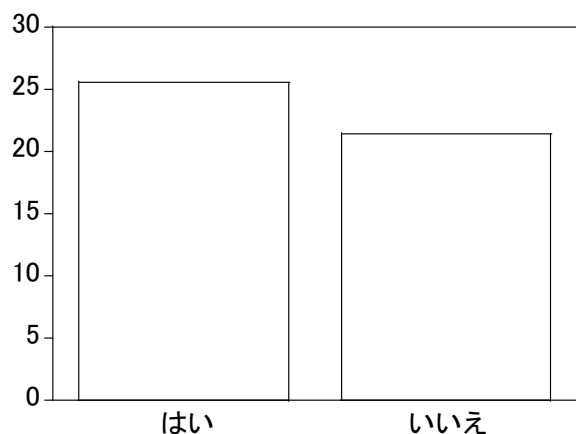
P= 0.8301

5-3-9 口腔機能

5-3-9-1 半年前に比べて固い物が食べにくい

図 5-3-9-1「半年前に比べて固い物が食べにくい」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



固いものの食べにくさと認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-9-1「半年前に比べて固い物が食べにくい」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

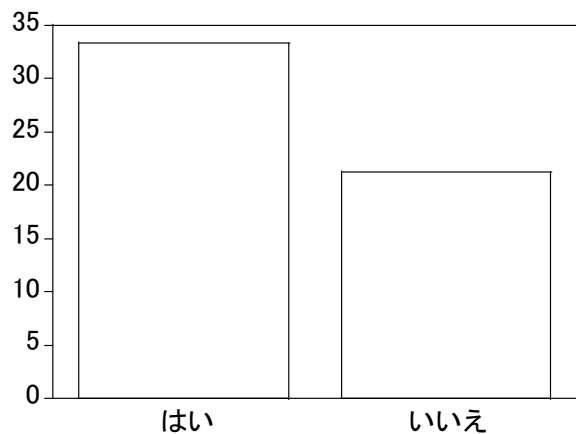
	はい	いいえ
HDS-R $\geq$ 26	29	88
HDS-R $\leq$ 25	10	24

有所見率(%)            25.6            21.4  
年齢調整 P=    0.8509            P=    0.588

5-3-9-2 お茶や汁物等でむせることがある

図 5-3-9-2「お茶や汁物等でむせることがある」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



むせることがある群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

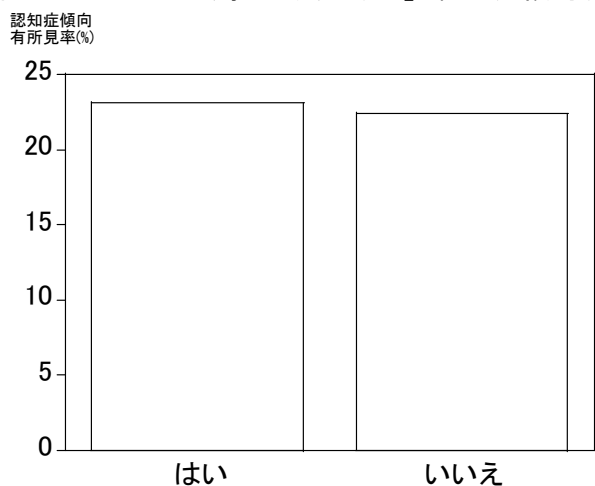
表 5-3-9-2「お茶や汁物等でむせることがある」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	はい	いいえ
HDS-R $\geq$ 26	10	107
HDS-R $\leq$ 25	5	29

有所見率(%)            33.3            21.3  
年齢調整 P=    0.3348            P=    0.2963

5-3-9-3 口の渇きが気になる

図 5-3-9-3「口の渇きが気になる」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



口の渇きと認知症傾向に関連は見られない。

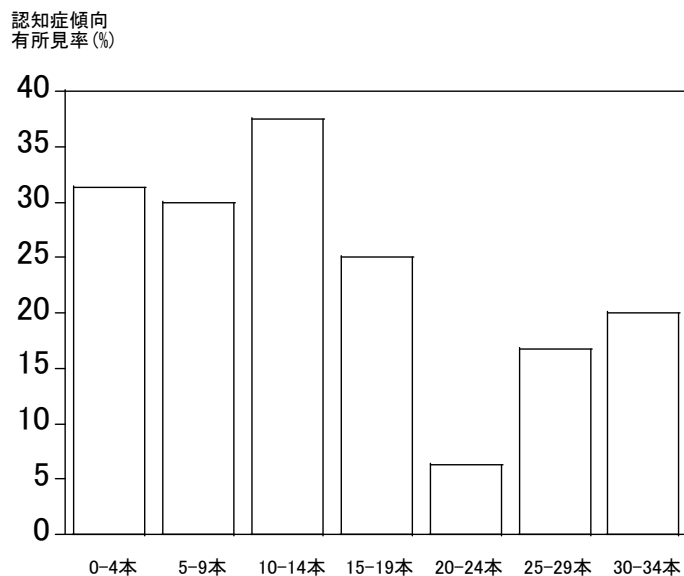
表 5-3-9-3「口の渇きが気になる」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	はい	いいえ
HDS-R $\geq$ 26	20	97
HDS-R $\leq$ 25	6	28

有所見率(%) 23.1 22.4  
 年齢調整 P= 0.7372 P= 0.9397

5-3-9-4 残存歯数

図 5-3-9-4 残存歯数と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



残存歯数と認知症傾向に関連はみられない。

表 5-3-9-4 残存歯数と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

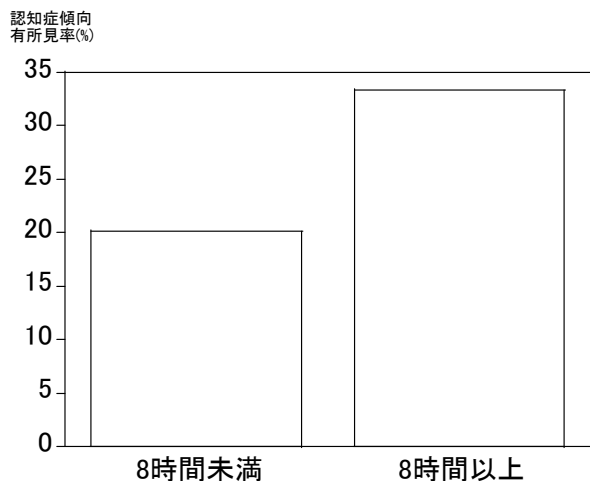
	0-4本	5-9本	10-14本	15-19本	20-24本	25-29本	30-34本
HDS-R $\geq$ 26	22	14	10	12	30	25	4
HDS-R $\leq$ 25	10	6	6	4	2	5	1

有所見率(%) 31.3 30.0 37.5 25.0 6.3 16.7 20.0  
 年齢調整 P= 0.6771 P= 0.0238

5-3-10 睡眠時間

5-3-10-1 睡眠時間

図 5-3-10-1 睡眠時間と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



睡眠時間の長い人に有所見率が高いようであるが、統計的に有意な差はない。

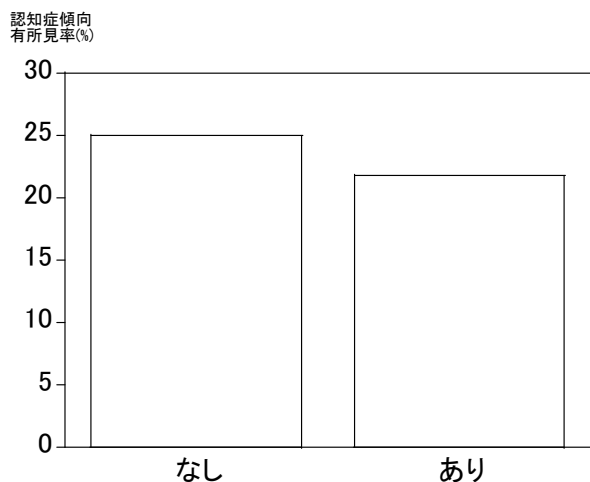
表 5-3-10-1 睡眠時間と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	8 時間未満	8 時間以上
HDS-R $\geq$ 26	99	18
HDS-R $\leq$ 25	25	9

有所見率(%) 20.2 33.3  
 年齢調整 P= 0.8016 P= 0.1423

5-3-10-2 夜間の目覚め

図 5-3-10-2 夜間の目覚めと認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



夜間の目覚めと認知症傾向に関連は見られない。

表 5-3-10-2 夜間の目覚めと認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	24	93
HDS-R $\leq$ 25	8	26

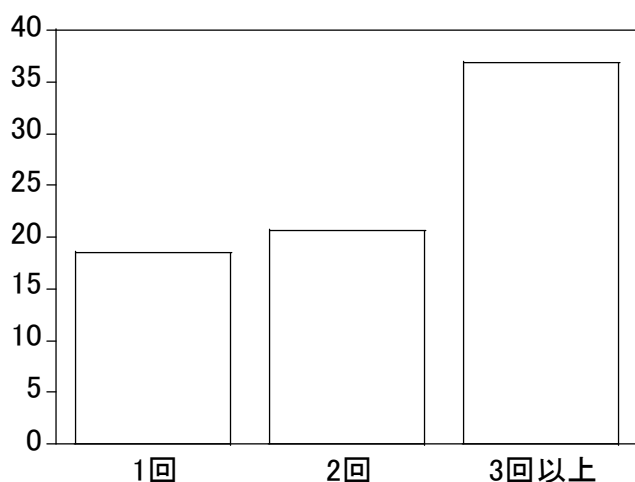
有所見率(%) 25.0 21.8  
 年齢調整 P= 0.2868 P= 0.705



5-3-10-3 夜間の目覚め回数(夜間に目覚めることありの場合)

図 5-3-10-3 夜間の目覚め回数と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



夜間の目覚め回数が多い群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

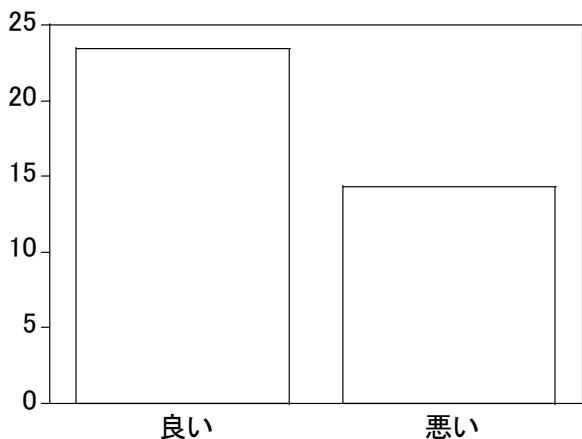
表 5-3-10-3 目覚める回数と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	1回	2回	3回以上
HDS-R $\geq$ 26	53	27	12
HDS-R $\leq$ 25	12	7	7
有所見率(%)	18.5	20.6	36.8
年齢調整 P=	0.1927	P=	0.1316

5-3-10-4 睡眠の満足度

図 5-3-10-4 睡眠の満足度と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



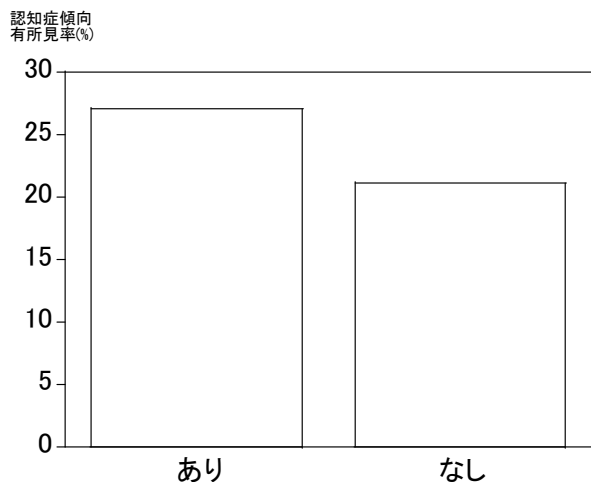
睡眠の満足度の良い群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-3-10-4 睡眠の満足度と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	良い	悪い	
HDS-R $\geq$ 26	105	12	
HDS-R $\leq$ 25	32	2	
有所見率(%)	23.4	14.3	
年齢調整 P=	0.3963	P=	0.4449

5-3-10-5 眠剤の服用

図 5-3-10-5 眠剤の服用と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



眠剤の服用ありの群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

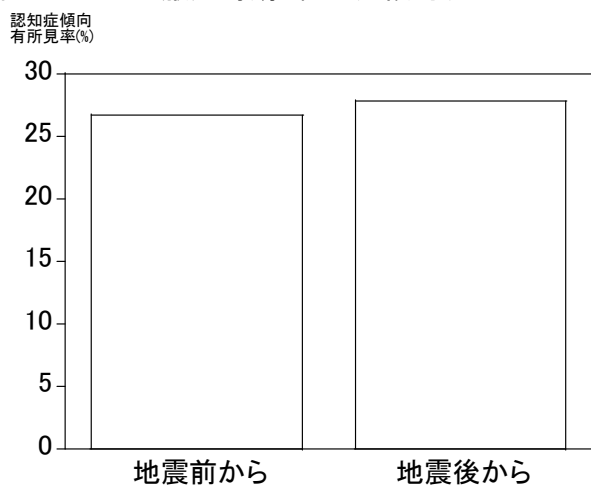
表 5-3-10-5 眠剤の服用と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	あり	なし
HDS-R $\geq$ 26	27	90
HDS-R $\leq$ 25	10	24

有所見率(%) 27.0 21.1  
 年齢調整 P= 0.559 P= 0.4508

5-3-10-6 服用時期(眠剤服用ありの場合)

図 5-3-10-6 服用時期と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



眠剤の服用時期(地震前後)と認知症傾向に関連は見られない。

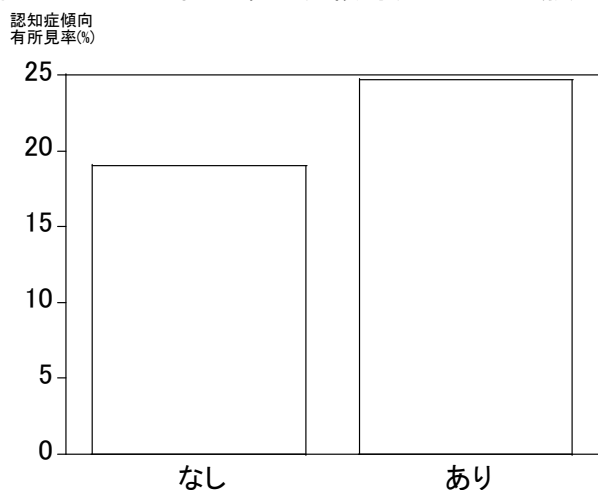
表 5-3-10-6 服用時期と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	地震前から	地震後から
HDS-R $\geq$ 26	11	13
HDS-R $\leq$ 25	4	5

有所見率(%) 26.7 27.8  
 年齢調整 P= 0.4408 P= 0.9431

5-3-10-7 午睡

図 5-3-10-7 午睡と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



午睡の有無と認知症傾向に有意な関連は見られない。

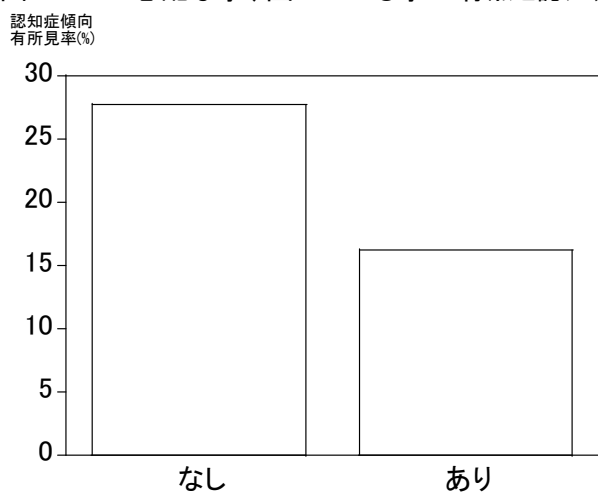
表 5-3-10-7 午睡と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	47	70
HDS-R $\leq$ 25	11	23

有所見率(%)            19.0            24.7  
年齢調整 P=    0.8359            P=    0.4106

5-3-11 心配な事、困っている事

図 5-3-11 心配な事、困っている事の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



心配な事、困っている事がない群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

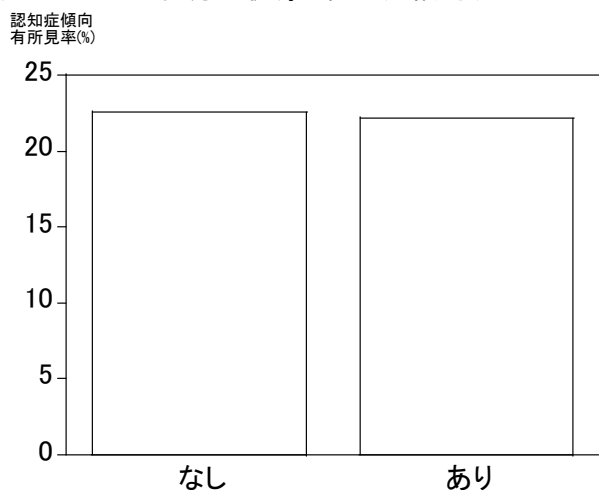
表 5-3-11 心配な事、困っている事の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	60	57
HDS-R $\leq$ 25	23	11

有所見率(%)            27.7            16.2  
年齢調整 P=    0.2613            P=    0.0946

5-3-11-1 自分の健康(心配事ありの場合)

図 5-3-11-1 自分の健康と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



自分の健康への心配事の有無と認知症傾向に有意な関連は見られない。

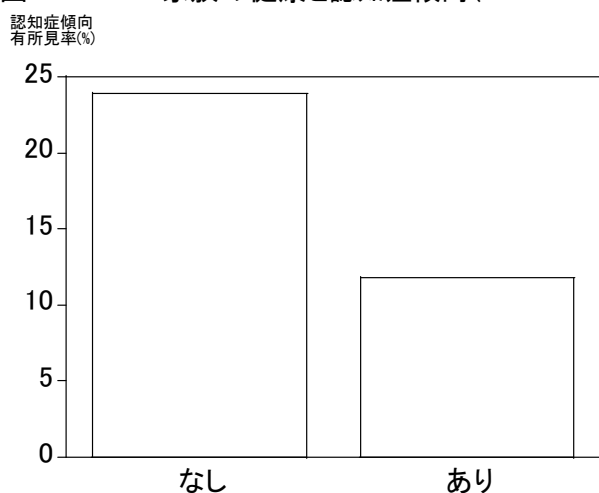
表 5-3-11-1 自分の健康と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	96	21
HDS-R $\leq$ 25	28	6

有所見率(%)            22.6            22.2  
 年齢調整 P= 0.994            P= 0.9679

5-3-11-2 家族の健康(心配事ありの場合)

図 5-3-11-2 家族の健康と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



家族の健康への心配事がない群で有所見者が多いように見えるが、統計的に有意な差はない。

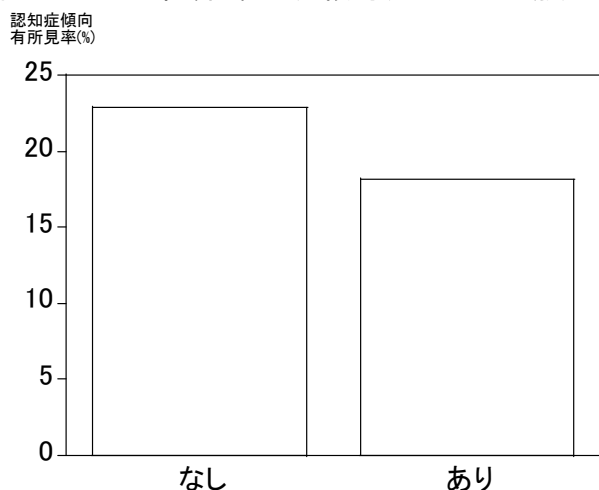
表 5-3-11-2 家族の健康と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	102	15
HDS-R $\leq$ 25	32	2

有所見率(%)            23.9            11.8  
 年齢調整 P= 0.4996            P= 0.2724

5-3-11-3 経済(心配事ありの場合)

図 5-3-11-3 経済と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



経済の心配と認知症傾向に有意な関連は見られない。

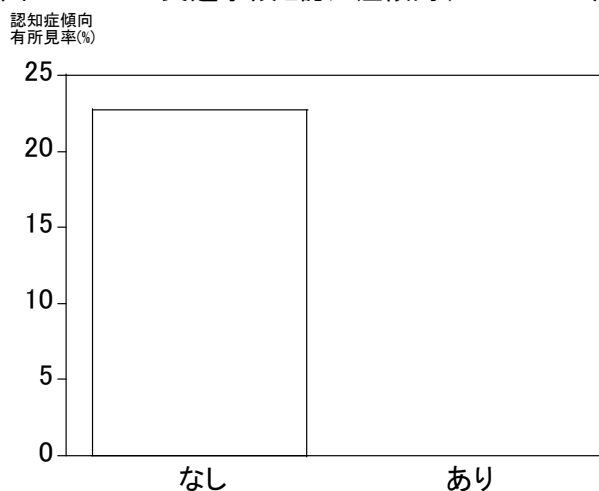
表 5-3-11-3 経済と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	108	9
HDS-R $\leq$ 25	32	2

有所見率(%)            22.9            18.2  
 年齢調整 P= 0.9579            P= 0.7217

5-3-11-4 交通手段(心配事ありの場合)

図 5-3-11-4 交通手段と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



交通手段の心配ありの人はほとんどなく、交通手段の心配と認知症傾向との関連性の判定はできない。

表 5-3-11-4 交通手段と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

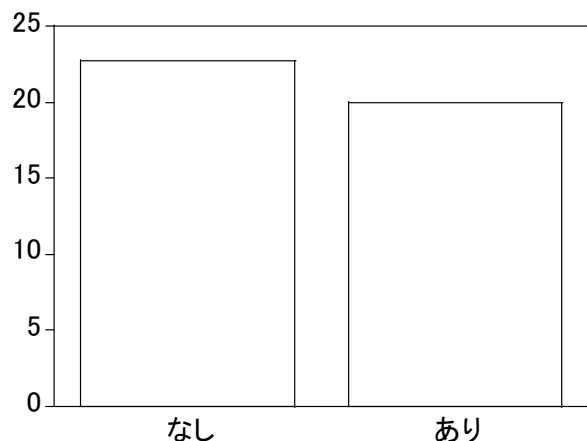
	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	116	1
HDS-R $\leq$ 25	34	0

有所見率(%)            22.7            0.0  
 年齢調整 P= 0.9896            P= 0.9892

5-3-11-5 雪への心配事(心配事ありの場合)

図 5-3-11-5 雪への心配事の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



雪への心配事の有無と認知症傾向に有意な関連は見られない。

表 5-3-11-5 雪への心配事の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	109	8
HDS-R $\leq$ 25	32	2

有所見率(%)

22.7

20.0

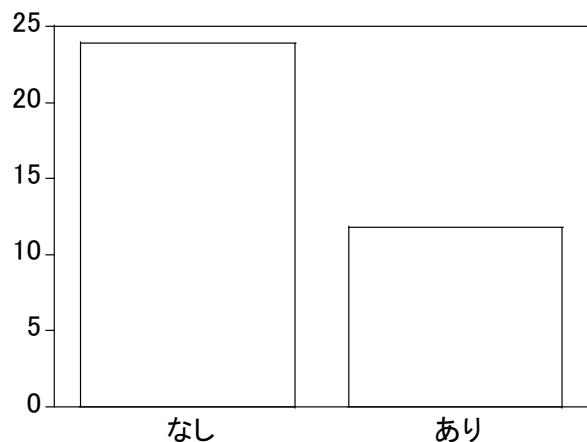
年齢調整 P= 0.8857

P= 0.8439

5-3-11-6 その他の心配事(心配事ありの場合)

図 5-3-11-6 その他の心配事の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



その他の心配事の有無と認知症傾向に有意な関連は見られない。

表 5-3-11-6 その他の心配事の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	102	15
HDS-R $\leq$ 25	32	2

有所見率(%)

23.9

11.8

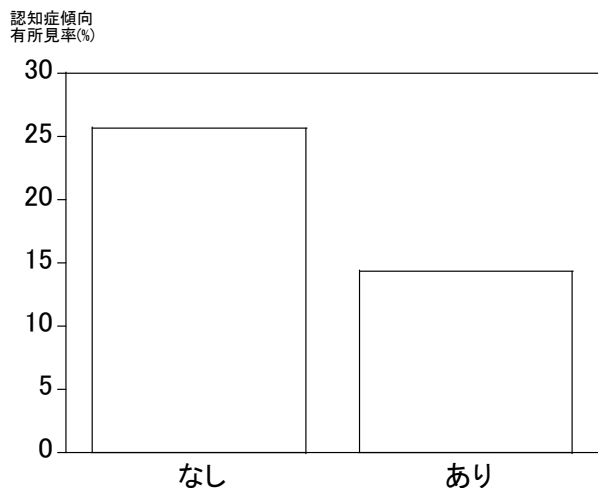
年齢調整 P= 0.3782

P= 0.2724

5-3-12 職業

5-3-12-1 現在の職業

図 5-3-12-1 現在の職業の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



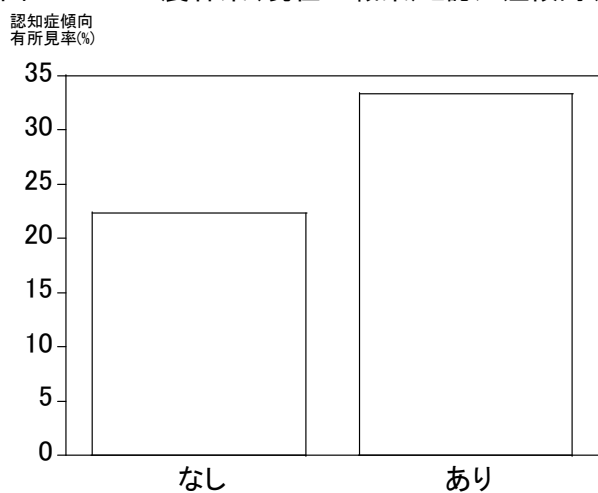
現在職業のない群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-3-12-1 現在の職業と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	81	36
HDS-R $\leq$ 25	28	6
有所見率(%)	25.7	14.3
年齢調整 P=	0.3521	P= 0.1385

5-3-12-2 農林業(現在の職業)

図 5-3-12-2 農林業(現在の職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



農林業と認知症傾向に有意な関連は見られない。

表 5-3-12-2 農林業(現在の職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	115	2
HDS-R $\leq$ 25	33	1
有所見率(%)	22.3	33.3
年齢調整 P=	0.6562	P= 0.6539

5-3-12-3 農林業(1番勤務年数の長い職業)

図 5-3-12-3 農林業(1番勤務年数の長い職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

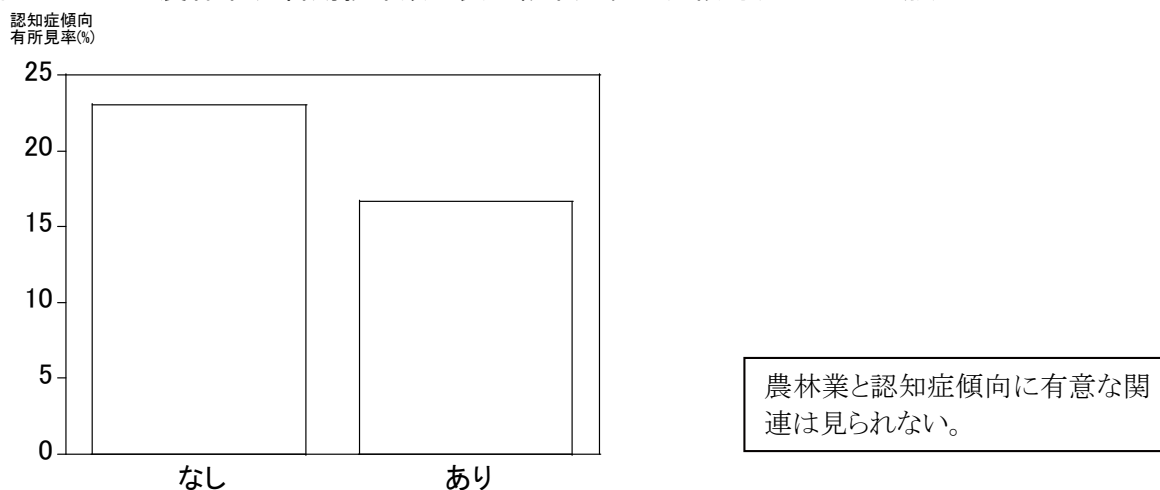


表 5-3-12-3 農林業(1番勤務年数の長い職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	107	10
HDS-R $\leq$ 25	32	2

有所見率(%)            23.0            16.7  
年齢調整 P= 0.4702            P= 0.6155

5-3-12-4 生産・工程業(1番勤務年数の長い職業)

図 5-3-12-4 生産・工程業(1番勤務年数の長い職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

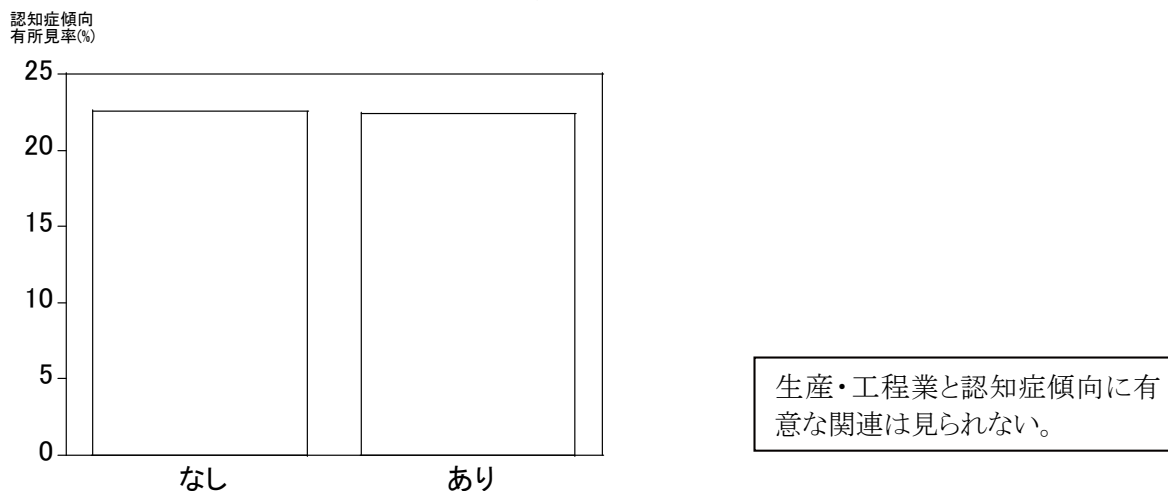


表 5-3-12-4 生産・工程業(1番勤務年数の長い職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

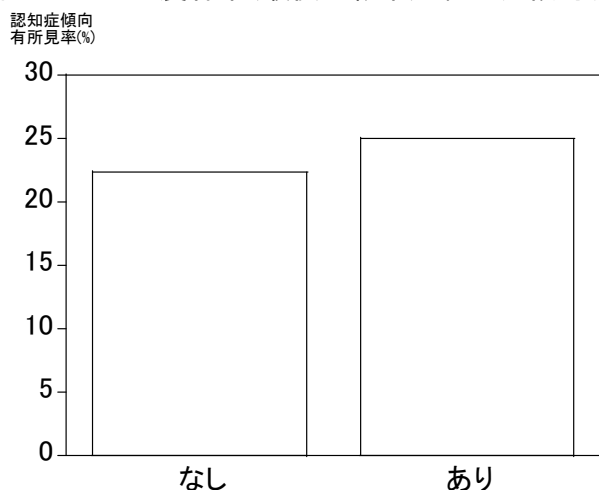
	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	65	52
HDS-R $\leq$ 25	19	15

有所見率(%)            22.6            22.4  
年齢調整 P= 0.8717            P= 0.9731



5-3-12-5 農林業(最後の職業)

図 5-3-12-5 農林業(最後の職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



農林業と認知症傾向に有意な関連は見られない。

表 5-3-12-5 農林業(最後の職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	111	6
HDS-R $\leq$ 25	32	2

有所見率(%)

22.4

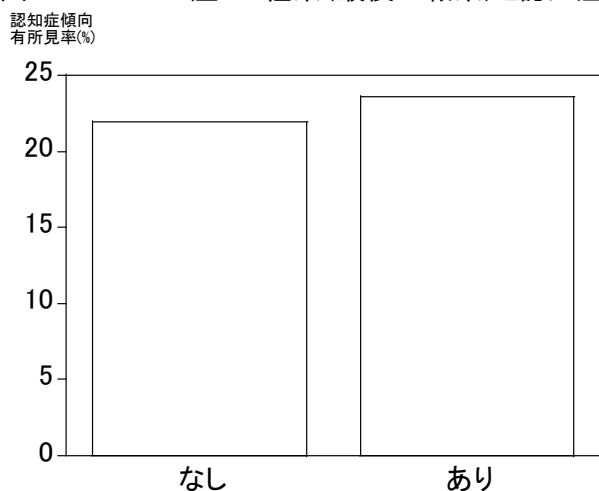
25.0

年齢調整 P= 0.7263

P= 0.8629

5-3-12-6 生産・工程業(最後の職業)

図 5-3-12-6 生産・工程業(最後の職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



生産・工程業と認知症傾向に有意な関連は見られない。

表 5-3-12-6 生産・工程業(最後の職業)と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	75	42
HDS-R $\leq$ 25	21	13

有所見率(%)

21.9

23.6

年齢調整 P= 0.8011

P= 0.8031

5-3-13 過去3年間のイベント

図 5-3-13 過去3年間のイベントの有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

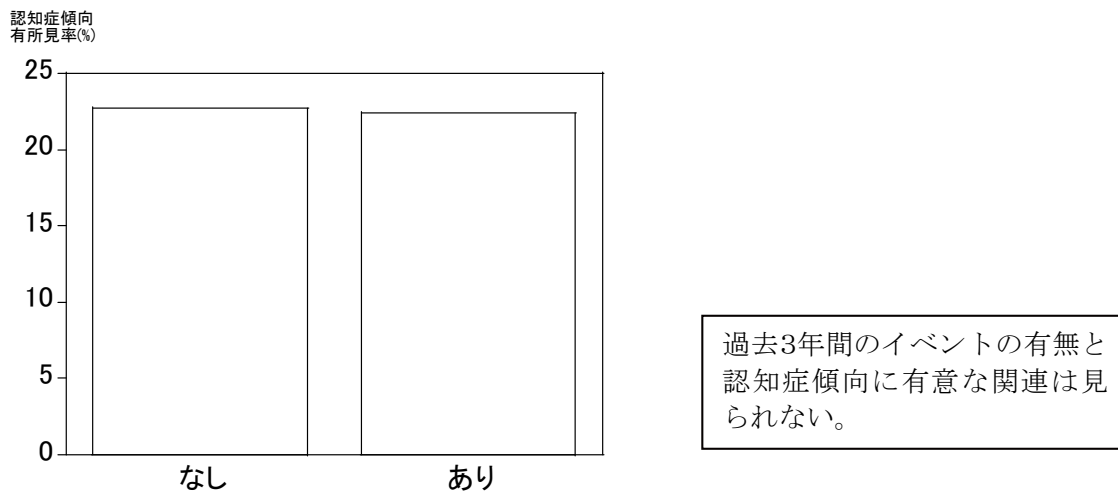


表 5-3-13 過去3年間のイベントの有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	51	66
HDS-R $\leq$ 25	15	19
有所見率(%)	22.7	22.4
年齢調整 P=	0.6571	P= 0.9564

5-3-14 過去3年間の特異な体験

図 5-3-14 過去3年間の特異な体験の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

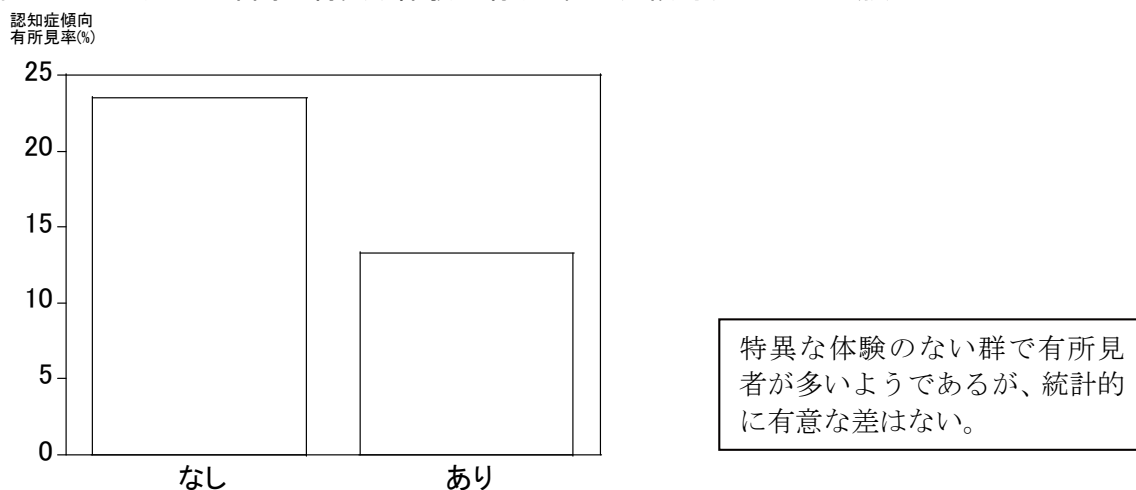


表 5-3-14 過去3年間の特異な体験の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	104	13
HDS-R $\leq$ 25	32	2
有所見率(%)	23.5	13.3
年齢調整 P=	0.8599	P= 0.3778

5-3-14-1 「大雪」を特異な体験

図 5-3-14-1 大雪の体験の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

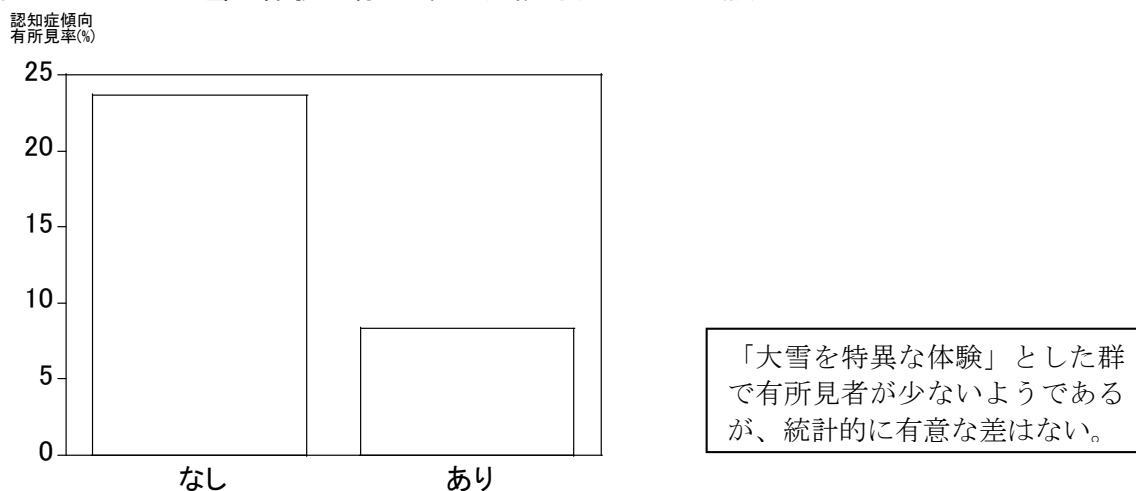


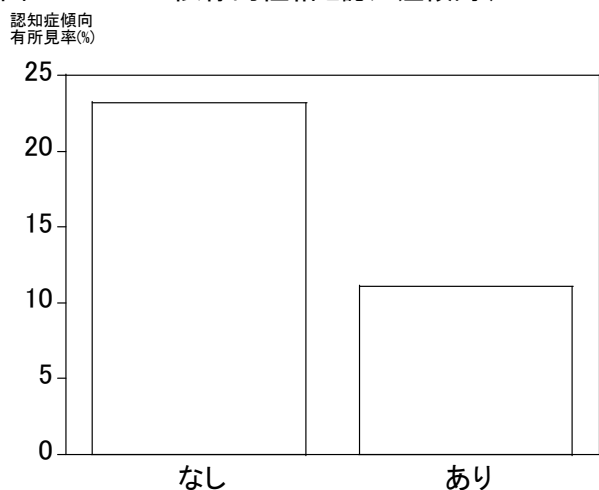
表 5-3-14-1 大雪の体験の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	106	11
HDS-R $\leq$ 25	33	1
有所見率(%)	23.7	8.3
年齢調整 P=	0.5271	P= 0.2472

5-3-15 性格

5-3-15-1 依存的性格

図 5-3-15-1 依存的性格と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



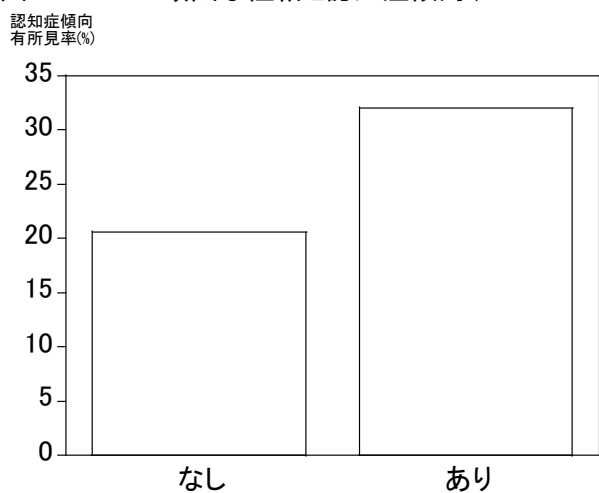
依存的性格のない群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-3-15-1 依存的性格と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	なし	あり
HDS-R≥26	109	8
HDS-R≤25	33	1
有所見率(%)	23.2	11.1
年齢調整 P=	0.7542	P= 0.4124

5-3-15-2 頑固な性格

図 5-3-15-2 頑固な性格と認知症傾向(HDS-R≤25 点)



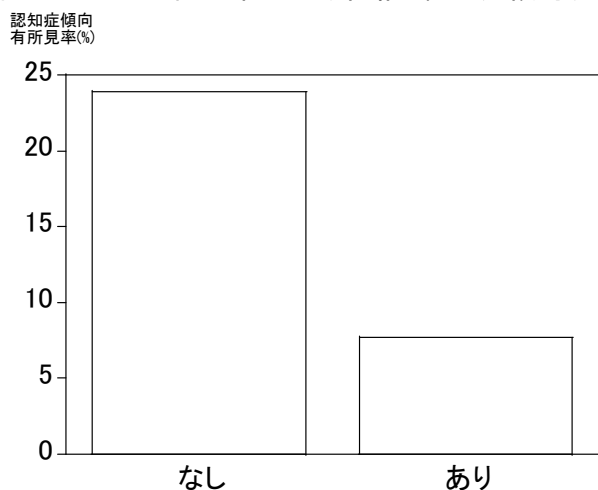
頑固な性格ありの群で有所見者が多い傾向にある。

表 5-3-15-2 頑固な性格と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	なし	あり
HDS-R≥26	100	17
HDS-R≤25	26	8
有所見率(%)	20.6	32.0
年齢調整 P=	0.0765	P= 0.2183

5-3-15-3 自己中心的な性格

図 5-3-15-3 自己中心的な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



自己中心的な性格のない群で有所見者が多いように見えるが、統計的に有意な差はない。

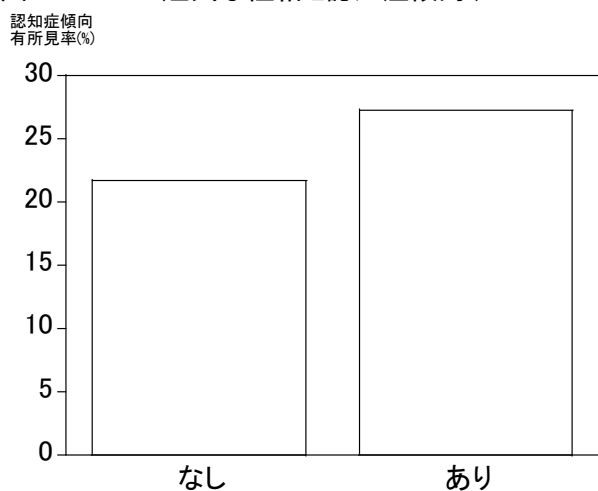
表 5-3-15-3 自己中心的な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	105	12
HDS-R $\leq$ 25	33	1

有所見率(%)            23.9            7.7  
年齢調整 P= 0.4678            P= 0.2104

5-3-15-4 短気な性格

図 5-3-15-4 短気な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



短気な性格と認知症傾向に関連は見られない。

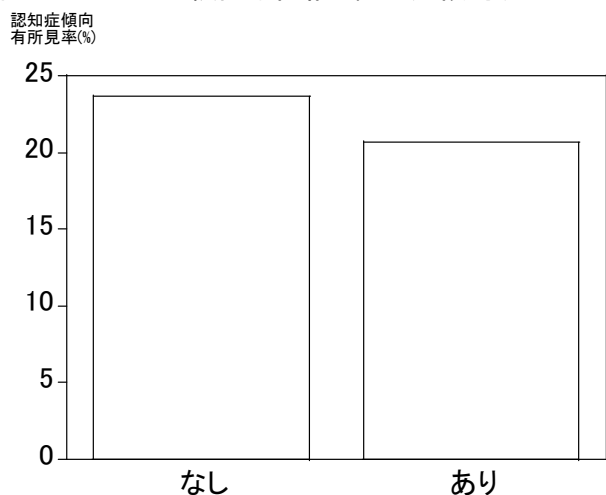
表 5-3-15-4 短気な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	101	16
HDS-R $\leq$ 25	28	6

有所見率(%)            21.7            27.3  
年齢調整 P= 0.3165            P= 0.5643

5-3-15-5 几帳面な性格

図 5-3-15-5 几帳面な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



几帳面な性格と認知症傾向に有意な関連は見られない。

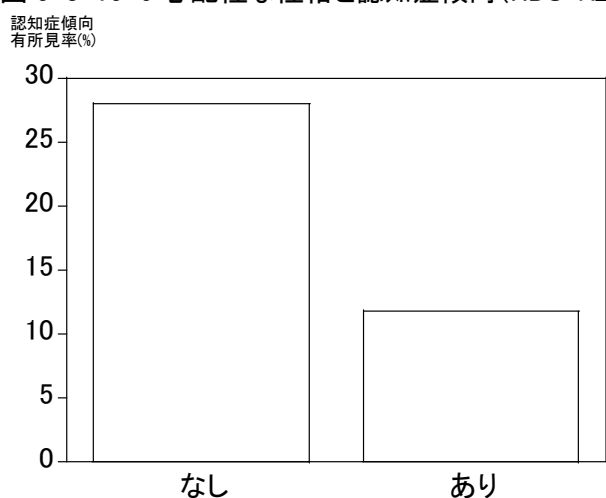
表 5-3-15-5 几帳面な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	71	46
HDS-R $\leq$ 25	22	12

有所見率(%)            23.7            20.7  
 年齢調整 P= 0.671            P= 0.6714

5-3-15-6 心配性な性格

図 5-3-15-6 心配性な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



心配性な性格のある群で有所見者が少ない傾向にある。

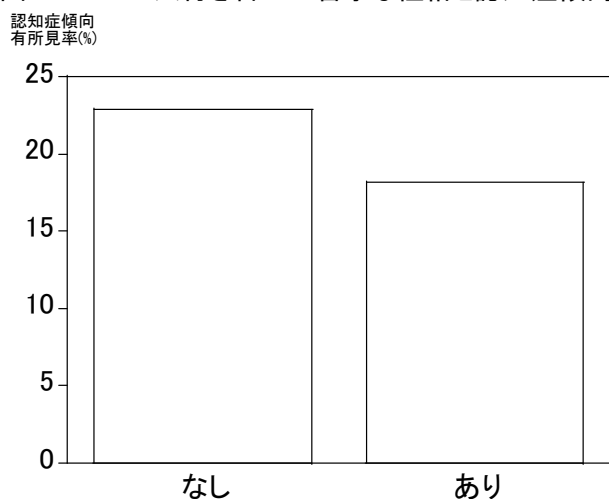
表 5-3-15-6 心配性な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	72	45
HDS-R $\leq$ 25	28	6

有所見率(%)            28.0            11.8  
 年齢調整 P= 0.0972            P= 0.0284

5-3-15-7 人付き合いが苦手な性格

図 5-3-15-7 人付き合いが苦手な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



人付き合いが苦手な性格と認知症傾向に有意な関連は見られない。

表 5-3-15-7 人付き合いが苦手な性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	108	9
HDS-R $\leq$ 25	32	2

有所見率(%)

22.9

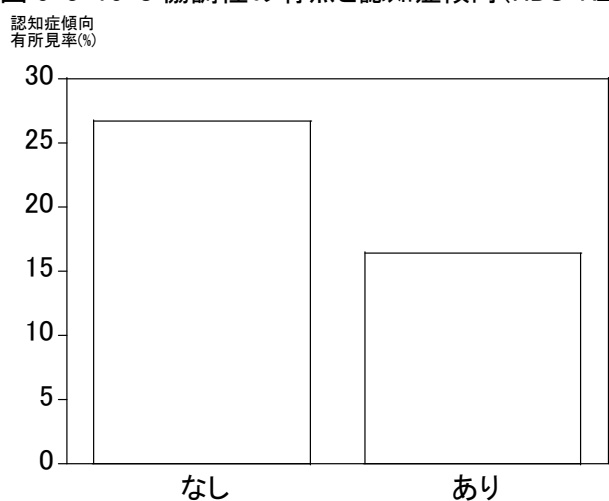
18.2

年齢調整 P= 0.9754

P= 0.7217

5-3-15-8 協調性

図 5-3-15-8 協調性の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



協調性のない群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-3-15-8 協調性の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	66	51
HDS-R $\leq$ 25	24	10

有所見率(%)

26.7

16.4

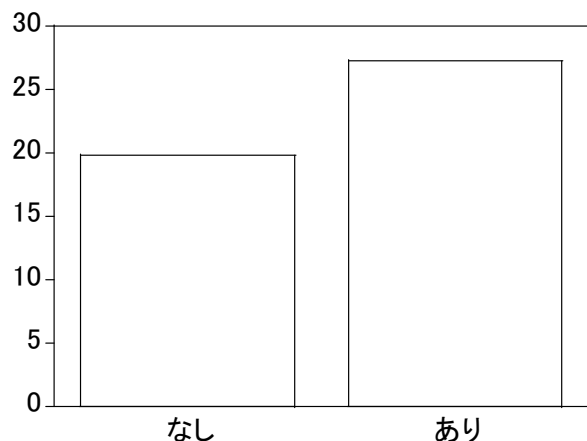
年齢調整 P= 0.1669

P= 0.1414

5-3-15-9 くよくよしない(楽道家、プラス思考)性格

図 5-3-15-9 くよくよしない(楽道家、プラス思考) 性格と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



くよくよしない性格のある群  
で有所見者が多いようである  
が、統計的に有意な差はない。

表 5-3-15-9 くよくよしない(楽道家、プラス思考) 性格と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	なし	あり
HDS-R≥26	77	40
HDS-R≤25	19	15

有所見率(%)

19.8

27.3

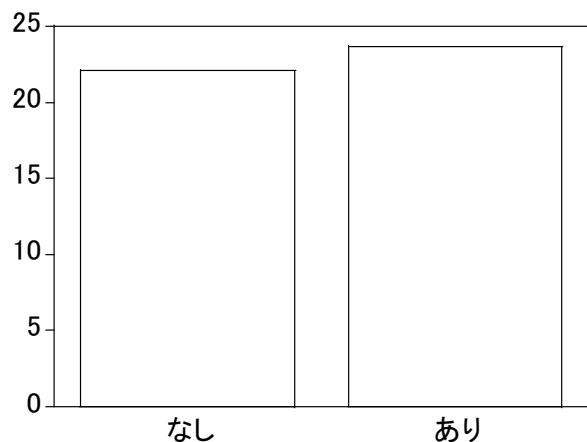
年齢調整 P= 0.2367

P= 0.2912

5-3-15-10 のんびり、呑気な性格

図 5-3-15-10 のんびり、呑気な性格と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



のんびり、呑気な性格と認知症  
傾向に有意な関連は見られな  
い。

表 5-3-15-10 のんびり、呑気な性格と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	なし	あり
HDS-R≥26	88	29
HDS-R≤25	25	9

有所見率(%)

22.1

23.7

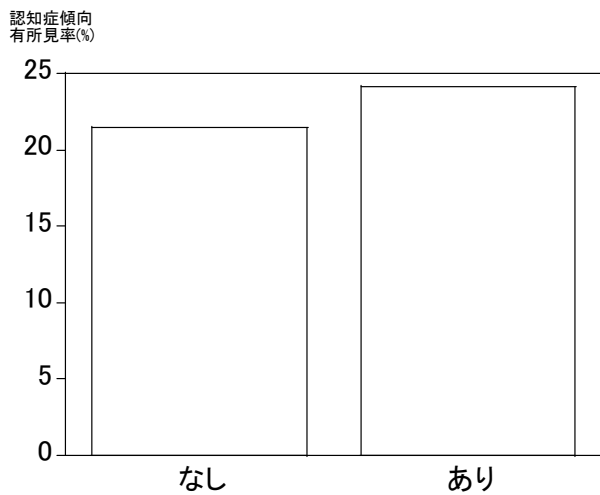
年齢調整 P= 0.7833

P= 0.8421



5-3-15-11 温和、おおらかな性格

図 5-3-15-11 温和、おおらかな性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



温和、おおらかな性格と認知症傾向に有意な関連は見られない。

表 5-3-15-11 温和、おおらかな性格と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	73	44
HDS-R $\leq$ 25	20	14

有所見率(%)            21.5            24.1

年齢調整 P= 0.4838            P= 0.7065

5-3-16 高齢者の地域とのつながりや日常生活上の不安や不自由

5-3-16-1 近所の方とどの程度の付き合いをしていますか

5-3-16-1-1 訪問しあう人がいるか

図 5-3-16-1-1 近所の訪問の有無と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

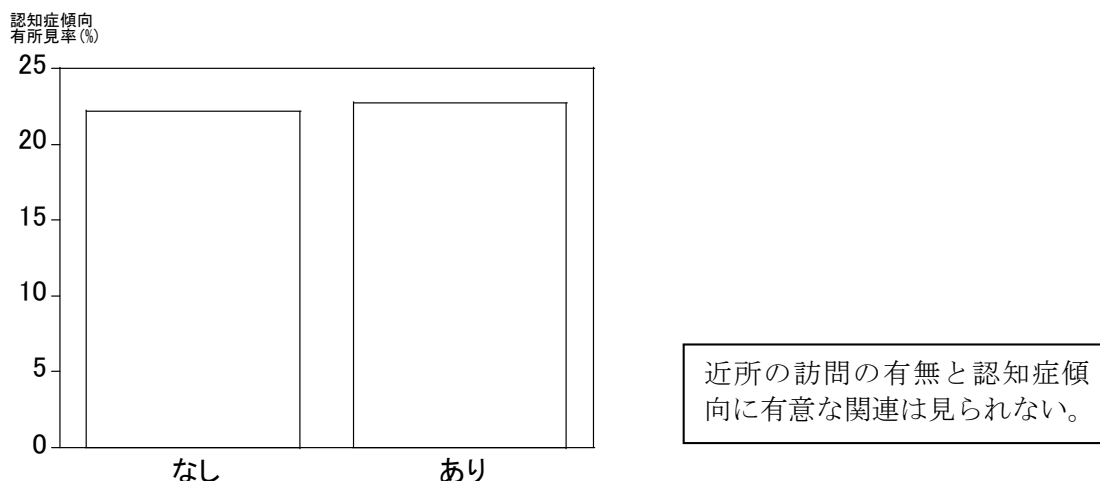


表 5-3-16-1-1 近所の訪問の有無と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	49	68
HDS-R $\leq$ 25	14	20

有所見率 (%)

22.2

22.7

年齢調整 P= 0.8906

P= 0.9417

5-3-16-1-2 立ち話をする程度の人があるか

図 5-3-16-1-2 立ち話をする程度の人のある無と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

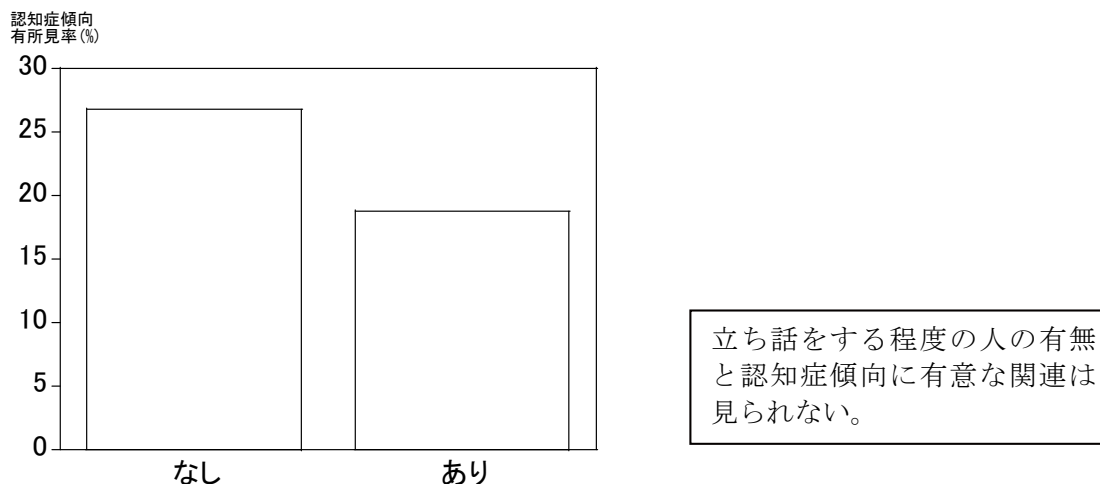


表 5-3-16-1-2 立ち話をする程度の人のある無と認知症傾向 (HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	52	65
HDS-R $\leq$ 25	19	15

有所見率 (%)

26.8

18.8

年齢調整 P= 0.8732

P= 0.2415

5-3-16-1-3 あいさつをする程度の人がいるか

図 5-3-16-1-3 あいさつをする程度の人の有無と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

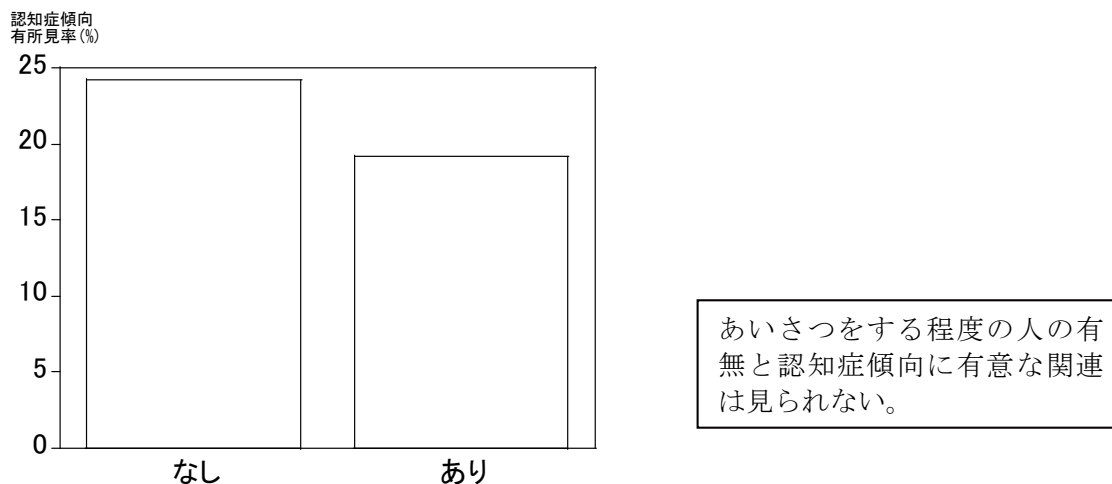


表 5-3-16-1-3 あいさつをする程度の人の有無と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	なし	あり
HDS-R≥26	75	42
HDS-R≤25	24	10
有所見率(%)	24.2	19.2

年齢調整 P= 0.8667

P= 0.4845

5-3-16-2 家族や親族以外で相談や世話をし合う人がいますか

図 5-3-16-2 相談や世話をし合う人との連絡頻度と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

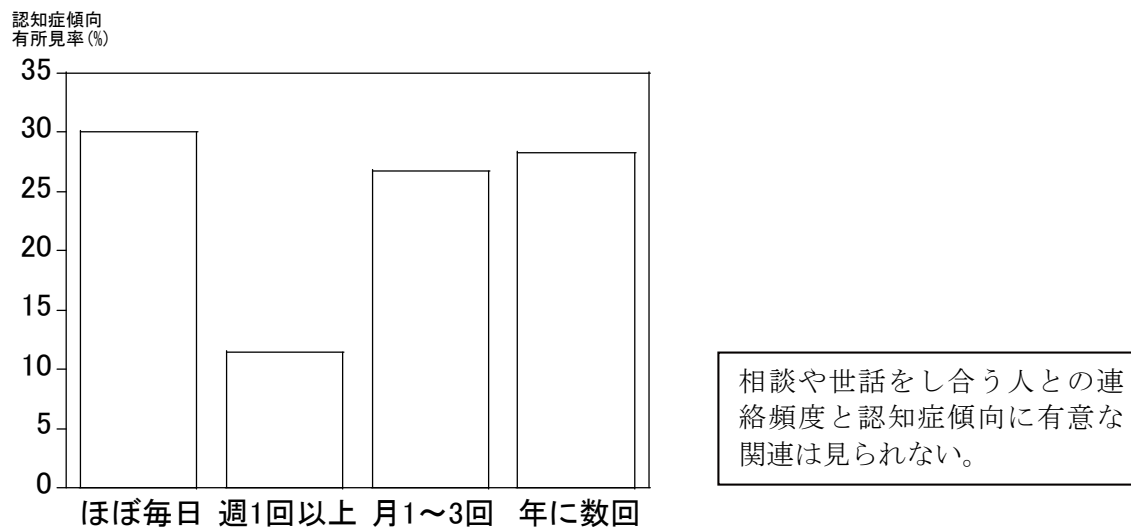


表 5-3-16-2 相談や世話をし合う人との連絡頻度と認知症傾向(HDS-R≤25 点)

	ほぼ毎日	週1回以上	月1~3回	年に数回
HDS-R≥26	14	31	22	33
HDS-R≤25	6	4	8	13
有所見率(%)	30.0	11.4	26.7	28.3

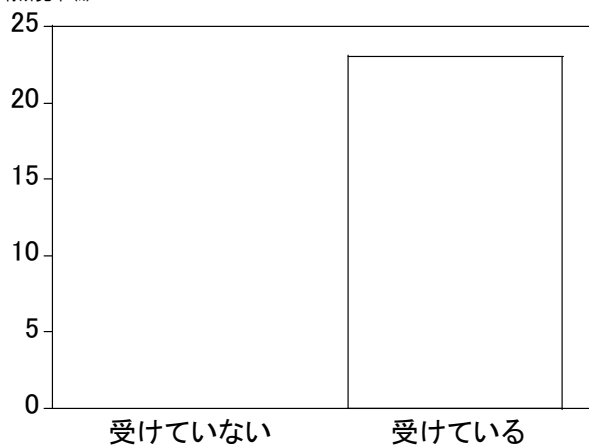
年齢調整 P= 0.3123

P= 0.2415

5-3-16-3 地域の方から実際に身近な支援を受けていますか

図 5-3-16-3 支援の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



支援の有無と認知症傾向に有意な関連は見られない。

表 5-3-16-3 支援の有無と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	受けていない	受けている
HDS-R $\geq$ 26	3	114
HDS-R $\leq$ 25	0	34
有所見率(%)	0.0	23.0

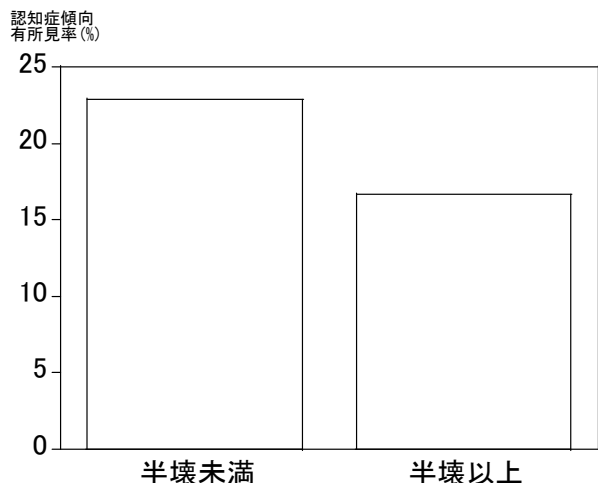
年齢調整 P= 0.9865

P= 0.9813

5-4 中越地震

5-4-1 家屋被害

図 5-4-1 家屋被害と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



家屋被害が半壊未満の群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

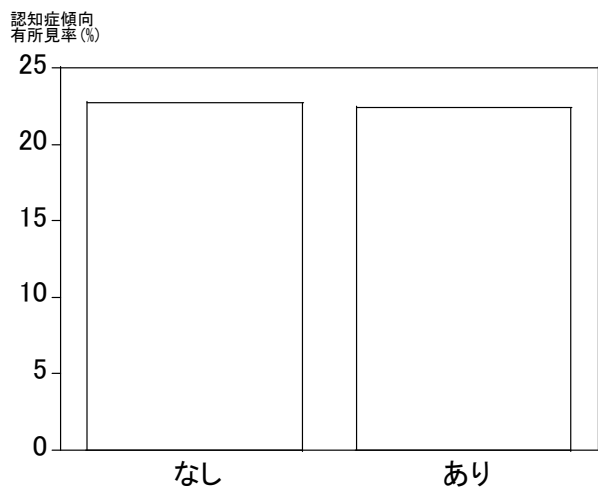
表 5-4-1 家屋被害と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	半壊未満	半壊以上
HDS-R $\geq$ 26	111	5
HDS-R $\leq$ 25	33	1

有所見率(%)            22.9            16.7  
 年齢調整 P= 0.5924            P= 0.7221

5-4-2 自宅以外の市内の避難生活

図 5-4-2 自宅以外の市内の避難生活と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



避難生活（自宅以外の市内）と認知症傾向に関連は見られない。

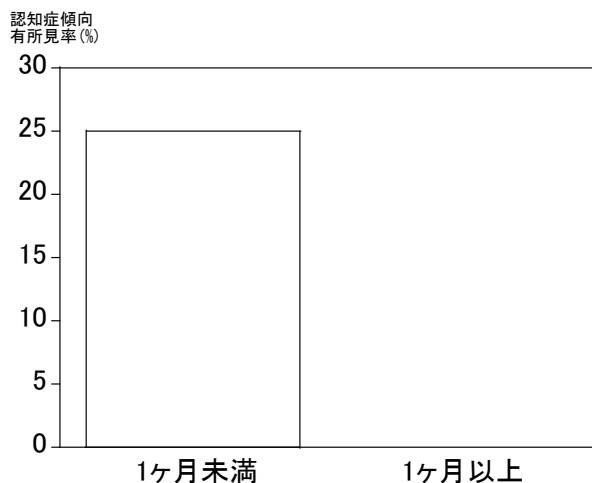
表 5-4-2 自宅以外の市内の避難生活と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	58	59
HDS-R $\leq$ 25	17	17

有所見率(%)            22.7            22.4  
 年齢調整 P= 0.9638            P= 0.965

5-4-3 避難期間(自宅以外の市内の避難生活ありの場合)

図 5-4-3 避難期間と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



避難期間(自宅以外の市内の避難生活ありの場合)と認知症傾向に有意な関連は見られない。

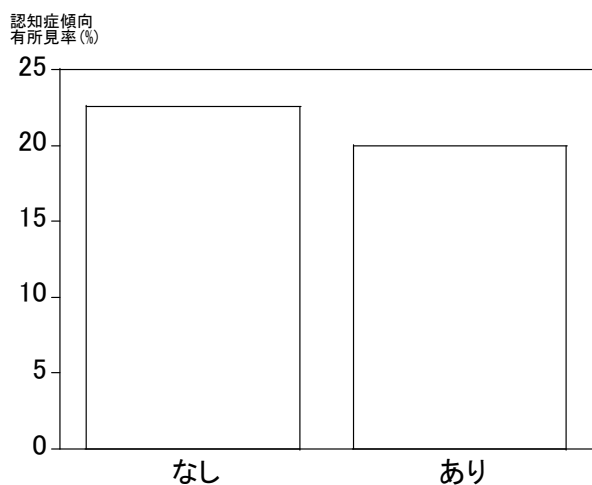
表 5-4-3 避難期間と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	1ヶ月未満	1ヶ月以上
HDS-R $\geq$ 26	51	2
HDS-R $\leq$ 25	17	0

有所見率(%)            25.0            0.0  
 年齢調整 P= 0.9838                      P= 0.9842

5-4-4 市外への避難

図 5-4-4 市外への避難と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



市外への避難と認知症傾向に関連は見られない。

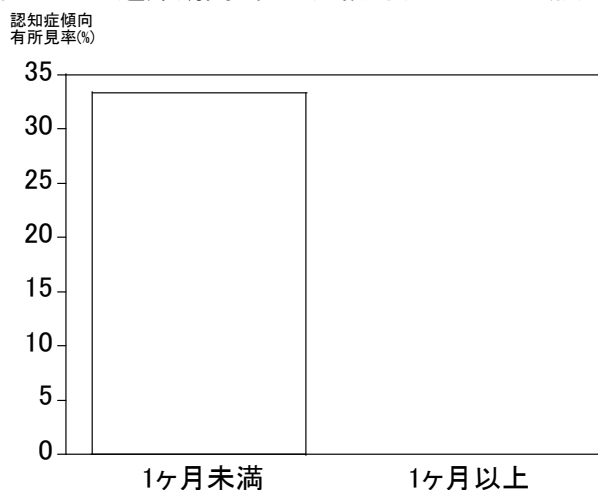
表 5-4-4 市外への避難と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	113	4
HDS-R $\leq$ 25	33	1

有所見率(%)            22.6            20.0  
 年齢調整 P= 0.8681                      P= 0.8911

5-4-5 避難期間(自宅以外の市外の避難生活ありの場合)

図 5-4-5 避難期間と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)



避難期間(自宅以外の市外の避難生活ありの場合)と認知症傾向に有意な関連は見られない。

表 5-4-5 避難期間と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	1ヶ月未満	1ヶ月以上
HDS-R $\geq$ 26	2	2
HDS-R $\leq$ 25	1	0

有所見率(%) 33.3 0.0

年齢調整 P= 0.944 P= 0.9474

5-4-6 仮設住宅入居

表 5-4-6 仮設住宅入居と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	116	0
HDS-R $\leq$ 25	34	0

有所見率(%) 22.7 0.0

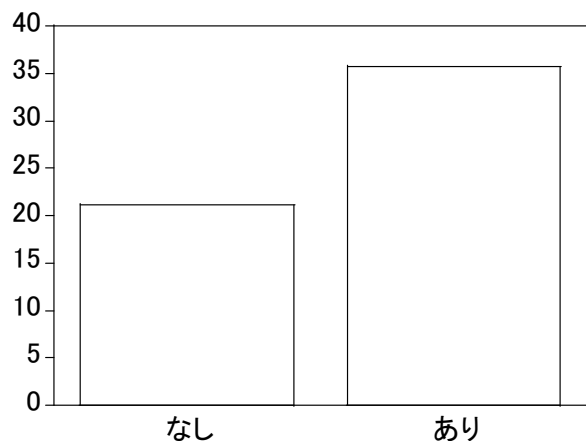
年齢調整 P= 計算不可 P= 計算不可

仮設入居者は見られなかった。

5-4-7 中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続している

図 5-4-7「中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続している」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

認知症傾向  
有所見率(%)



「中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続している」群で有所見者が多いようであるが、統計的に有意な差はない。

表 5-4-7「中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続している」と認知症傾向(HDS-R $\leq$ 25 点)

	なし	あり
HDS-R $\geq$ 26	108	9
HDS-R $\leq$ 25	29	5

有所見率(%)

21.2

35.7

年齢調整 P= 0.16

P= 0.2223



区分	内容	性別	年代
自助・防災に関する事	防災が強固になった。	男	70歳代
	日頃からの災害への構えが大切だ。	男	80歳代
	空を見て雲を観察するようになった。災害時すぐ逃げ出せるよう、玄関や廊下は整理整頓している。	女	70歳代
	日頃の備えが大切と実感し、水、電池、カップめんを備蓄している	男	60歳代
	一時期、避難袋も準備していたが今は何もしていない。あまり地震の心配はしていない。	女	70歳代
	地震の2~3日前のテレビで非常時持出袋の必要性を知り、準備しておいてよかった。災害は恐いと思う。	女	80歳代
	地震後、電気が不要な石油ストーブが役にたったので、何か被災した時でも使用できるように2台常備してある。	男	70歳代
	非常持出の鞆にいろいろ詰めたが、定期的な入れ替えが面倒で忘れてやらなくなった。災害のない日常の中で非常時の備えを持ち続けることは、平和であればあるほど意識がなくなるようだ。	女	80歳代
	非常用物品を鞆にまとめているが3年間くらいでやめた。忘れてしまった。	女	70歳代
	震災時、抱き着いて安心できる夫がいたので心強かった。夫の存在が大きいことを感じた。	女	60歳代
	家のゆがみは気にかかっている(今後修理の必要性等)。築90年経過した家を残していこうと思っている。	男	80歳代
	家が古いので次に地震が来たらどうなるのか心配。新築する予定が今のところ延期になっている。	女	80歳代
共助に関する事	東日本大震災の印象が大きく、あまり中越地震のことは考えなかった。中越地震の時は町内で助け合い、絆が深まった。	女	70歳代
	地震に敏感になった。片貝は被害が少なくて良かった。隣近所の助け合いは大切だ。	男	60歳代
	遠くの親戚より近くの他人だとつくづく思った。町内の皆で助け合いながら乗り越えた。	女	60歳代
	恐かった。町内近所で「に組センター」で1週間避難生活を協力しあった。	女	80歳代
	家も商売物が壊れたりして大変だったが、東日本大震災を思うと中越地震は大したことないと思う。二之町は商店も多く皆で商品を持ち寄り数日過ごした。協力的な町内だと思っている。	女	80歳代
	地震のあと車で過ごし、近所の人たちと助け合いながら乗り越えた。今も人の助けは大事だと思う。	男	80歳代
	地震後4~5日近所の家に寝泊まりさせてもらったり、風呂を貸してもらったりできてよかった。	女	70歳代
	ライフラインが止まり不便だったが、日頃から近所の助け合いがあり不安はなかった	男	60歳代
	近所の人と協力した。また県外の親戚等の協力に感謝している。	女	80歳代
	地震があつて大変だったが、そのことかがきっかけで近所との交流が深まった	女	70歳代
	畳屋だったので避難所として近所に提供して、皆に喜んでもらえてよかった。また長男夫婦も同居してくれるようになり、安心した。	女	70歳代
	県外からの支援等、人のありがたみがわかった。被害が少なかったから思えることかもしれない。	女	70歳代
地震の年に町内会長になり数年継続、人をまとめる苦労と身勝手な行動をとる人への怒りがあり大変だった	男	70歳代	

区分	内容	性別	年齢
その他 (震災への思い等)	中越地震では片貝は大きな被害もなかったが、東北に行き津波の被害場所を見学した。いまだに目を背けたくなる光景の所もあった。	男	70歳代
	生きていてこんなことがあるのかと、今も思い出している。揺れて恐ろしかった。	女	60歳代
	商売を1か月以上休んだり商売用の食器がたくさん壊れたが、今では地震のことを思い出さない。	男	80歳代
	市外に外出中に被災したので、停電で信号が動かず帰るのが大変だった。	男	80歳代
	ガソリン等の燃料が一番大事と思う。停電を考えると、発電機を所々に用意しないと大変だと思う。岩手、盛岡へ何回も燃料を運んだ。	男	70歳代
	地震の被害はさほどなかったが、片貝断層があるようなので心配だ。また、柏崎の原発から30kmもないので今後の稼働が気になる。	男	60歳代
	中越沖地震のとき、柏崎原発のことが気になった。原発はなくすべきだと思う。	男	70歳代
	原発はやめた方がいいと思う。	男	70歳代
	地震の時、恐くてところどころ意識が飛んでしまいそうだった。また地震が起きたら同じ状態にならないか心配。	女	70歳代
	二度と同じような体験はしたくないと思う。起きてほしくない。中学生の孫は地震に敏感だ。	女	70歳代
	二度と来てほしくないと思う。ちょっとした物音、テレビ、緊急ラジオでビクッとしてしまう。	男	70歳代
	また来るのではないかという不安はある。トイレと風呂の戸が閉められなくなって困っている。	女	70歳代
	風が吹いても自宅が揺れるので落ち着かない。	女	80歳代
	同じような大きな地震が来たらと心配になる。	女	80歳代
	蔵の被害が大きく商売も止めたが蔵はそのまま。片付けるにもお金が必要。蔵を見るたび地震を思い出す。	女	70歳代
	被害はなかったが、今もぐらっとすると地震かと思い少し不安になる。	女	70歳代
	電線が大きく揺れていたことや怖かったことは忘れられない。	女	70歳代
	新築した翌年の震災でショック、福島に親戚もあり、今も地震がくるような不安がある。	男	80歳代
	またいつ起きるかと思うと不安だ。	男	60歳代
	義援金や国の助成金の使途が詳細に周知されていないことに不満がある。	男	60歳代
二度と災害が無いように祈る。	男	70歳代	
被害はなかったが、建具屋で休む間もなく2年間働いた。不況下に起きた災害で不幸な事だが逆に仕事も増え倒産せずに済んだ職場も多かったと思う。	男	70歳代	
自宅で生活できる事は幸せと思う。	女	90歳代	

## 【結果のまとめ】

クロス集計の結果、以下の陽性所見を得た。

1. 高齢の人ほど認知症傾向の有所見率が高かった。
2. 15分くらい続けて歩いている群に有所見率が高い傾向にあった。
3. 朝食時間が早いほど有所見率が高かった。
4. 昼食時間が早いほど有所見率が高い傾向にあった。
5. 就寝時間が早いほど有所見率が高かった。
6. 肉の摂取頻度が少ないほど有所見率が高い傾向にあった。
7. 卵の摂取頻度が少ないほど有所見率が高い傾向にあった。
8. 頑固な性格ありの群で有所見率が高い傾向にあった。
9. 心配性な性格ありの群で有所見率が低い傾向にあった。

## 【おわりに】

今年度の調査では、小千谷市の中では地震による家屋被害の比較的少なかった片貝地区で認知症ハイリスク者のスクリーニング調査を行った。有所見者の割合(23%)は概ね平成町(19%)と同様であった。しかしながら、クロス集計の結果では、年齢と有所見者の関連性以外では、共通の関連項目が見られなかった。この違いは地域差によるものかもしれないが、各地区の調査人数が十分大きくないことも一因であると予想される。よって、3年間に行った全地区の統合解析を行ったうえで、地域差を考察する必要があると考えられた。また今回のような断面調査では、2つの要因の関連性が見られても、それらの関連が因果関係にあるかどうかという考察も欠かせない。今後、今回の貴重な調査結果をさらに活かすため、新規の認知症発症を確認するための追跡調査を行うことが望まれ、それにより、因果関係を明らかにすることが可能となる。

## お わ り に

新潟県中越地震から9年が経過しました。震災による環境の変化や喪失体験は、高齢者に大きなストレスを与えました。

震災後3年が経過した頃から認知症の相談が増加し、震災によるストレスは認知症状の顕在化を促進する要因の1つと予測されました。

そこで、小千谷市と新潟県精神福祉協会こころのケアセンターでは、被災地における高齢者支援の対策と充実を図るため実態調査に取り組みました。

平成22年度に、認知症患者と介護者の実態調査を実施し、「小千谷市認知症実態調査結果」第一報を報告書として作成することができました。調査の結果、認知症予防の充実が課題のひとつとして把握できました。

平成23年度からは認知症の早期発見と予防の充実を目的に、高齢者の健康や生活、認知機能やうつ状態の評価、中越地震の被災状況や健康への影響等について地域を限定して調査をいたしました。

平成23年度は市街地域、平成24年度は農村地域において実施し、それぞれ第二報、第三報としてまとめることができました。

しかし、両地域の実施数に差があり、地域比較等も検討するため今年度は市街地域住民を対象に実施し、第四報としてまとめることができました。

本報告書を作成するにあたり、解析していただいた新潟大学大学院医歯学総合研究科地域予防医学講座 社会・環境医学分野 教授 中村和利 氏に厚くお礼申し上げます。

本報告書が、今後の被災地における高齢者支援の資料として活用していただければ幸いです。

今後も皆様の一層の御支援と御協力を心よりお願い申し上げます。

平成26年2月

新潟県小千谷市保健福祉課  
新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター



# 資 料

資料 1

高齢者が利用できる片貝地区の社会資源 (徘徊SOSネットワーク会議資料より)

1 場所や機会

場所	数	機会	数
片貝総合センター	1	デイホーム	1
スーパー等食料品店	3	いきいきサロン	1
薬局	2	老人会	2
医院	1	いきいき健康倶楽部	1
歯科医院	2	ヤヨイ大学(高齢者学級)	1
整骨院	1	片貝まつり	1
理容室	2	その他(スカットボール)	1
美容室	4	その他(ラジオ体操)	1
郵便局	1		
銀行	1		
JA 金融	1		
駐在所	1		
中学校	1		
小学校	1		
保育園	1		
お寺	3		
介護保険事業所	1		
その他( 浅原神社 )	1		
その他( 墓地 )	4		
その他( 飲食店 )	3		
その他( 片貝スポーツセンター	1		
その他( 忍字亭:地域住民が利用する民家)	1		

2 地域の高齢者の状況や地域住民のかかわり等

○認知症は家族が隠したがる。

○認知症の人がいる家は、家族の声だんだん大きくなり、近所も何となくわかってくる。金が無いと騒ぐ、同じ物ばかり毎日買う、忘れる、路地を間違え帰れなくなる。そうすると家族は閉じ込めても本人は出かけていく。

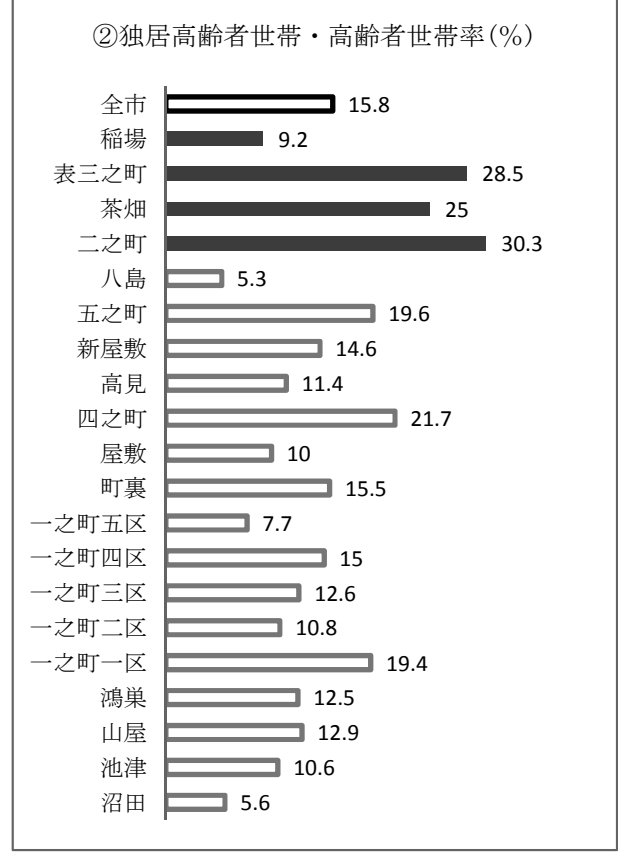
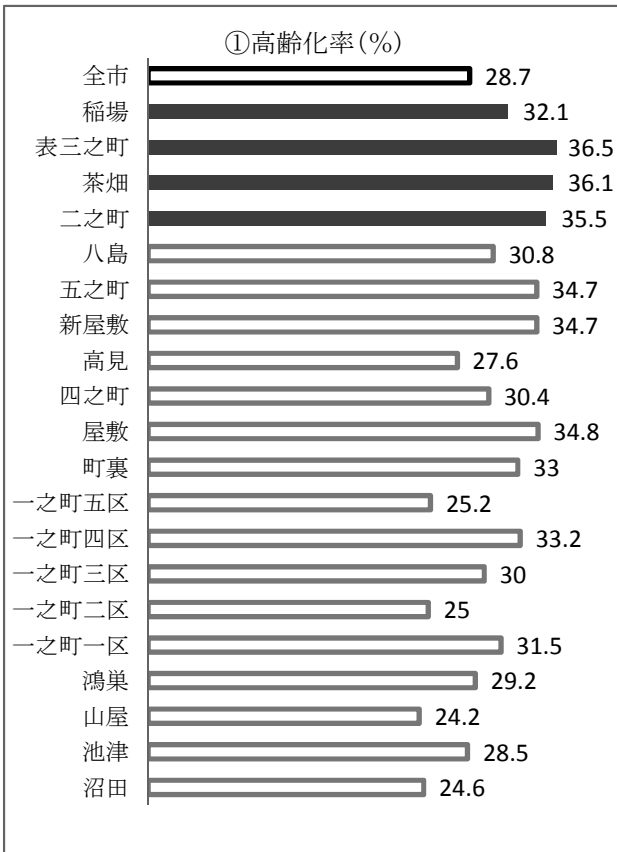
○老人会の仲間に認知症の人がいる。買い物帰りに路地を間違わないよう会員の中で見守るようにしている。45人の会員中、協力者は5人程度。老人会だけでは困難なので、町内全体が必要。

○1日に何回も同じ家に行くので来られる方も迷惑。認知症は怖いというイメージがある。

○認知症に限らず、心配な独居高齢者は町内6人程度で組んでゴミなど日常を見守っている。担当を決めたと誰かがやると互いに思い結局誰も何もしないことになる。

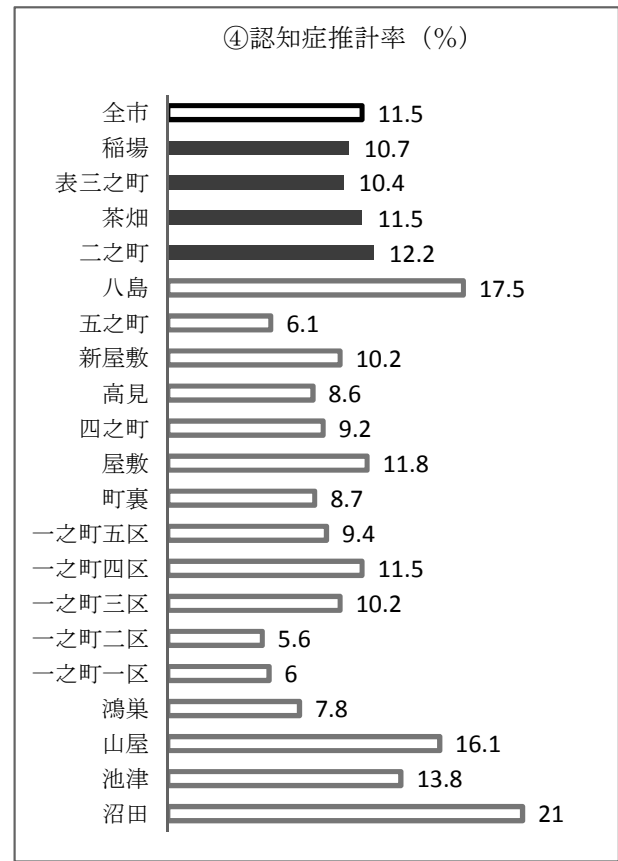
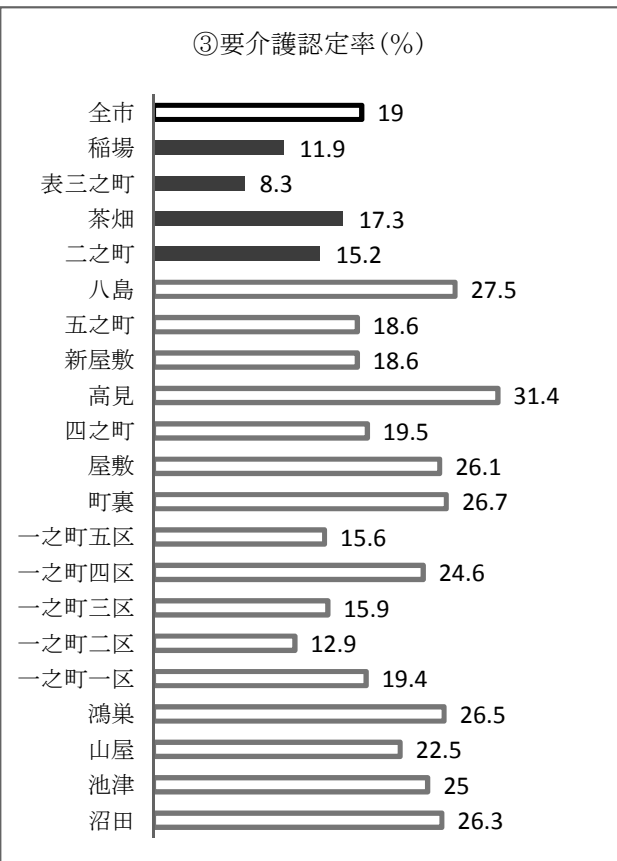
資料1 片貝地区の数字から見た高齢者の現状  
モデル地区: 稲場、表三之町、茶畑、二之町

(徘徊SOSネットワーク会議資料より)



表三之町、茶畑、二之町、稲場ともに全市の高齢化率より高く、片貝地区においても上位1位～4位である。

二之町、表三之町、茶畑は、高齢者世帯の率が全市より高く、片貝地区においても上位1位～3位である。稲場は片貝地区においても低い方である。



表三之町、二之町、茶畑、稲場ともに全市より低い。元気な高齢者が多い町内と考えられる。

介護認定率は全市より低い、認知症推計率は二之町は全市より高い傾向にある。



## 介護予防健康調査票

調査年月日 平成 2 5 年 月 日

調査員氏名 \_\_\_\_\_

## I. 基本属性

(1) 氏名 \_\_\_\_\_ 性別 男・女 \_\_\_\_\_

(2) 生年月日 年 月 日 ( 歳 ) (3) 住所 小千谷市 \_\_\_\_\_

(4) 婚姻状況 1. 既婚 2. 離婚 3. 死別 4. 未婚 5. その他 ( ) \_\_\_\_\_

(5) 家族構成

1. 独居 2. 家族など同居 3. その他

本人を含めて何人家族( 人 )

1. 配偶者 2. 息子・娘 3. 息子・娘の配偶者 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他

<div data-bbox="255 1209 295 1310" style="font-size: 2em;">{</div>	<div data-bbox="276 1214 392 1247">家族関係</div>	<div data-bbox="1252 1209 1292 1310" style="font-size: 2em;">}</div>
--	---	--

(6) 生まれ育った所

1. 小千谷市 2. 小千谷市以外( )

(7) 兄弟姉妹

1. 兄( 人 ) 2. 姉( 人 ) 3. 弟( 人 ) 4. 妹( 人 )

(8) 経済状況

(8)-1. 年金の種類 1. 国民年金 2. 厚生年金(企業年金なし) 3. 厚生年金(企業年金あり)  
4. 共済年金 5. 老齢福祉年金のみ 6. その他( )

(8)-2. 家計の主な収入(複数可)

1. サラリー 2. 年金 3. 農業収入 4. 自営業 5. その他( )

## II.健康状況

### (1)既往歴

1. 高血圧( 歳) 2. 脳卒中( 歳) 3. 心臓病( 歳) 4. 糖尿病( 歳)  
5. 高脂血症( 歳) 6. 肥満( 歳)  
7. 胃・腸病( 歳) 8. がん( )( 歳) 9. 甲状腺の病気( 歳)  
10. 筋、骨格系(骨粗鬆症、関節症等)( 歳) 11. 脳神経系( 歳)  
12. 精神・行動障害(不眠、うつ病等)( 歳) 13. 認知症( 歳)  
14. 頭部外傷( 歳) 15. 頭部以外の外傷( 歳)  
16. 目の病気( 歳) 17. 耳の病気( 歳) 18. 鼻の病気( 歳)  
16-① 64歳以下( 歳) 17-① 64歳以下( 歳) 18-① 64歳以下( 歳)  
19. 皮膚の病気( 歳) 20. 味覚障害( 歳) 21. その他( )  
19-① 64歳以下( 歳) 20-① 64歳以下( 歳)  
22. 覚えていない

### (2)現病歴

1. 高血圧( 歳) 2. 脳卒中( 歳) 3. 心臓病( 歳) 4. 糖尿病( 歳)  
5. 高脂血症( 歳) 6. 肥満( 歳)  
7. 胃・腸病( 歳) 8. がん( )( 歳) 9. 甲状腺の病気( 歳)  
10. 筋、骨格系(骨粗鬆症、関節症等)( 歳) 11. 脳神経系( 歳)  
12. 精神・行動障害(不眠、うつ病等)( 歳) 13. 認知症( 歳)  
14. 頭部外傷( 歳) 15. 頭部以外の外傷( 歳)  
16. 目の病気( 歳) 17. 耳の病気( 歳) 18. 鼻の病気( 歳)  
16-① 64歳以下( 歳) 17-① 64歳以下( 歳) 18-① 64歳以下( 歳)  
19. 皮膚の病気( 歳) 20. 味覚障害( 歳) 21. その他( )  
19-① 64歳以下( 歳) 20-① 64歳以下( 歳)

医療機関\_\_\_\_\_

(3) 家族歴(親、兄弟姉妹)

- 1.脳卒中 2.パーキンソン病 3.認知症 4.うつ病 5.ダウン症 6.その他の脳神経疾患

(4) 運動器の機能

- |                            |      |       |
|----------------------------|------|-------|
| 1. 階段を手すりや壁をつたわずに上る        | 1 はい | 2 いいえ |
| 2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる | 1 はい | 2 いいえ |
| 3. 15分くらい続けて歩いている          | 1 はい | 2 いいえ |
| 4. この1年間に転んだ事がある           | 1 はい | 2 いいえ |
| 5. 転倒に対する不安が大きい            | 1 はい | 2 いいえ |

〔 特記事項

〕

(5) 認知機能 (別紙 HDS-Rの実施)

1. 点数( 点)

(6) うつ状態 (別紙 大うつ病エピソード実施)

(6)-1 大うつエピソード現在

1. いいえ 2. はい

(6)-2 大うつエピソード過去

1. いいえ 2. はい

Ⅲ. 生活状況

(1) 1日の過ごし方(ここ1週間の暮らし方)

(1)-1 日課

- 起床 ( 時 分)  
朝食 ( 時 分)  
昼食 ( 時 分)  
夕食 ( 時 分)  
就寝 ( 時 分)

(1)-2 余暇

ア) 役割(上記日課以外)

1. 無 2. 有

- 2-①家庭 ( 内容 )  
2-②地域 ( 内容 )  
2-③その他( 内容 )

イ) 趣味(楽しみ)

1. 無

2. 有

- 2-①対人交流
- a. 週1回以上
  - b. 月1~3回
  - c. 年3~4回
  - d. 年1回以下

- 2-②その他
- a. 野菜や花作り
  - b. 創作活動(手芸、絵、日曜大工等)
  - c. テレビ
  - d. 読書
  - e. 運動
  - f. その他( )

(2)食生活

(2)-1 1日の食事の回数

1. 3回    2. 2回    3. 1回    4. 4回以上

(2)-2 主食

- ア) 朝食    1. 米    2. パン    3. 麺    4. 無し
- イ) 昼食    1. 米    2. パン    3. 麺    4. 無し
- ウ) 夕食    1. 米    2. パン    3. 麺    4. 無し

(2)-3 食品摂取傾向

- ア) 肉    1. 毎日    2. 1日おき    3. 週に数回    4. 食べない
- イ) 魚    1. 毎日    2. 1日おき    3. 週に数回    4. 食べない
- ウ) 卵    1. 毎日    2. 1日おき    3. 週に数回    4. 食べない
- エ) 野菜    1. 毎日    2. 1日おき    3. 週に数回    4. 食べない
- オ) 大豆    1. 毎日    2. 1日おき    3. 週に数回    4. 食べない

(3)嗜好品

(3)-1 飲酒歴 1. なし 2. あり 4. やめた( 年前) 3. 不明

- ↓
- ・飲酒年数 年
  - ・頻度 1. 毎日(朝・昼・晩) 2. 週4～5回 3. 週2～3回  
4. 週1回程度 5. 週1回未満
  - ・飲酒量(日本酒換算) ①. 1合未満 ②. 1合～2合未満 ③. 2合～3合未満  
④. 3合～4合未満 ⑤. 4合～5合未満 ⑥. 5合～6合未満  
⑦. 6合～7合未満 ⑧. 7合～8合未満 ⑨. 8合～9合未満  
⑩. 9合～10合未満 ⑪. 10合以上

(3)-2 喫煙歴 1. なし 2. あり 3. やめた( 前) 4. 不明

- ↓
- ① 1日の本数 本 ② 喫煙年数 年

(3)-3 間食

1. 1日3回以上 2. 1日1～2回 3. 時々 4. 食べない

(内容:健康食品やドリンクも含む )

(4) 口腔機能

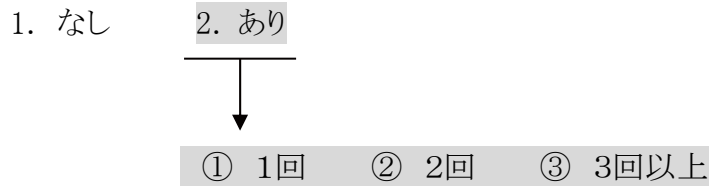
- 1. 半年前に比べて固い物が食べにくい 1. はい 2. いいえ
- 2. お茶や汁物等でむせることがある 1. はい 2. いいえ
- 3. 口の渇きが気になる 1. はい 2. いいえ
- 4. 残存歯数 ( 本)

(5) 睡眠

(5)-1 睡眠時間 ( 時 分～ 時 分)

- 1. 10時間以上 2. 9時間～10時間未満 3. 8時間～9時間未満
- 4. 7時間～8時間未満 5. 6時間～7時間未満 6. 5時間～6時間未満
- 7. 4時間～5時間未満 8. 3時間～4時間未満 9. 3時間未満

(5)-5 夜間に目覚めることがあるか



(5)-2 睡眠の満足度



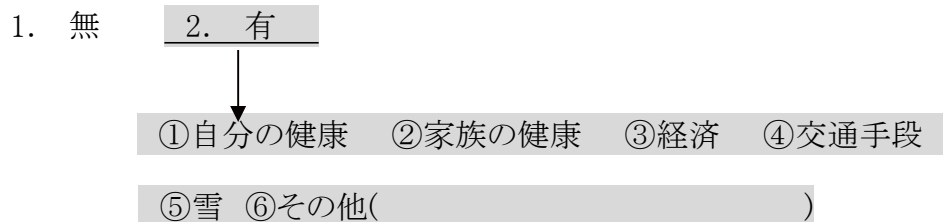
(5)-3 眠剤の服用 1. あり(薬: ) 2. なし



(5)-4 午睡の時間 ( 時 分～ 時 分)

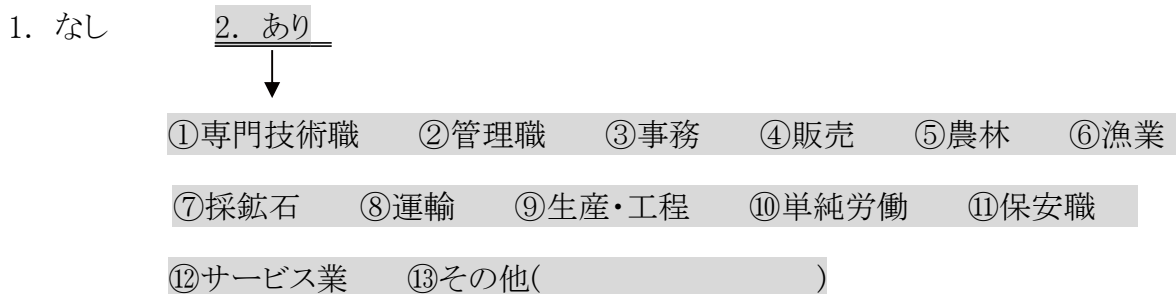
1. 1時間以上      2. 1時間未満～30分      3. 30分未満      4. 無

(6) 心配な事、困っている事



(7) 職業

(7)-1 現在の職業



{ 仕事の内容 }  
{ }  
{ }

(7)-2 1番勤務年数の長い職業

①専門技術職 ②管理職 ③事務 ④販売 ⑤農林 ⑥漁業

⑦採鉱石 ⑧運輸 ⑨生産・工程 ⑩単純労働 ⑪保安職

⑫サービス業 ⑬その他( )

( 仕事の内容 )

(7)-3 現在無職の場合のみ最後の職業

①専門技術職 ②管理職 ③事務 ④販売 ⑤農林 ⑥漁業

⑦採鉱石 ⑧運輸 ⑨生産・工程 ⑩単純労働 ⑪保安職

⑫サービス業 ⑬その他( )

( 仕事の内容 )

(8) 過去3年間のイベント 1. なし 2. あり 3. 不明



①病気 ②入院 ③親しい人の死 ④転居 ⑤新築 ⑥退職

⑦役割の喪失(家庭内・町内会・老人会など) ⑧その他( )

(9) 過去3年間の特異な体験 1. なし 2. あり 3. 不明



①自分が体験: ・震災・事故・洪水 ・大雪 ・土砂崩れ・津波・噴火

②現場を目撃: ・事故 ・殺人 ・自死 ・災害等で人が死んだり、ひどい怪我をした現場を目撃

(10) 性格

1. 依存的 2. 頑固 3. 自己中心的 4. 短気 5. 几帳面 6. 心配性

7. 人付き合いが苦手 8. 協調性がある 9. くよくよしない(楽道家、プラス思考)

10. のんびり、呑気 11. 温和、おおらか 12. その他( )

(11) 地域とのつながりや日常生活上の不安や不自由（生活支援のできる地域づくりのための実態把握項目）

- ① 近所の方とどの程度の付き合いをしていますか
- a 訪問しあう人がいる
  - b 立ち話をする程度の人がある
  - c あいさつをする程度の人がある
  - d つきあいはない
- ② 家族や親族以外で相談や世話をし合う人がいますか
- a ほぼ毎日連絡し合う人がいる
  - b 週1回以上連絡し合う人がいる
  - c 月1～3回程程度連絡し合う人がいる
  - d 年に数回程度連絡し合う人がいる
- ③ 地域の方から実際に身近な支援を受けていますか
- a 受けている → ④へ
  - b 受けていない → ⑤へ
- ④ 地域の方からどのような支援を受けていますか。③でaの回答者
- a 家の管理(冬囲い、屋根の雪下ろし等)
  - b ゴミだし
  - c 玄関先の除雪
  - d 外出時の送迎(買い物、受診、金融機関、役所等)
  - e 食事の差し入れ
  - f いろいろな相談に乗ってもらう
  - g 安否確認をしてもらう
  - h その他( )
- ⑤ 地域の方の支援を受けていない理由は何ですか。③でbの回答者
- a 必要がない
  - b 子どもや親せきが支援してくれる
  - c 頼める人がいない
- ⑥ 日常生活での不安や不自由に感じる事は何ですか
- a 家の管理(草取り、簡単な修理、雪おろしや玄関の除雪等)
  - b 外出(冬期間のみ・1年中)
  - c ゴミだし(新聞等資源ごみ含む)
  - d 食事づくり
  - e 気軽に訪問し合う人がいない
  - f 日常の金銭管理や役所などでの手続きや郵便物への対応



g いろいろな相談をする人や窓口が身近にない

h 冬期間のストーブへの給油

#### IV. 中越地震

(1). 中越大震災の体験      1. なし      2. あり (以下①～⑧へ)

①家屋被害(認定) : 1. 全壊 2. 大規模半壊 3. 半壊 4. 一部損壊 5. なし 6. 不明

②自宅以外の市内の避難生活 : 1. なし      2. あり

①1ヶ月未満      ②1ヶ月以上(場所 )

③市外への避難1ヶ月以上: 1. なし      2. あり

①1ヶ月未満      ②1ヶ月以上(場所 )

④仮設住宅入居 : 1. なし      2. あり(期間 )

⑤家屋改修状況 : 1. 新築      2. 改修      3. 一部改修      4. そのまま

⑥現在の住まい : 1. 震災前と同じ場所      2. 移転(自宅・アパート・マンション・復興住宅・その他)

⑦家族構成の変化 : 1. なし      2. あり( )

⑧中越地震後に新たに生じた心身の症状が継続している

1. なし      2. あり

①頭痛      ②肩こり      ③腰痛      ④めまい      ⑤耳鳴り      ⑥不眠      ⑦食欲不振

⑧イライラ      ⑨考えがまとまらない      ⑩落ち着かない      ⑪心臓がドキドキする

⑫涙もろくなった      ⑬その他



a. 振動や大きな音にドキッとする

b. 意欲が下がったまま

c. 頭重感

d. また地震が来るような不安感

e. テレビの地震速報を見るとドキッと不安になる

f. 忘れっぽくなった

g. 道路のガタガタ音にフラッシュバックする

h. 自宅の再建等で借金し精神的負担が持続している

i. 体重の増減

j. 心身の負担で病気を発症した

k. 地震2ヶ月後から足がむくむ

l. その他( )



1	お歳はおいくつですか？ (2年までの誤差は正解)		0 1											
2	今日は何年の何月何日ですか？ 何曜日ですか？ (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年	0 1											
		月	0 1											
		日	0 1											
		曜日	0 1											
3	私たちが今いるところはどこですか？ (自発的にできれば2点、5秒おいて家ですか？ 病院ですか？ 施設ですか？ の中から正しい選択をすれば1点)		0 1 2											
4	これから言う3つの言葉を言ってみてください。後でまた聞きますのでよく覚えていてください。 (以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1: a)桜 b)猫 c)電車 2: a)梅 b)犬 c)自動車		0 1											
			0 1											
			0 1											
5	100から7を順番に引いてください。(100-7は？ それからまた7を引くと？ と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る)	(93)	0 1											
		(86)	0 1											
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。(6-8-2、3-5-2-9を逆に言ってもらう。3桁逆唱に失敗したら、打ち切る)	2-8-6	0 1											
		9-2-5-3	0 1											
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう1度言ってみてください。 (自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合以下のヒントを与え正解であれば1点) a)植物 b)動物 c)乗り物	a	0 1 2											
		b	0 1 2											
		c	0 1 2											
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにがあったか言ってください。 (時計、鍵、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの)		0 1 2 3 4 5											
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。(答えた野菜の名前を下欄に記入する。途中でつまり、約10秒間待ってもでない場合にはそこで打ち切る) 0~5=0点、6=1点、7=2点、8=3点、9=4点、10=5点		0 1 2 3 4 5											
	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 16.6%;"></td> <td style="width: 16.6%;"></td> <td style="width: 16.6%;"></td> <td style="width: 16.6%;"></td> <td style="width: 16.6%;"></td> <td style="width: 16.6%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>													
合計得点														

資料 4

A. 大うつ病エピソード

(→では、診断ボックスまで進み、すべての診断ボックスの「いいえ」に○をつけ、次のモジュールに進む)

A 1	この2週間以上、毎日のように、ほとんど1日中ずっと憂うつであったり沈んだ気持ちでいましたか？	いいえ	はい	1
A 2	この2週間以上、ほとんどのことに興味がなくなっていたり、大抵いつもなら楽しめていたことが楽しめなくなっていましたか？	いいえ	はい	2
→				
	<u>A 1, またはA 2のどちらかが「はい」である</u>	いいえ	はい	

- A 3 この2週間以上、憂うつであったり、ほとんどのことに興味がなくなった場合、あなたは：
- a 毎日のように、食欲が低下、または増加していましたか？または、自分では意識しないうちに、体重が減少、または増加しましたか？（例：1ヶ月間に体重の±5%、つまり70kgの人の場合、±3, 5kgの増減）？  
食欲の変化か、体重の変化のどちらかがある場合、「はい」に○をつける。
  - b 毎晩のように、睡眠に問題（たとえば、寝つきが悪い、真夜中に目が覚める、朝早く目覚める、寝過ぎてしまうなど）がありましたか？
  - c 毎日のように、普段に比べて話し方や動作が鈍くなったり、またはいらいらしたり、落ち着きがなくなったり、静かに座ってられなくなりましたか？
  - d 毎日のように、疲れを感じたり、または気力がないと感じましたか？
  - e 毎日のように、自分に価値はないと感じたり、または罪の意識を感じたりしましたか？
  - f 毎日のように、集中したり決断することが難しいと感じましたか？
  - g 自分を傷つけたり自殺することや、死んでいればよかったと繰り返し考えますか？

A 1～A 3の回答に、少なくともA 1とA 2のどちらかを含んで5つ以上「はい」がある？

いいえ	はい
大うつ病エピソード	
現在	

患者が大うつ病エピソード現在の診断基準を満たす場合A 4に進む

→

- A 4 a 現在、憂うつなようですが、今までの人生で、現在の憂うつな期間とは別に、憂うつであったり、ほとんどのことに興味が失っていたり、先ほどまで話してきたような憂うつに関連した問題の多くを認めた2週間以上の期間がありましたか？
- b 現在の憂うつな期間と、その前の憂うつな期間の間に、少なくとも2ヶ月間、憂うつな気分も興味の喪失も認めない期間がありましたか？

いいえ	はい
大うつ病エピソード	
過去	

新潟県小千谷市認知症実態調査報告書  
( 第 四 報 )

平成 26 年 2 月

発行 新潟県小千谷市

〒947-8501 新潟県小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

電話 0258-83-3511

新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター

〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所 2-2-3 ユニゾンプラザハート館

電話 025-280-0270